

報告書

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する 県民意識調査業務

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部
エネルギー産業コンサルティング部
マーケティング戦略コンサルティング部

2025年11月6日



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

5. 集計・分析結果サマリ

1. 調査の目的

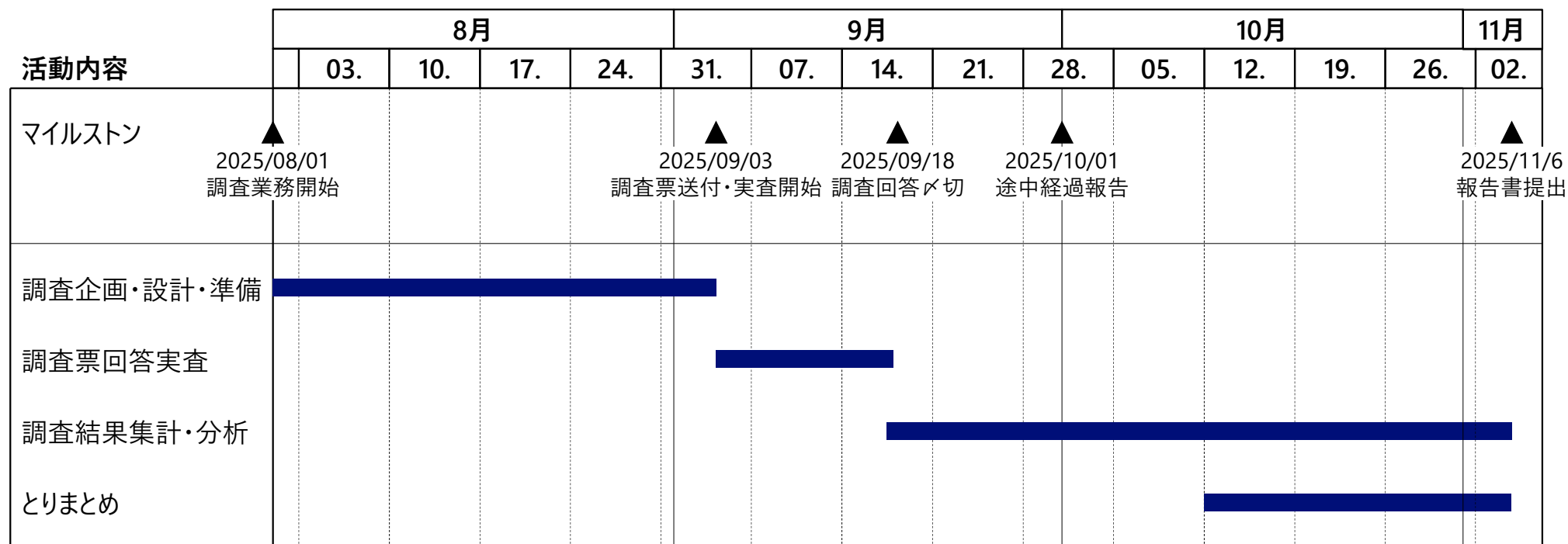
目的と実施スケジュール

■ 目的

- 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関し、地域・年代・性別等の幅広い属性に応じた県民の多様な意見を把握することを目的とする。

■ 調査実施スケジュール

- 調査期間：令和7年9月3日～18日



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

5. 集計・分析結果サマリ

2. 調査設計

調査票設計・調査サンプル数・調査方法

調査票設計

■ 調査によって以下の点を把握できるよう、調査票を設計

- ① 原子力発電の必要性に対する認識
 - 国が県、柏崎市、刈羽村に対し再稼働への理解要請を行っている中、原子力発電の必要性に関する認識、課題等
- ② 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策・防災対策に対する認識
 - 福島第一原発事故の教訓等を踏まえ、原子力規制委員会が策定した新規制基準などを基に、柏崎刈羽原子力発電所で様々な安全対策の強化が行われていることについての認識、課題等
 - 万が一の原子力災害が発生した場合への備えとして、国や県が進めている避難路整備や安定ヨウ素剤の事前配布などの対策や、避難・屋内退避などの防護措置についての認識、課題等
- ③ 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に対する認識
 - 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に対する、国や県、東京電力に抱いている認識、課題、実施してほしいことの内容等

調査サンプル数

■ 新潟県内に居住する18歳以上の男女個人を対象に、地域や年齢、性別ごとの標本誤差のバラつきを抑えられるように、調査対象を抽出

■ 調査数としては以下の通り

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| ● 県内30市町村を対象とした調査 | : 6,000 |
| ● PAZ・UPZ9市町村を対象とした追加調査 | : 6,000 |
| ● 合計 | : 12,000 (うちPAZ・UPZ市町村 8,070) |

※PAZ・UPZ9市町村を対象とした追加調査結果は付録を参照

調査方法

■ 郵送による調査票の配布、郵送またはwebによる回収

2. 調査設計

集計の考え方

有効回答数

■ 全回収数から性・年齢・地域属性が不明な回答を除いた回収数を有効回答数とする。

- 県内30市町村を対象とした調査 : 3,360*¹ (全県調査サンプル、有効回収率56.0%) *¹ うちWebによる回答は29.2%
- PAZ・UPZ9市町村を対象とした追加調査 : 4,707*² (有効回収率58.3%、全県調査の回答も含む) *² うちWebによる回答は27.0%

※ PAZ・UPZ9市町村を対象とした追加調査結果は付録を参照

調査結果へのウェイトバック集計

■ 今回の調査では、調査票の配布は本県の性別・年齢別・地域別の人口構成を踏まえて行ったが、回答者の構成が本県の人口構成と異なったことから、調査結果には性別・年齢別・地域別の人口構成を踏まえた重み付け（ウェイトバック集計）を実施。

- ウェイトバック値および地域区分は以下の通り。
- なお、ウェイトバック集計後の回答数は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、設問ごとの合計と内訳の計が一致しない場合がある。

ウェイトバック値一覧（全県調査）

年代	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
性別	男	男	男	男	男	男	女	女	女	女	女	女
下越地域	0.5365	0.9608	1.0343	0.6340	0.6525	0.8056	0.5630	1.2611	0.7244	1.0997	0.4992	1.0974
新潟地域	1.7483	1.7926	1.4708	1.1456	1.0312	1.2086	0.9588	1.7699	1.3058	1.2502	0.9347	1.6780
中越地域	1.4454	1.3691	1.3403	1.4397	0.9446	0.9937	0.8517	1.5529	1.5298	1.0754	0.8074	1.0619
魚沼地域	0.5104	0.6840	0.4370	0.4498	0.4167	0.5206	0.5280	0.5432	0.6442	0.5611	0.3794	0.6096
上越地域	0.8640	0.8318	0.7737	0.9347	0.5688	0.5512	1.1743	0.8333	0.9231	0.7800	0.7764	0.8096
合計	1.1665	1.2760	1.1100	1.0073	0.7956	0.8819	0.8582	1.3279	1.1482	1.0356	0.7414	1.1266

地域区分

地域	該当市町村
下越地域	新発田市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村
新潟地域	新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町、佐渡市
中越地域	長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、見附市、燕市、弥彦村、田上町、出雲崎町、刈羽村
魚沼地域	十日町市、魚沼市、南魚沼市、湯沢町、津南町
上越地域	糸魚川市、妙高市、上越市

1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

5. 集計・分析結果サマリ

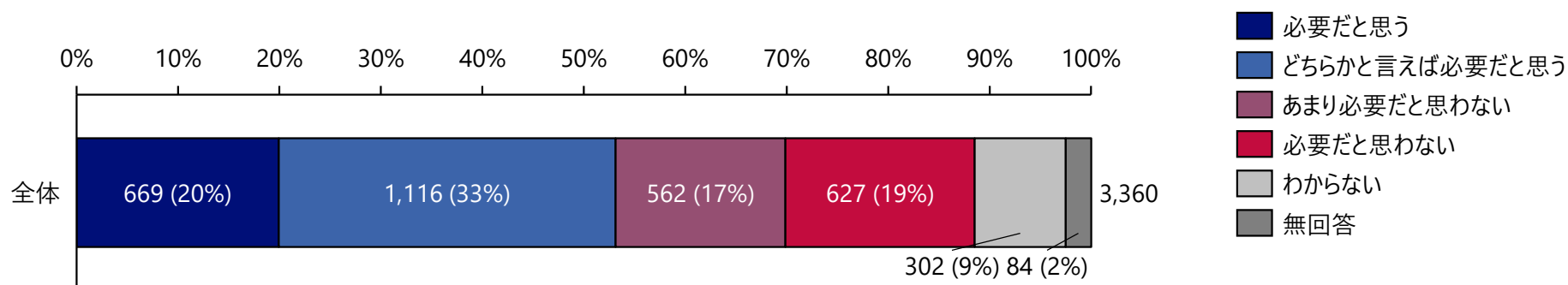
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問1の回答構成

<設問>

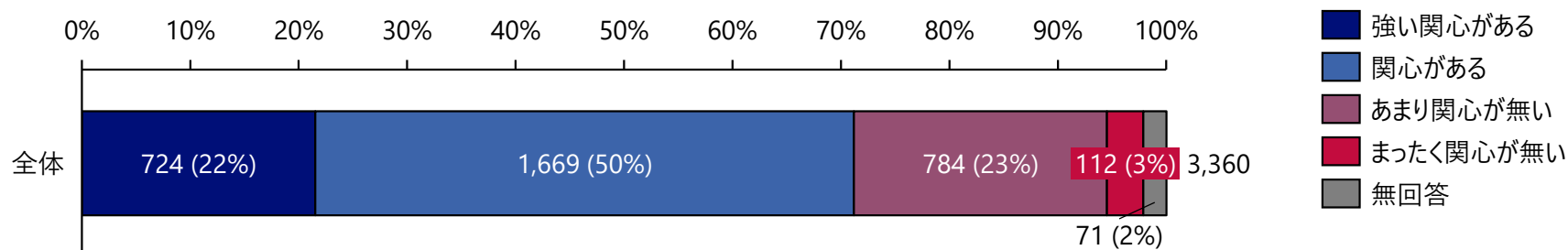
問1 柏崎刈羽原子力発電所に限らず、日本における原子力発電所の必要性について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



全県集計データにおける問2の回答構成

<設問>

問2 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関してどの程度ご関心がありますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



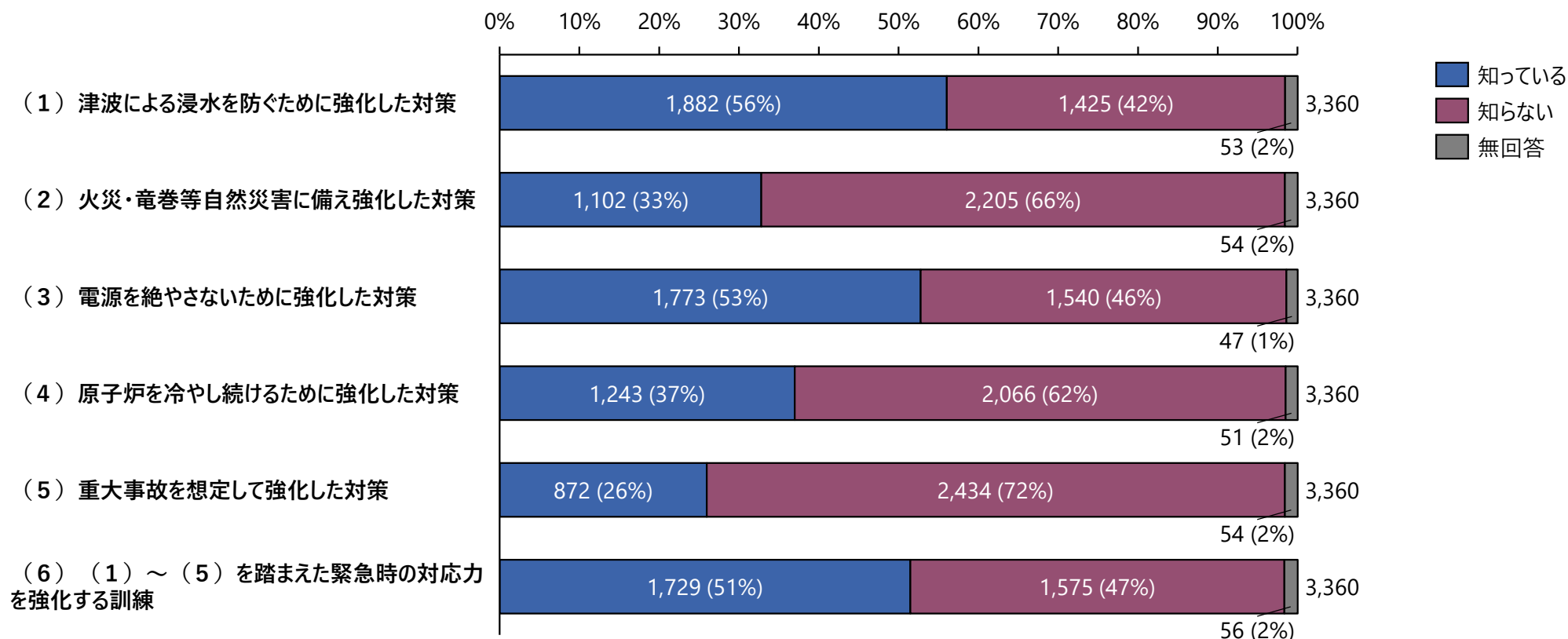
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問3-1の回答構成

<設問>【柏崎刈羽原子力発電所の安全対策について】

問3-1 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。写真や図で示した対策例を1つでも知っていれば「1」（知っている）、ひとつも知らなければ「2」（知らない）をお選びください。



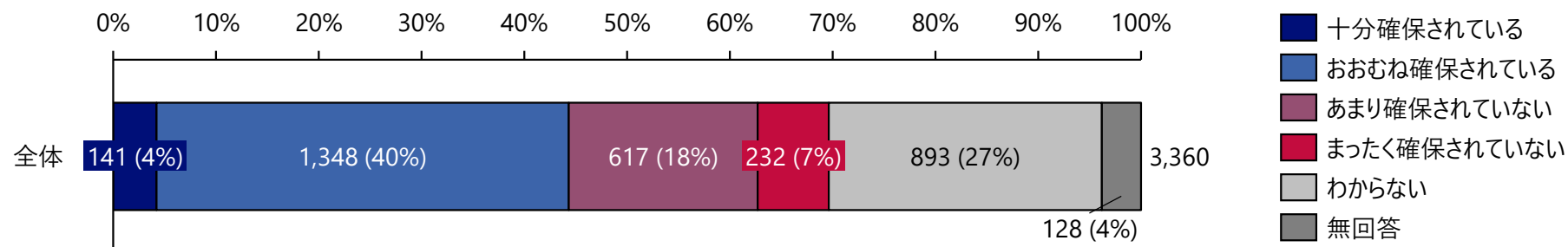
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問3-2の回答構成

<設問>

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。最も近いものをお選びください。



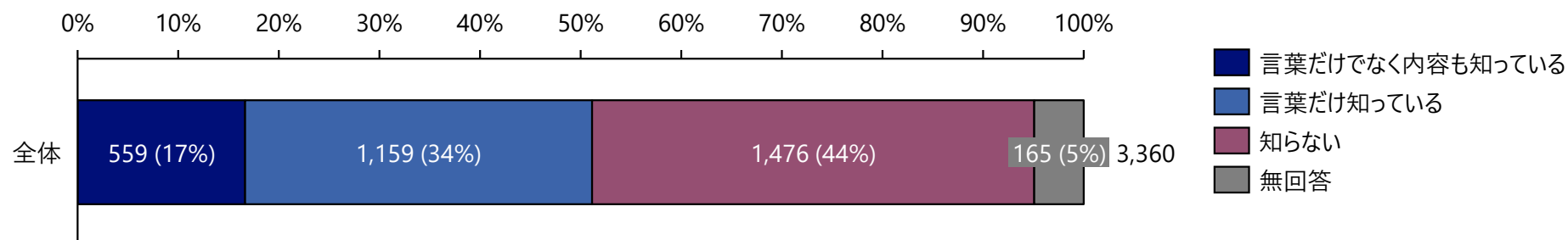
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問4-1の回答構成

<設問>

問4-1 県では、柏崎刈羽原子力発電所からの距離に応じて、半径概ね 5 km圏をPAZ（放射性物質放出前に避難等を実施する区域）、半径概ね 5 ～30km圏をUPZ（放射性物質放出に備えて屋内退避し、放出後は放射線量に応じて避難等を実施する区域）と設定しています。あなたは PAZ や UPZ について知っていますか。



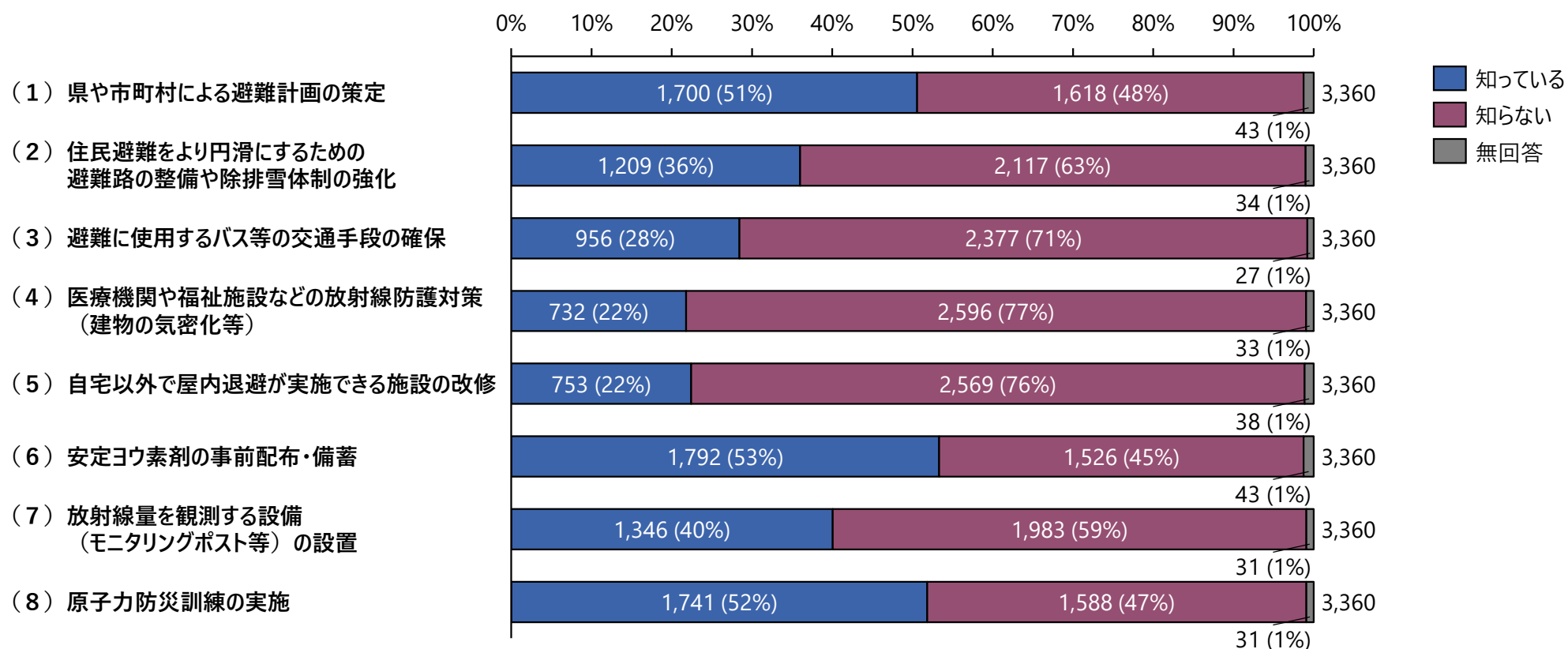
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問4-2の回答構成

<設問>

問4-2 柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備え、さまざまな「防災対策」が行われています。あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。



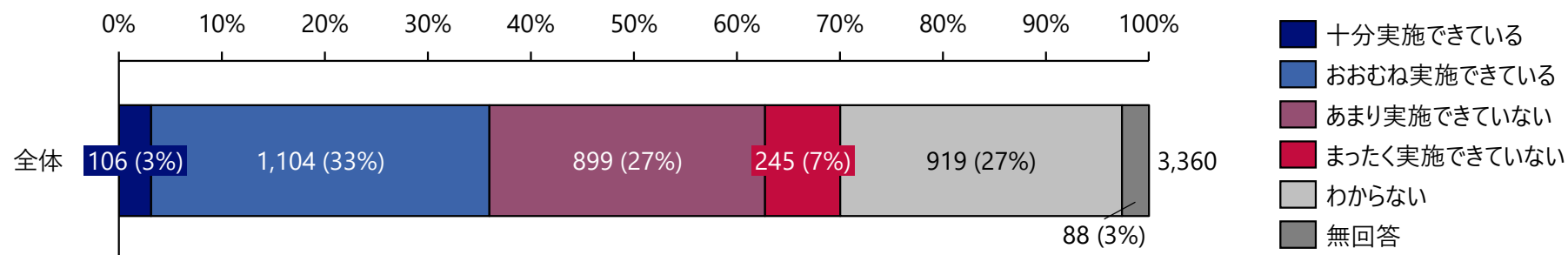
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問4-3の回答構成

<設問>

問4-3 問4-2で選択した対策に限らず、防災への取り組みはどの程度実施できていると思いますか。最も近いものをお選びください。



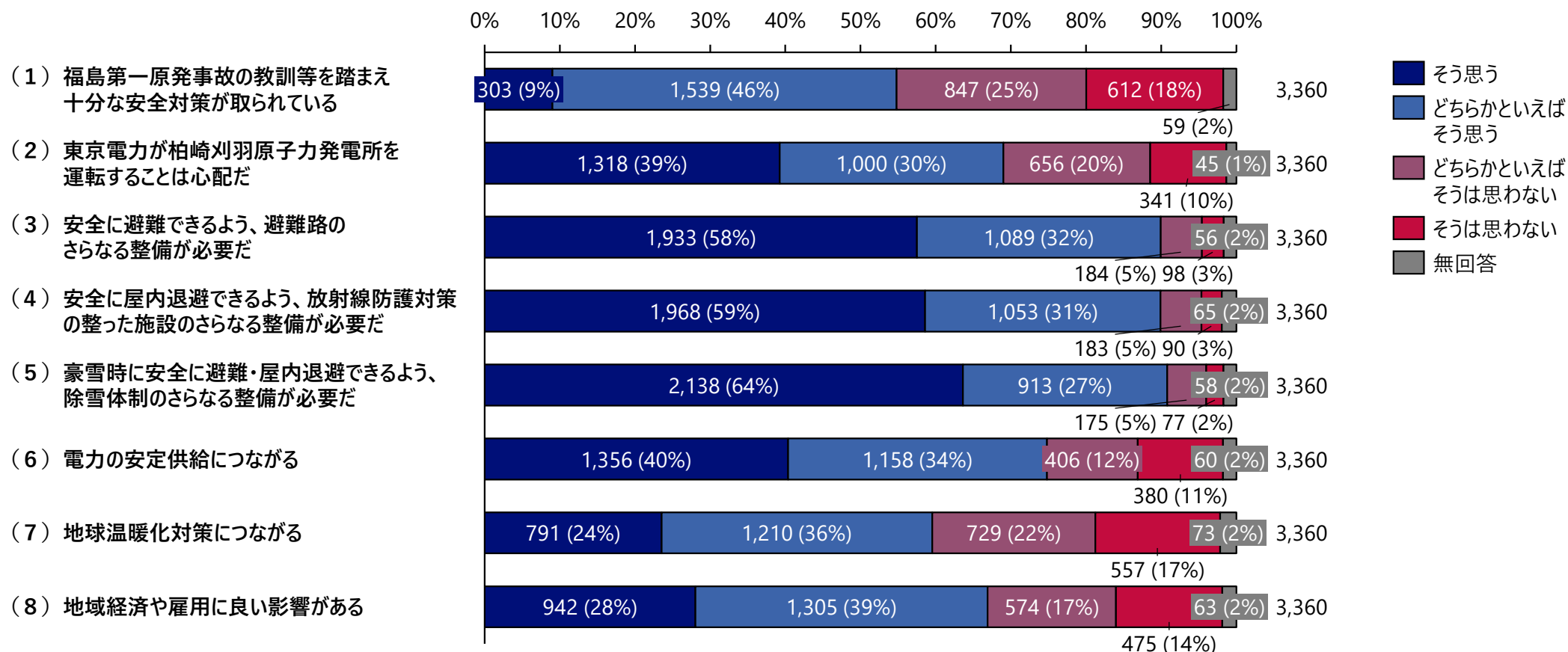
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問5-1の回答構成

<設問>

問 5 - 1 以下には柏崎刈羽原子力発電所 6 号機・7 号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）



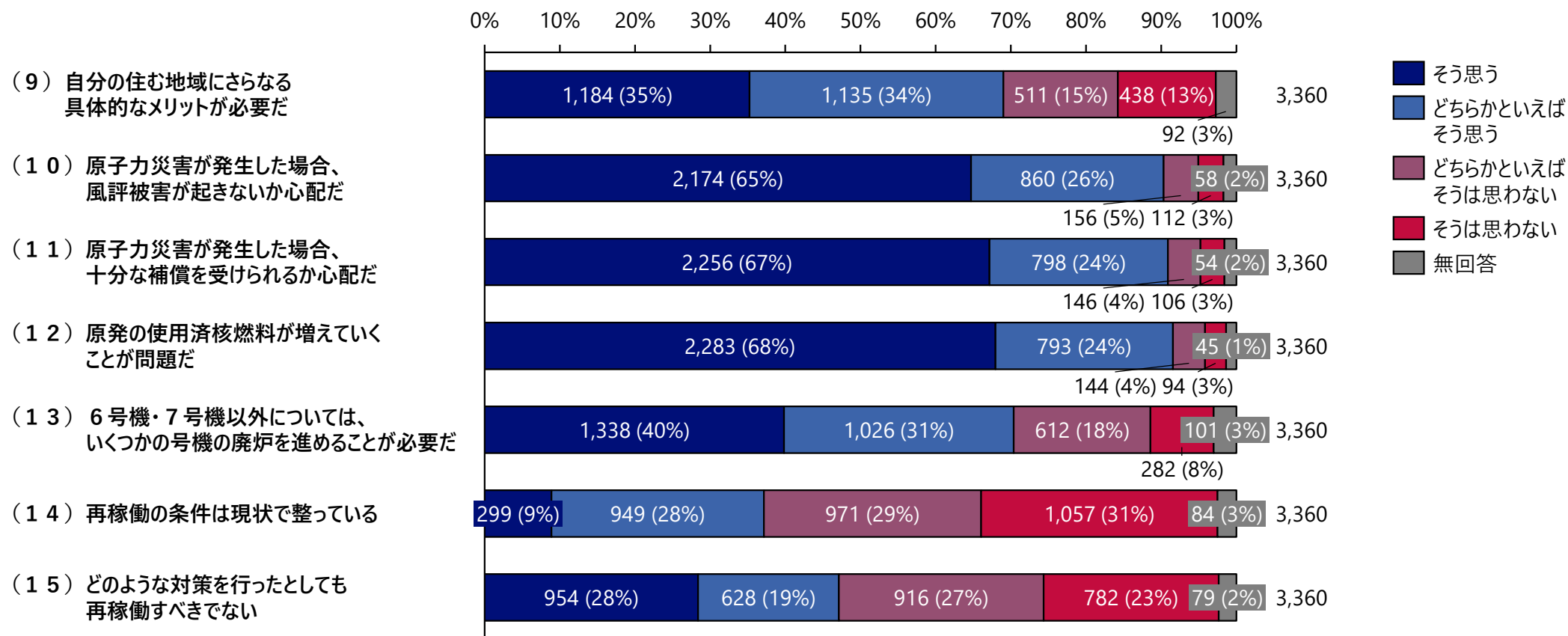
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問5-1の回答構成

<設問>

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）



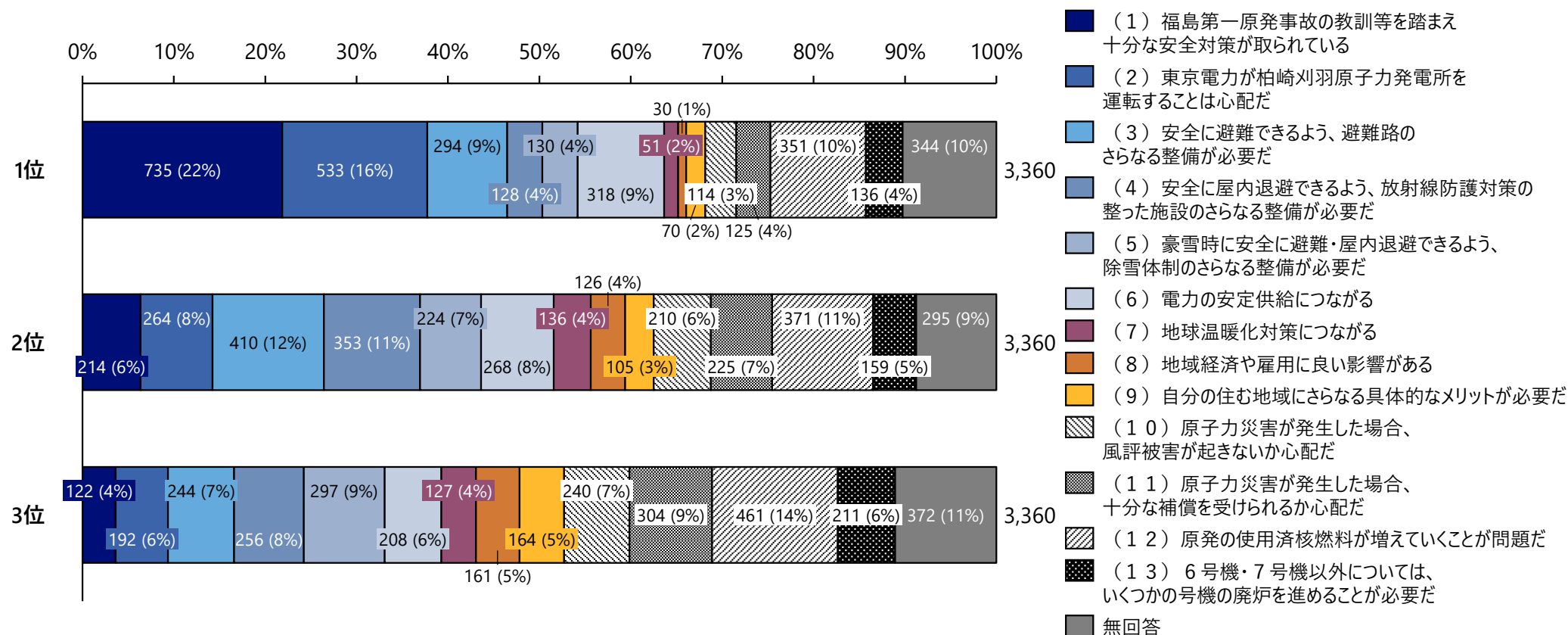
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問5-2の回答構成

< 設問 >

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択）



3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問5-3,5-4の回答構成

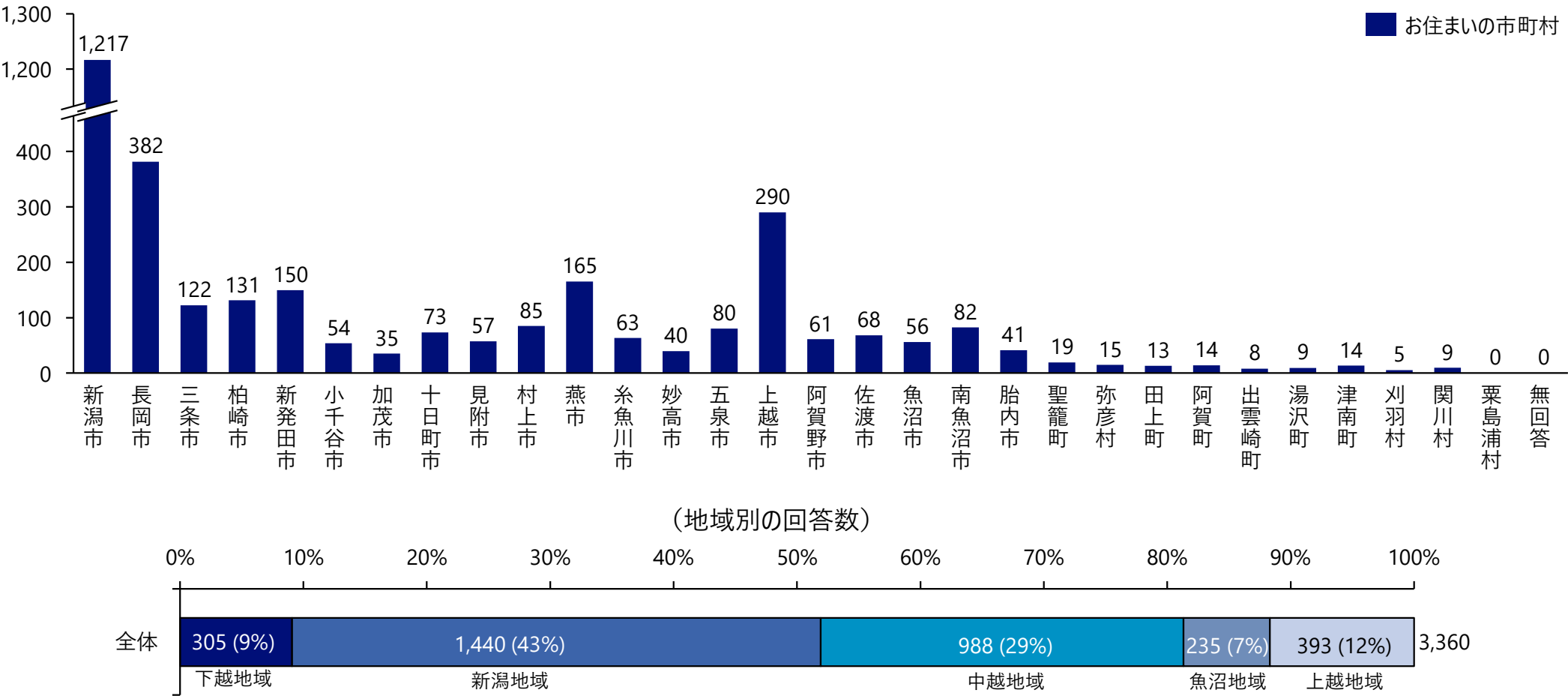
■ 自由回答に対する分析は 4. 集計結果の詳細分析 を参照。

3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問6の回答構成

< 設問 >
問6 あなたがお住まいおよび通勤または通学している市町村についてお答えください。 — お住まいの市町村



出所) 新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」(2025年9月)

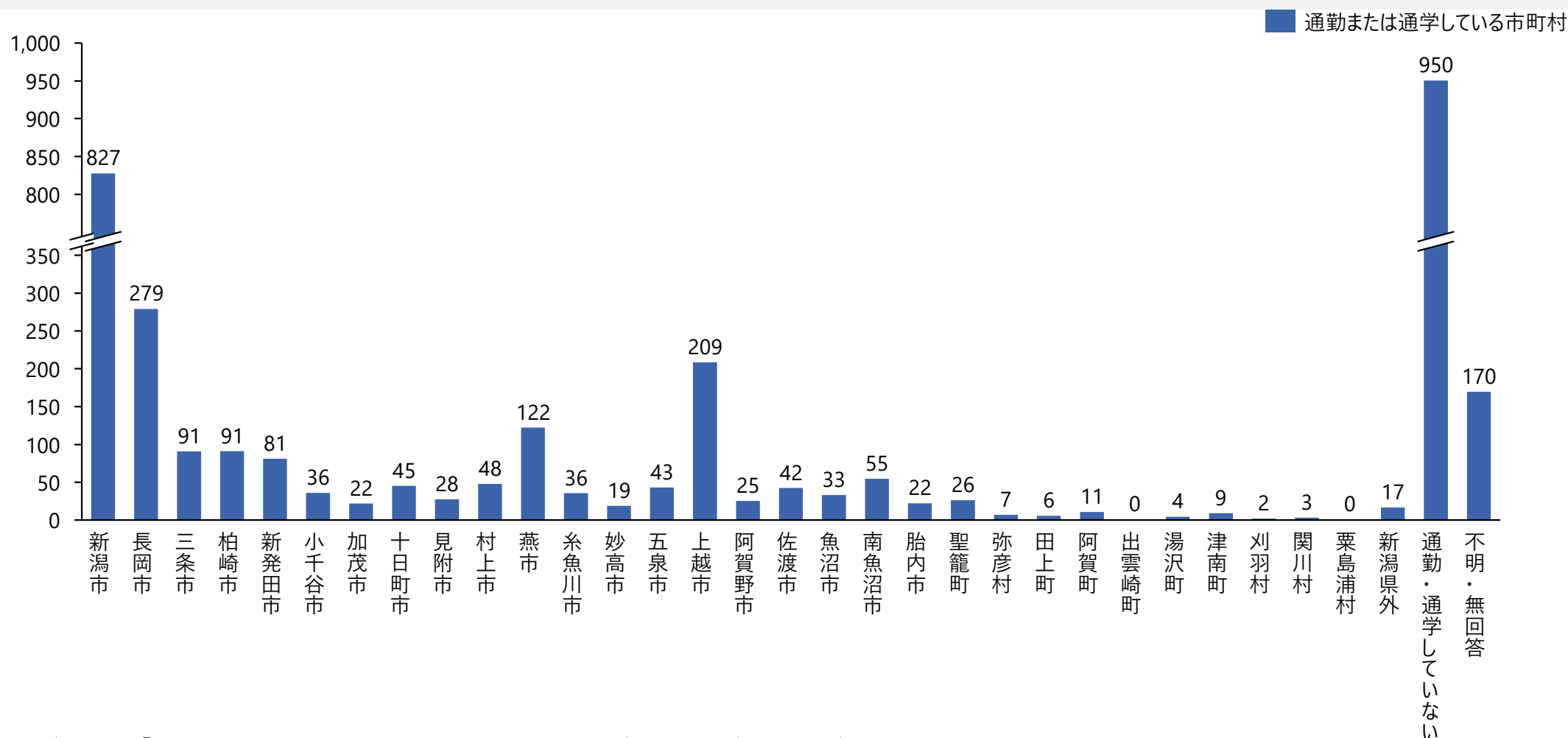
3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問6の回答構成

<設問>

問6 あなたがお住まいおよび通勤または通学している市町村についてお答えください。 — 通勤または通学している市町村

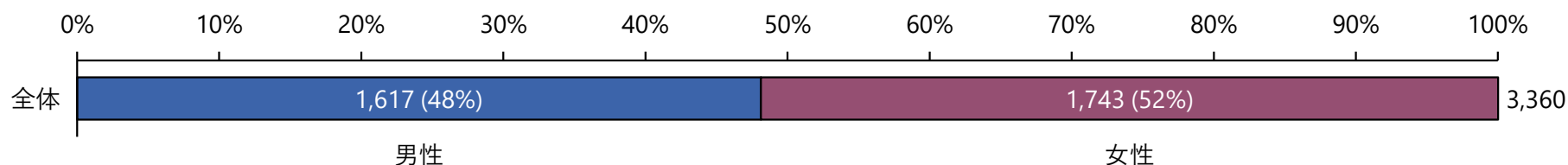


3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

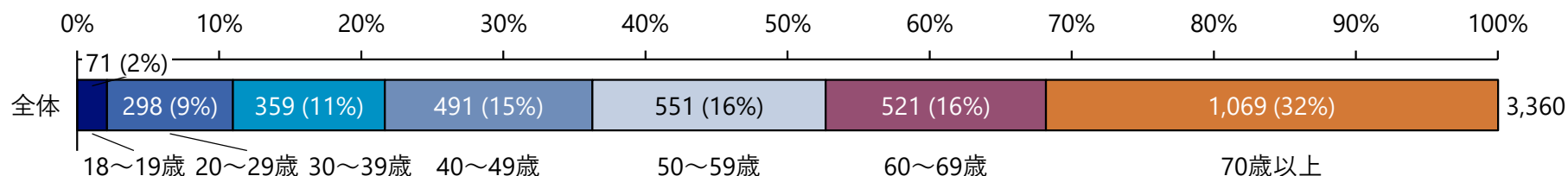
全県集計データにおける問7の回答構成

<設問> 問7 あなたの性別についてお答えください。



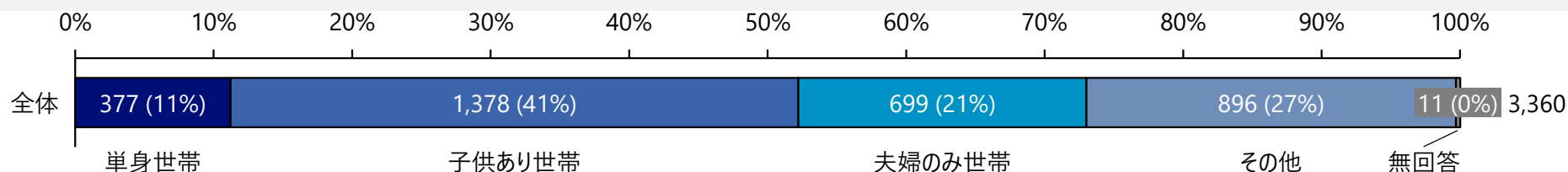
全県集計データにおける問8の回答構成

<設問> 問8 あなたの現在の年齢をお答えください。



全県集計データにおける問9の回答構成

<設問> 問9 あなたが同居されている世帯の構成についてお答えください。

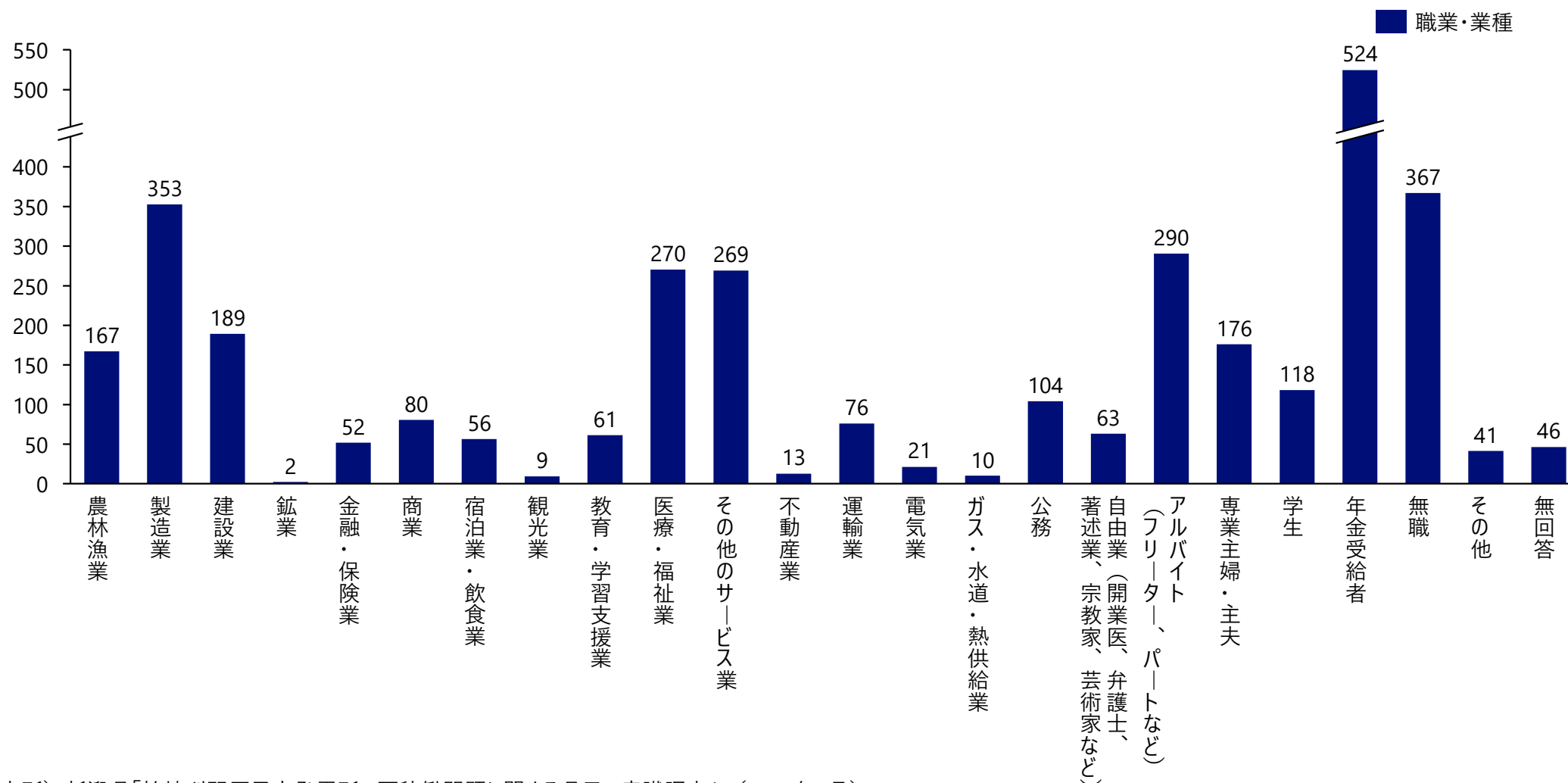


3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問10の回答構成

<設問> 問10 あなたの職業・業種は、この中のどれにあたりますか。

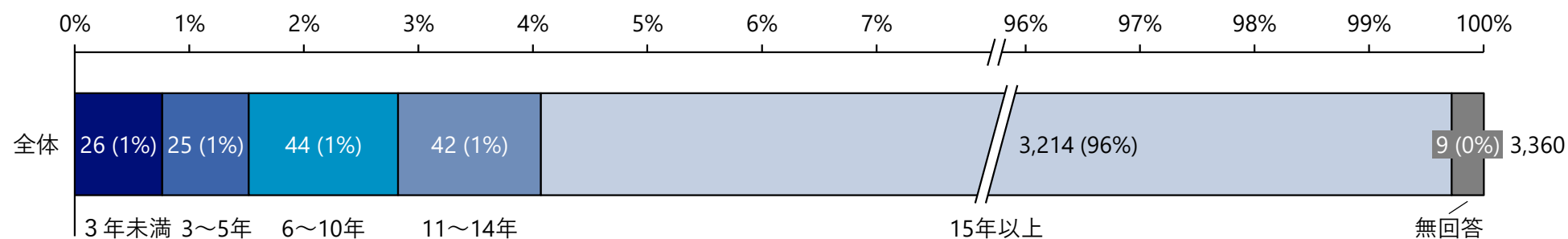


3. 単純集計結果

県内30市町村を対象とした調査の単純集計結果（有効回収数3,360／調査数6,000）

全県集計データにおける問11の回答構成

<設問> 問11 あなたは、新潟県にお住まいになって、何年になりますか。



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

5. 集計・分析結果サマリ

4. 集計結果の詳細分析 | 分析方針

調査結果の分析方針

■ アンケート調査結果に対して、下記の方針で詳細分析を実施

※分析にあたっては、本県の人口構成に応じてウェイトバック補正を行った、全県調査サンプルのみを対象とした。

項目	意識調査における論点	分析方針
①性・年齢別傾向分析	- 男性・女性で、回答にどういった傾向が見られるか。 - 年齢層に応じて、回答にどういった傾向がみられるか。	全県調査サンプルを対象に、性・年齢別で調査結果を集計し、回答傾向を把握
②地域別傾向分析	県内の地域別で、回答にどういった傾向が見られるか。	全県調査サンプルを対象に、地域別（下越・新潟・中越・魚沼・上越）の回答傾向を把握
③再稼働への考え方の要因分析	再稼働に関してどういう点に関心を持っているか。あるいはどういう点を懸念しているか。	全県調査サンプルを対象に、再稼働に関する考え方を問う設問（問5-1(14)(15)）を軸としたクロス集計を実施し、それぞれの回答傾向を把握
④安全対策・防災対策の認知度に関する分析	- 安全対策・防災対策の認知度と、それぞれの実施状況の捉え方にはどういった傾向が見られるか。 - 安全対策・防災対策の認知度と、再稼働に対する考え方の間にはどういった傾向が見られるか。	- 全県調査サンプルを対象に、実施している安全対策（問3-1）・防災対策（問4-2）の各項目の認知状況と、再稼働に関する考え方との関係进行分析 - さらに、全県調査サンプルを対象に、安全対策・防災対策の認知度によりグループ分けし、認知度（知識量）と再稼働への考え方との関係进行分析
⑤自由回答の傾向分析	再稼働に対する考え方として、問5-1の項目以外でどのような点が挙げられているか。	全県調査サンプルを対象に、自由回答を抽出し、回答の傾向进行分析

1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

5. 集計・分析結果サマリ

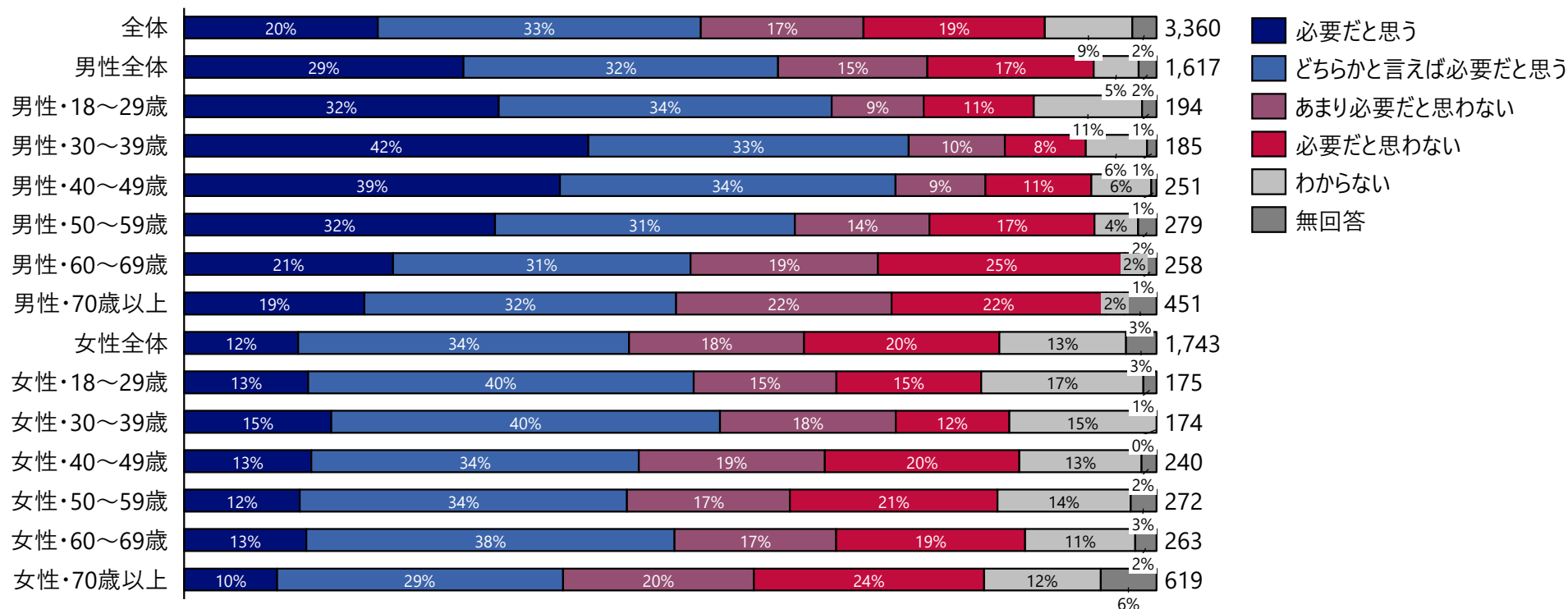
4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 日本における原子力発電所の必要性

日本における原子力発電所の必要性について、男性の方が肯定的な回答の割合が高く、また若年層の方が肯定的な回答の割合が高い傾向にある。

全県集計データにおける、性・年齢別の問1の回答構成

< 設問 >

問1 柏崎刈羽原子力発電所に限らず、日本における原子力発電所の必要性について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



出所) 新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」(2025年9月)

4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働への関心

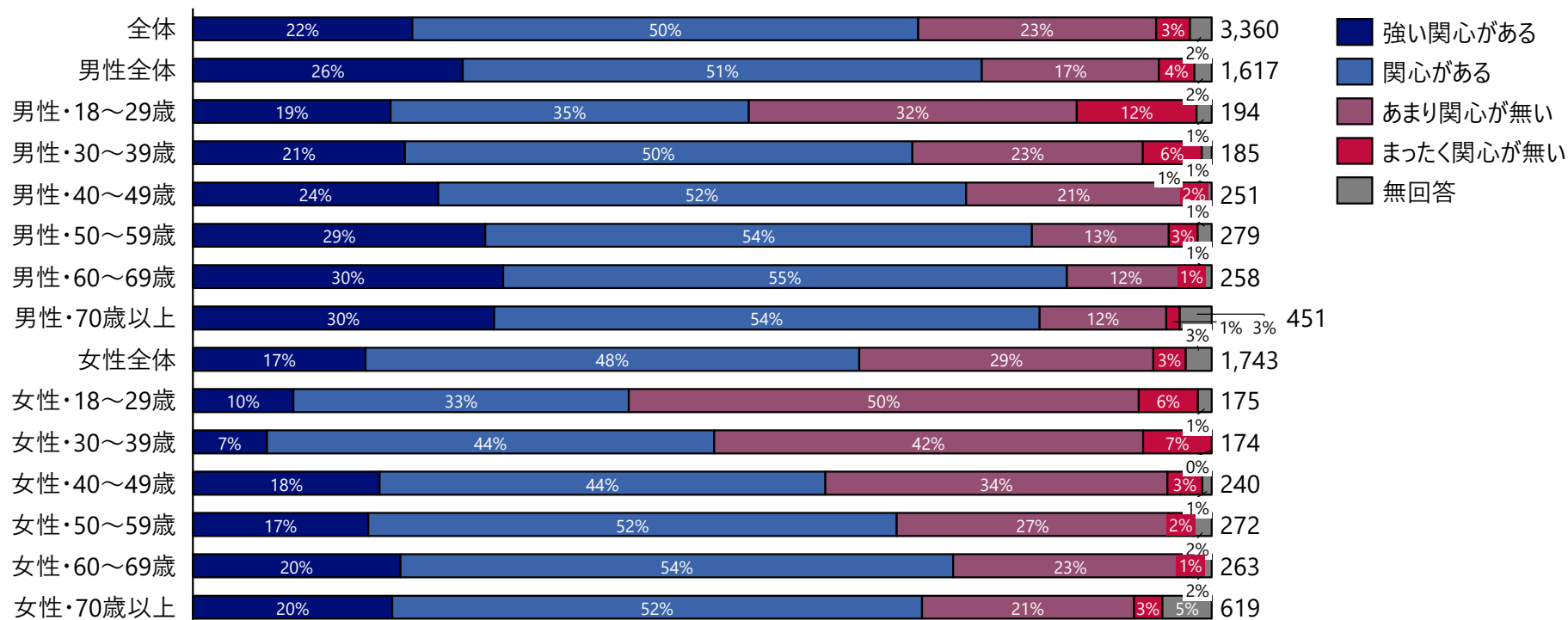
柏崎刈羽原子力発電所の再稼働への関心については、男性の方が関心が高く、また年齢が高くなるほど関心が高い傾向にある。

■ 男性全体では8割弱が関心がある旨を回答。女性全体についても、65%が関心がある旨を回答。

全県集計データにおける、性・年齢別の問2の回答構成

<設問>

問2 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関してどの程度ご関心がありますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。



4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 安全対策による安全性確保の認識

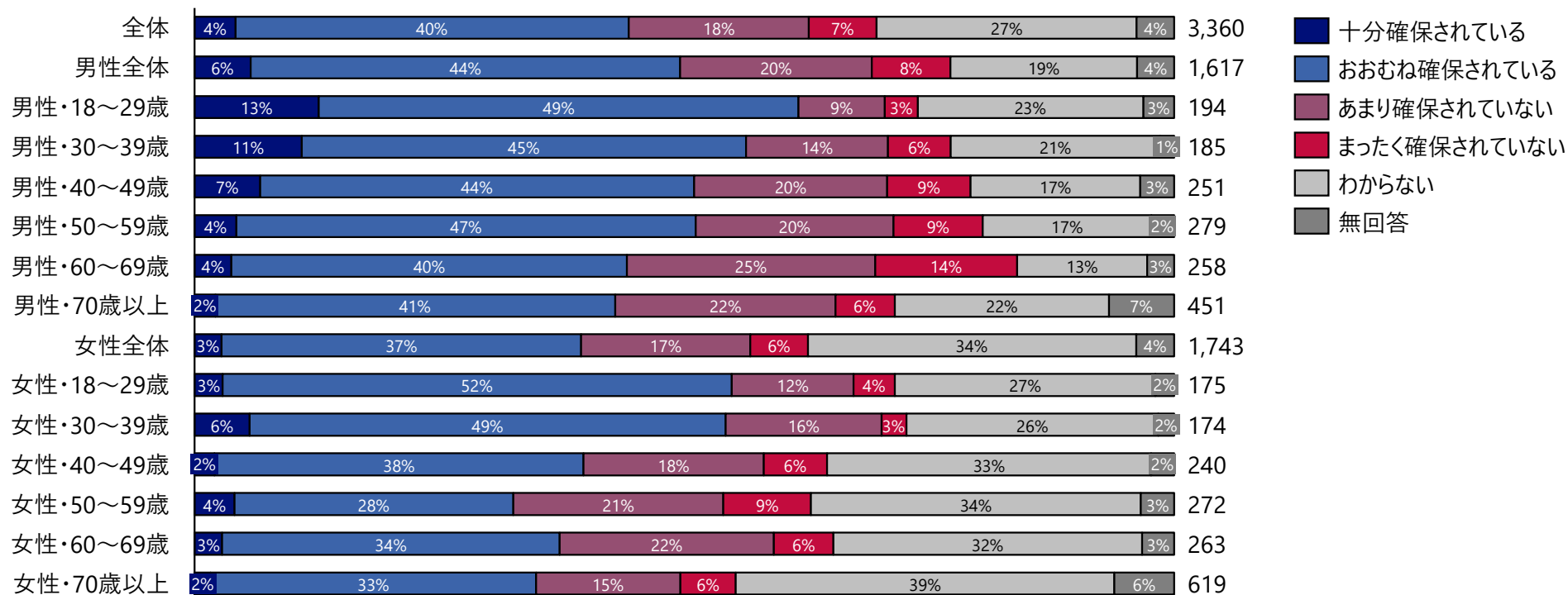
性・年齢別での安全対策実施状況の捉え方の傾向として、男女ともに若年層の方が肯定的に捉えている割合が高い傾向にある。

■ なお、どの層でも一定数が「わからない」と回答している。

全県集計データにおける、性・年齢別の問3-2の回答構成

<設問>

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。最も近いものをお選びください。



4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 防災への取り組みの実施状況に関する認識

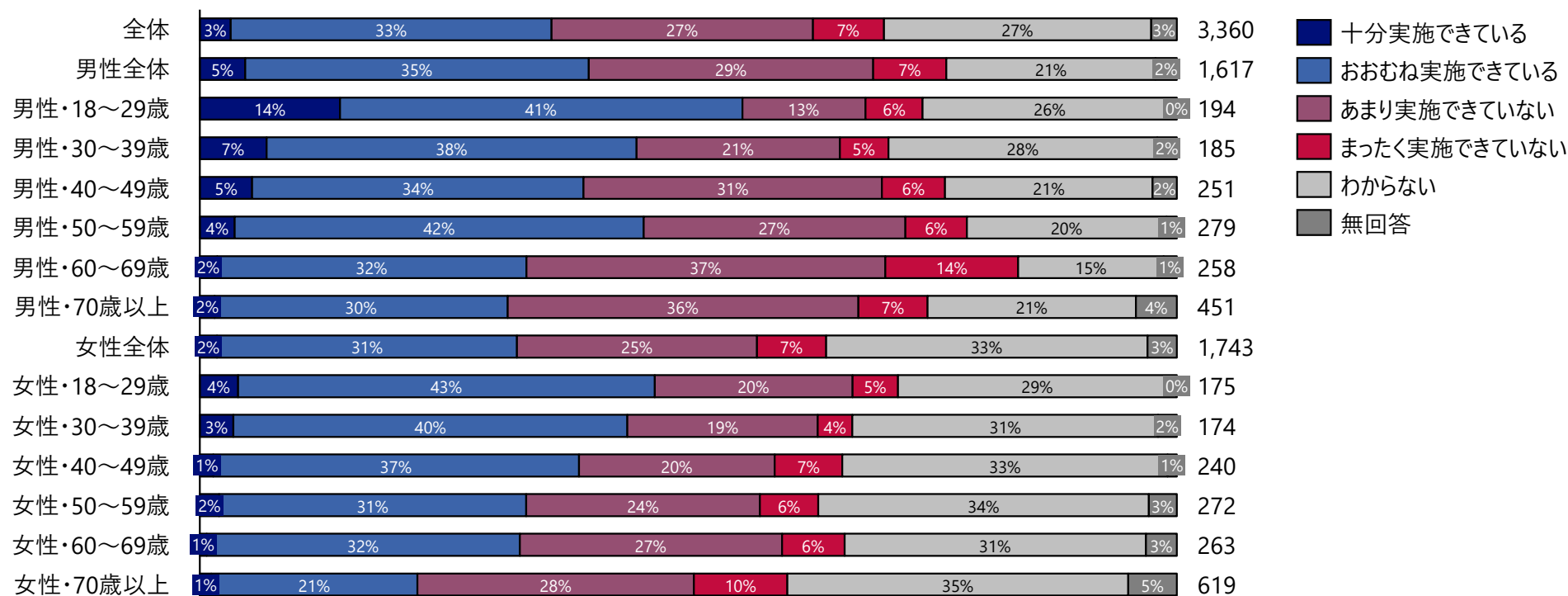
性・年齢別での防災対策実施状況の捉え方の傾向として、男女ともに若年層の方が肯定的に捉えている割合が高い傾向にある。

■ なお、どの層でも一定数が「わからない」と回答している。

全県集計データにおける、性・年齢別の問4-3の回答構成

<設問>

問4-3 問4-2で選択した対策に限らず、防災への取り組みはどの程度実施できていると思いますか。最も近いものをお選びください。



4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 再稼働に関する考え方

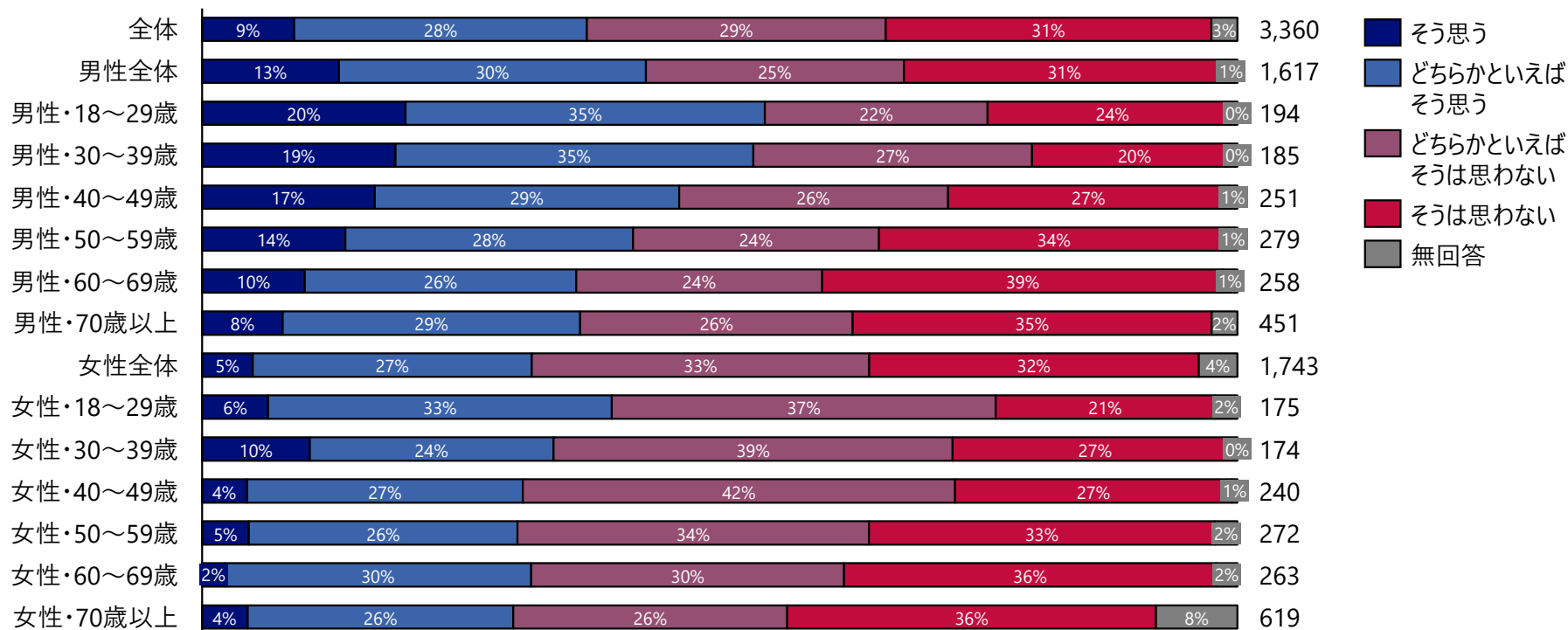
再稼働の条件は現状で整っているかどうかについて、男性の方が肯定的な回答の割合が高く、また年齢別では若年層の方が肯定的な回答の割合が高い傾向にある。

全県集計データにおける、性・年齢別の問5-1(14)の回答構成

< 設問 >

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）

(14) 再稼働の条件は現状で整っている



4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 再稼働に関する考え方

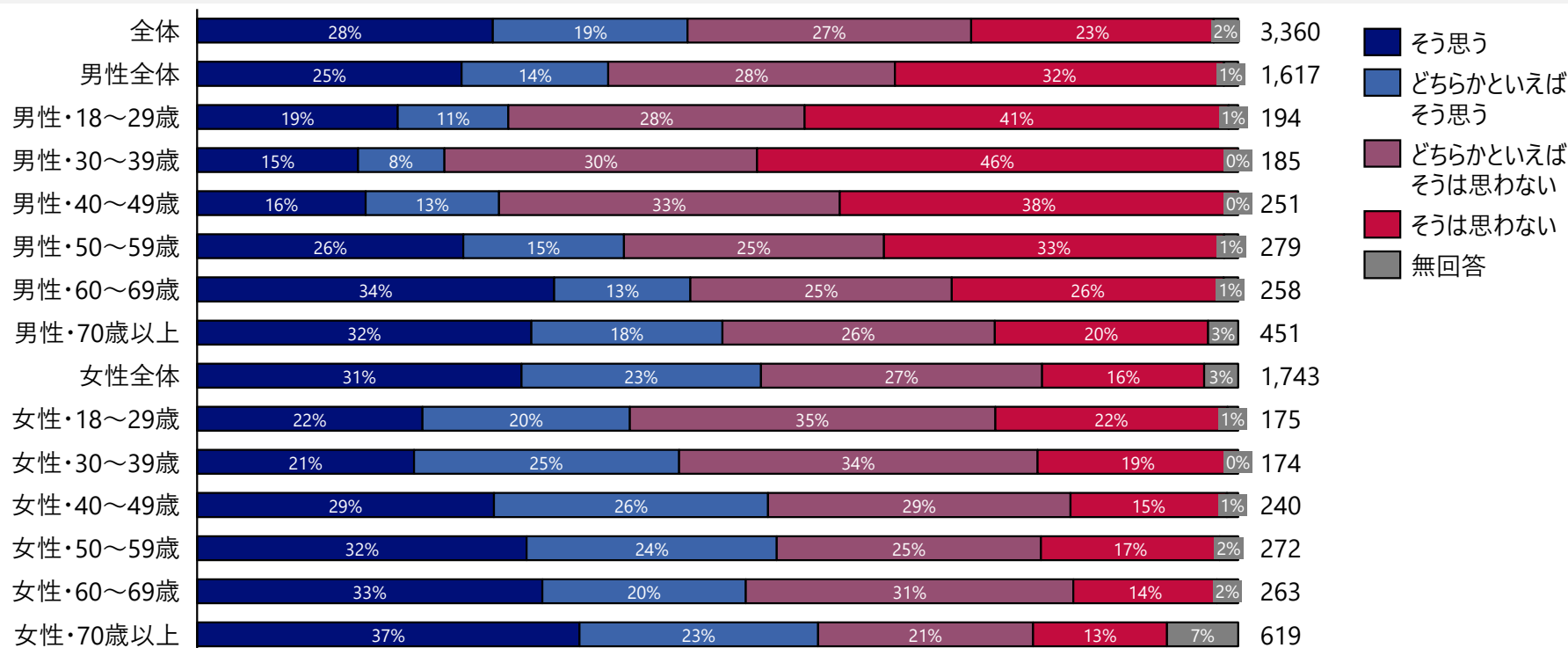
女性の方が再稼働に否定的な回答をした人の割合が高く、また年齢が高くなるほど再稼働に否定的な回答の割合が高い傾向にある。

全県集計データにおける、性・年齢別の問5-1(15)の回答構成

<設問>

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。
なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。（それぞれ1つずつ）

(15) どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない

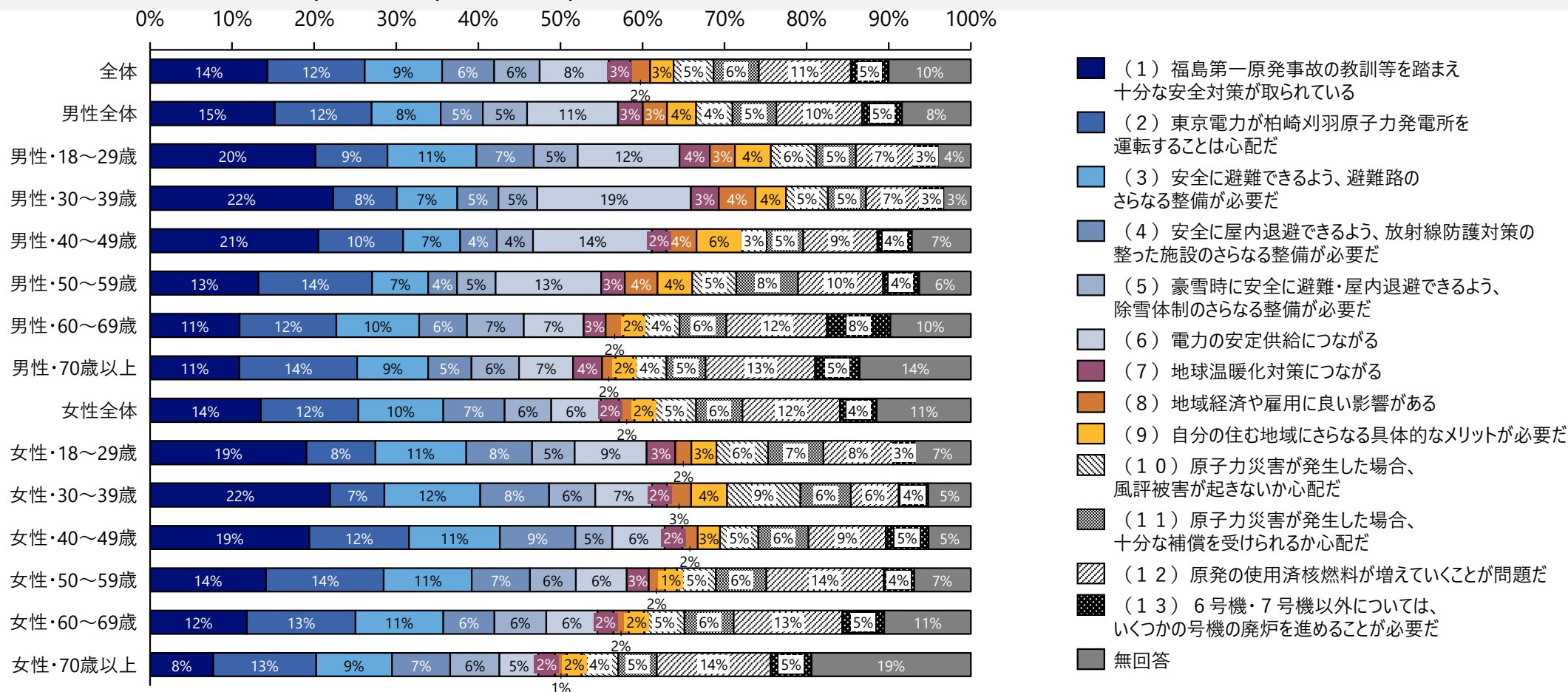


4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 再稼働において最重要視する項目（問5-2）

男女ともに若年層において「十分な安全対策が取られている」を重視する傾向にある。
また男性の50代以下では「電力の安定供給」を重視する回答が目立つ。

全県集計データにおける、性・年齢別での問5-2の回答構成（第1位～第3位合算）

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つつつ選択）に対する回答構成（1位：1pt, 2位：0.5pt, 3位：0.33ptで合算）



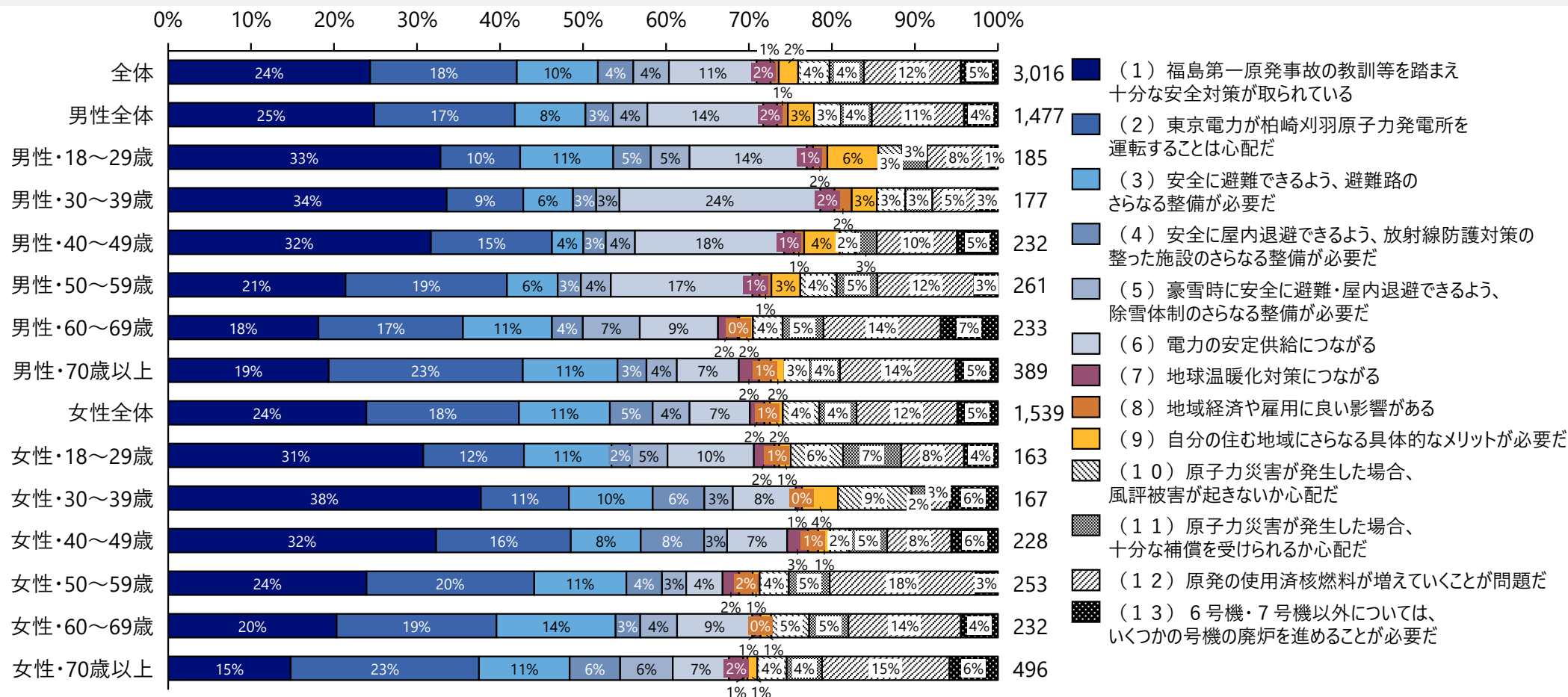
出所）新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」（2025年9月）

4. 集計結果の詳細分析 | ①性・年齢別傾向分析 | 再稼働において最重要視する項目（問5-2）

【参考】問5-2の1位に着目すると、若年層において「十分な安全対策が取られている」を重視する傾向にある。男性の30～50代では「電力の安定供給」を重視する回答が目立つ。

全県集計データにおける、性・年齢別での問5-2の第1位の回答構成

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択）に対する、第1位の選択の回答構成（無回答は除外）



出所）新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」（2025年9月）

1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

5. 集計・分析結果サマリ

地域別（下越・新潟・中越・魚沼・上越）の傾向

4. 集計結果の詳細分析 | ②地域別傾向分析 | 安全対策の認知状況

全ての地域で、津波による浸水を防ぐため強化した対策を「知っている」割合が最も高く、安全対策(1)～(6)の平均では、上越・中越地域で「知っている」割合が高い傾向にある。

安全対策の認知状況（「1＝知っている」の割合） | 地域別

（％）

Q3-1.あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。

			(1)津波による浸水を防ぐために強化した対策	(2)火災・竜巻等自然災害に備え強化した対策	(3)電源を絶やさないために強化した対策	(4)原子炉を冷やし続けるために強化した対策	(5)重大事故を想定して強化した対策	(6) (1)～(5)を踏まえた緊急時の対応力を強化する訓練	知っている割合の平均（％）
全体		3,360	56.0	32.8	52.8	37.0	26.0	51.5	42.7
地域	下越地域	305	60.0	34.9	51.9	37.6	24.4	51.5	43.4
	新潟地域	1,440	53.7	30.1	52.4	35.8	25.8	49.6	41.2
	中越地域	988	57.6	35.2	53.3	37.7	26.8	53.9	44.1
	魚沼地域	235	53.9	31.6	53.2	39.5	23.7	48.3	41.7
	上越地域	393	58.6	35.5	53.2	37.5	27.0	53.9	44.3

ハッチングルール：各地域の最も割合の高いもの

4. 集計結果の詳細分析 | ②地域別傾向分析 | 防災対策の認知状況

下越・新潟・上越地域では、原子力防災訓練を、中越地域では安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄を、魚沼地域では県や市町村による避難計画策定を「知っている」割合が最も高く、防災対策(1)～(8)の平均では、上越・中越地域で「知っている」割合が高い傾向にある。

防災対策の認知状況（「1＝知っている」の割合） | 地域別

(%)

Q4-2.あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。

			(1)県や市町村による避難計画の策定	(2)住民避難をより円滑にするための避難路の整備や除排雪体制の強化	(3)避難に使用するバス等の交通手段の確保	(4)医療機関や福祉施設などの放射線防護対策（建物の気密化等）	(5)自宅以外で屋内退避が実施できる施設の改修	(6)安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄	(7)放射線量を観測する設備（モニタリングポスト等）の設置	(8)原子力防災訓練の実施	知っている割合の平均 (%)
全体		3,360	50.6	36.0	28.4	21.8	22.4	53.3	40.1	51.8	38.1
地域	下越地域	305	51.8	35.3	28.1	21.1	23.7	48.5	38.7	52.3	37.4
	新潟地域	1,440	50.0	34.6	28.5	20.4	21.6	47.1	37.9	50.8	36.4
	中越地域	988	51.2	37.8	29.8	23.4	22.3	66.9	43.6	53.7	41.1
	魚沼地域	235	45.6	34.8	22.9	20.2	17.7	44.2	33.6	45.3	33.0
	上越地域	393	53.1	37.6	28.4	24.1	27.6	51.2	44.2	54.5	40.1

ハッチングルール：各地域の最も割合の高いもの

4. 集計結果の詳細分析 | ②地域別傾向分析 | 再稼働に関する考え方

全ての地域で、再稼働による影響を心配・問題とする考え方に対し「そう思う」と回答する割合が高い。中越・魚沼・上越地域では、避難等防災対策への回答の割合も高い。

柏崎刈羽原発再稼働に関する考え方（「1＝そう思う」の割合） | 地域別

(%)

問5-1.以下には柏崎刈羽原子力発電所 6 号機・7 号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。

			発電所の安全・安心		避難等防災対策			再稼働による影響							その他		
			(1)福島第一原発事故の教訓等を踏まえ十分な安全対策が取られている	(2)東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ	(3)安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ	(4)安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ	(5)豪雪時に安全に避難・屋内退避できるよう、除雪体制のさらなる整備が必要だ	(6)電力の安定供給につながる	(7)地球温暖化対策につながる	(8)地域経済や雇用に良い影響がある	(9)自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ	(10)原子力災害が発生した場合、風評被害が起きないか心配だ	(11)原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ	(12)原発の使用済核燃料が増えていることが問題だ	(13) 6 号機・7 号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ	(14)再稼働の条件は現状で整っている	(15)どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない
全体		3,360	9.0	39.2	57.5	58.6	63.6	40.4	23.5	28.0	35.2	64.7	67.2	68.0	39.8	8.9	28.4
地域	下越地域	305	9.4	36.7	60.6	61.9	64.4	38.5	22.6	28.3	30.9	66.7	65.8	67.8	38.2	9.4	29.1
	新潟地域	1,440	9.3	38.6	54.5	56.3	60.8	41.6	23.9	26.7	32.9	63.9	65.5	67.1	37.0	8.3	27.3
	中越地域	988	8.1	43.6	61.4	61.5	67.1	38.3	22.3	28.9	42.1	66.5	72.4	70.0	44.8	9.5	31.3
	魚沼地域	235	11.3	36.5	59.8	55.4	63.1	39.9	23.7	28.1	31.1	62.9	64.1	69.1	43.2	10.4	29.6
	上越地域	393	8.8	34.2	55.1	59.0	65.1	42.7	26.0	30.4	32.6	62.6	62.8	65.5	37.1	8.4	23.8

ハッチングルール：各地域の割合の高いもの上位3つ（■ 1 位 ■ 2 位 ■ 3 位）

各地域で「そう思う」の割合が高かったもの

下越地域、新潟地域 ……再稼働による影響（原子力災害発生時の影響、使用済核燃料）

中越地域、魚沼地域、上越地域 ……再稼働による影響（原子力災害発生時の影響、使用済核燃料）、避難等防災対策（除雪体制）

4. 集計結果の詳細分析 | ②地域別傾向分析 | 再稼働に関する考え方

全ての地域で、再稼働による影響を心配・問題とする考え方に対し「そう思う」と回答する割合が高い。新潟・中越・魚沼地域では、避難等防災対策への回答の割合も高い。

柏崎刈羽原発再稼働に関する考え方（「1＝そう思う」「2＝どちらかといえばそう思う」の割合） | 地域別 (%)

問5-1.以下には柏崎刈羽原子力発電所 6 号機・7 号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。

			発電所の安全・安心		避難等防災対策			再稼働による影響							その他		
			(1)福島第一原発事故の教訓等を踏まえ十分な安全対策が取られている	(2)東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ	(3)安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ	(4)安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ	(5)豪雪時に安全に避難・屋内退避できるよう、除雪体制のさらなる整備が必要だ	(6)電力の安定供給につながる	(7)地球温暖化対策につながる	(8)地域経済や雇用に良い影響がある	(9)自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ	(10)原子力災害が発生した場合、風評被害が起きないか心配だ	(11)原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ	(12)原発の使用済核燃料が増えていることが問題だ	(13) 6 号機・7 号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ	(14)再稼働の条件は現状で整っている	(15)どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない
N																	
全体		3,360	54.8	69.0	89.9	89.9	90.8	74.8	59.5	66.9	69.0	90.3	90.9	91.6	70.4	37.2	47.1
地域	下越地域	305	58.0	68.8	89.1	90.0	89.3	74.4	57.1	69.2	65.7	91.8	91.9	90.2	73.6	40.1	46.5
	新潟地域	1,440	54.8	68.3	89.8	89.7	90.7	76.4	59.9	65.9	65.6	89.9	89.9	91.6	67.4	36.7	46.1
	中越地域	988	51.8	72.1	89.9	90.0	91.5	72.2	58.8	66.7	75.6	90.7	92.7	92.5	74.0	35.4	50.1
	魚沼地域	235	54.9	66.2	91.0	89.6	91.0	73.6	56.4	62.0	64.0	88.6	87.0	90.5	71.9	38.2	48.9
	上越地域	393	59.9	65.4	90.3	90.5	90.4	76.7	64.1	72.3	70.6	90.6	91.5	90.7	68.8	40.2	42.9

ハッチングルール：各地域の割合の高いもの上位3つ（■ 1 位 ■ 2 位 ■ 3 位）

各地域で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が高かったもの

下越地域、上越地域 ……再稼働による影響（原子力災害発生時の影響、使用済核燃料）

新潟地域、中越地域 ……再稼働による影響（原子力災害発生時の影響、使用済核燃料）、避難等防災対策（除雪体制）

魚沼地域 ……再稼働による影響（原子力災害発生時の影響、使用済核燃料）、避難等防災対策（除雪体制、避難路）

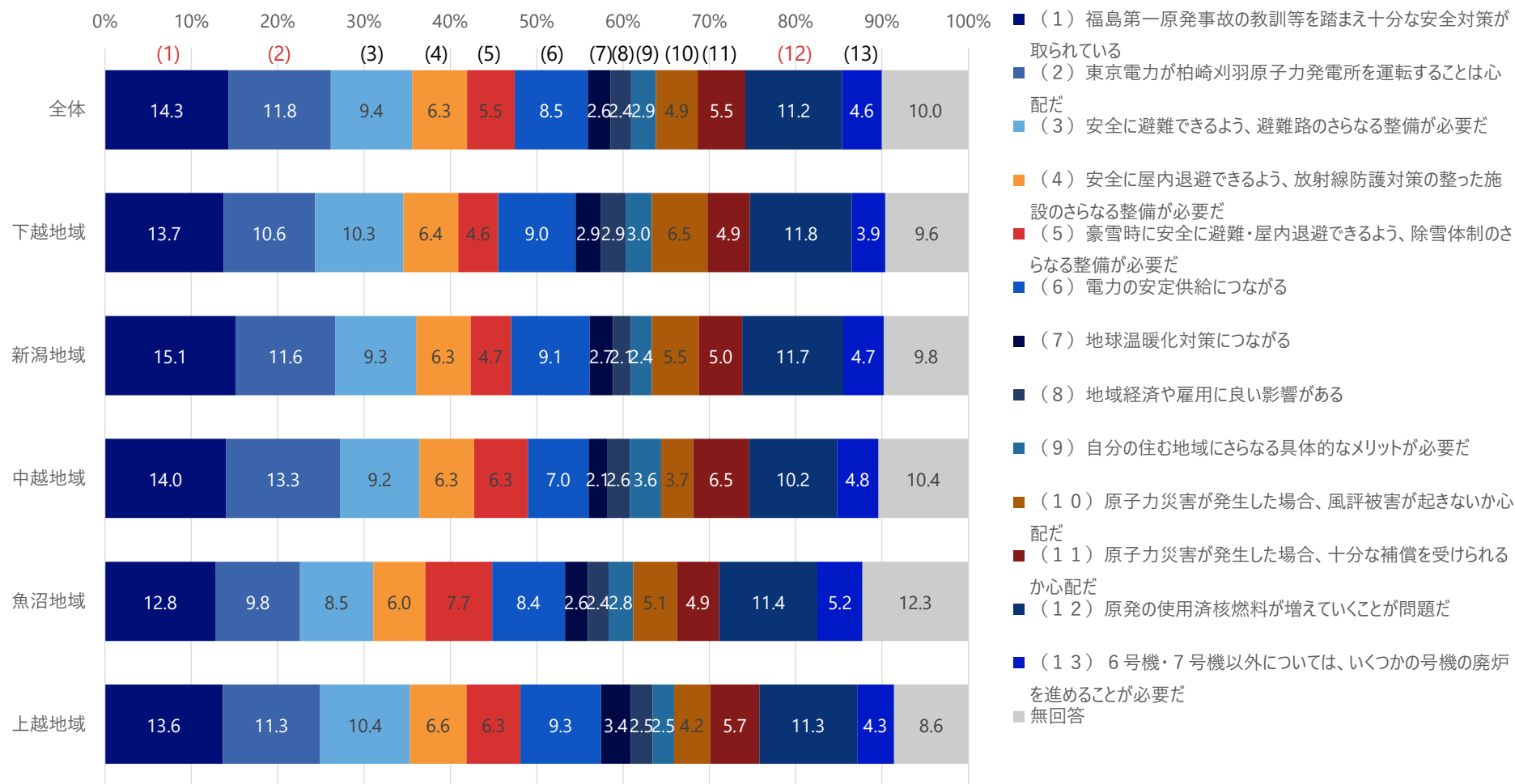
出所）新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」（2025年9月）

4. 集計結果の詳細分析 | ②地域別傾向分析 | 再稼働に関する考え方

全ての地域で「(1)十分な安全対策」を最も重視しており、次いで下越・新潟・魚沼・上越地域では、「(12)使用済核燃料の問題」を、中越・上越地域では「(2)東京電力による運転の心配」を挙げている。

柏崎刈羽原発再稼働に関する考え方(1位から3位までの上位3項目を重みづけして集計(1位：1, 2位：0.5, 3位：0.33)) (%)

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

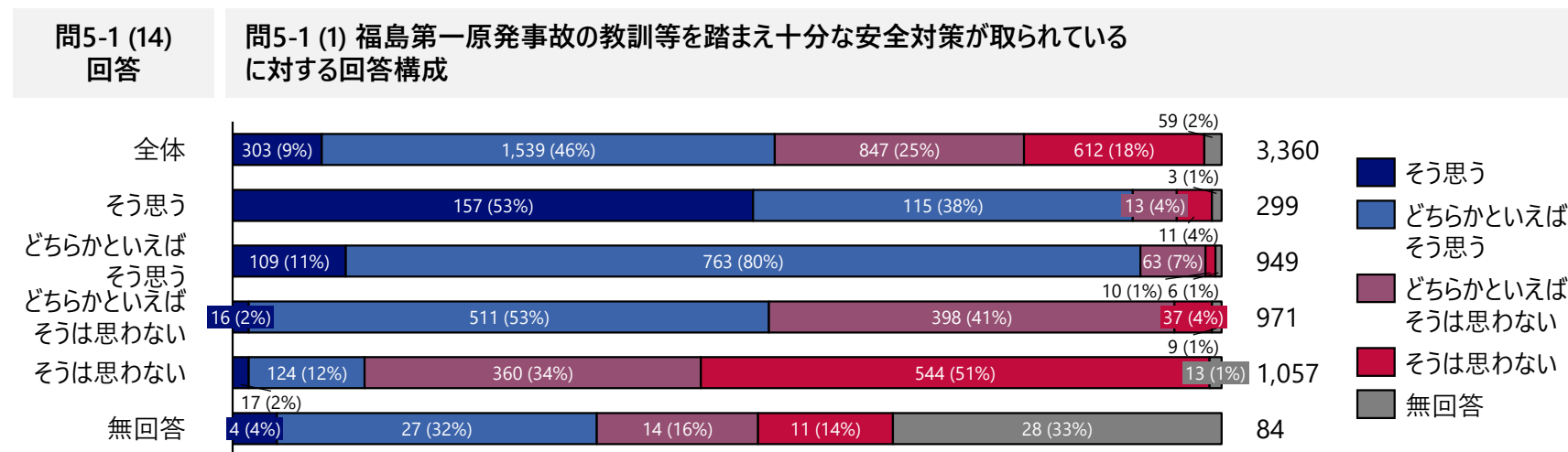
5. 集計・分析結果サマリ

4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(1)クロス集計

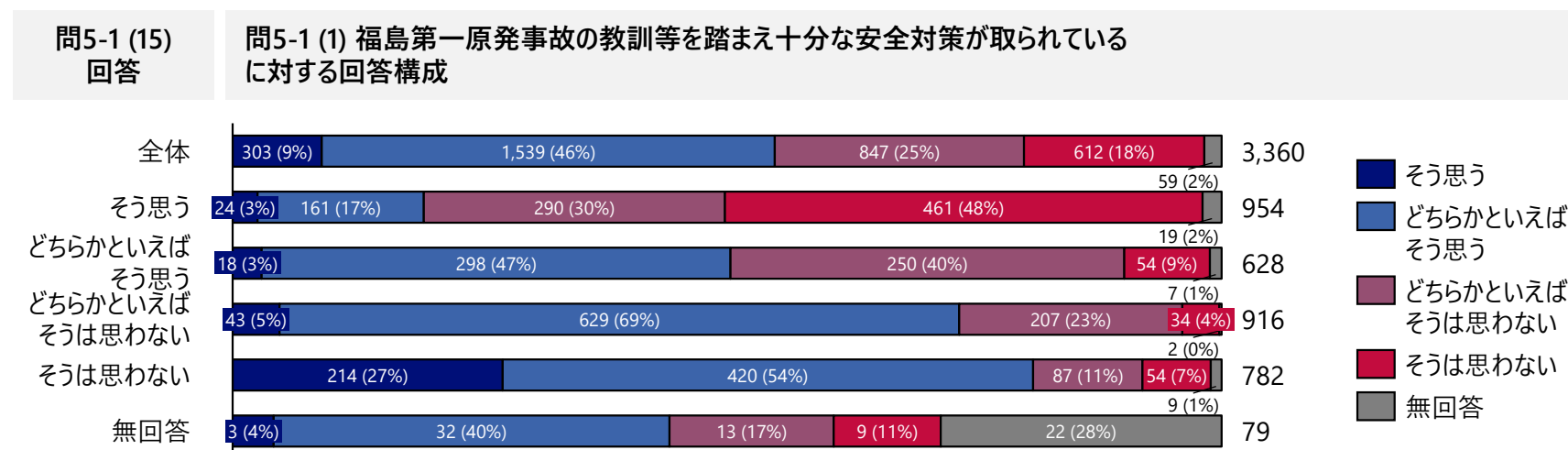
再稼働に対して肯定的な人だけでなく、やや否定的な人も約5割は（どちらかといえば含め）「十分な安全対策が取られている」という見方をしている。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(1)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(1)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(1))



問5-1 (15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(1)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(1))



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(2)クロス集計

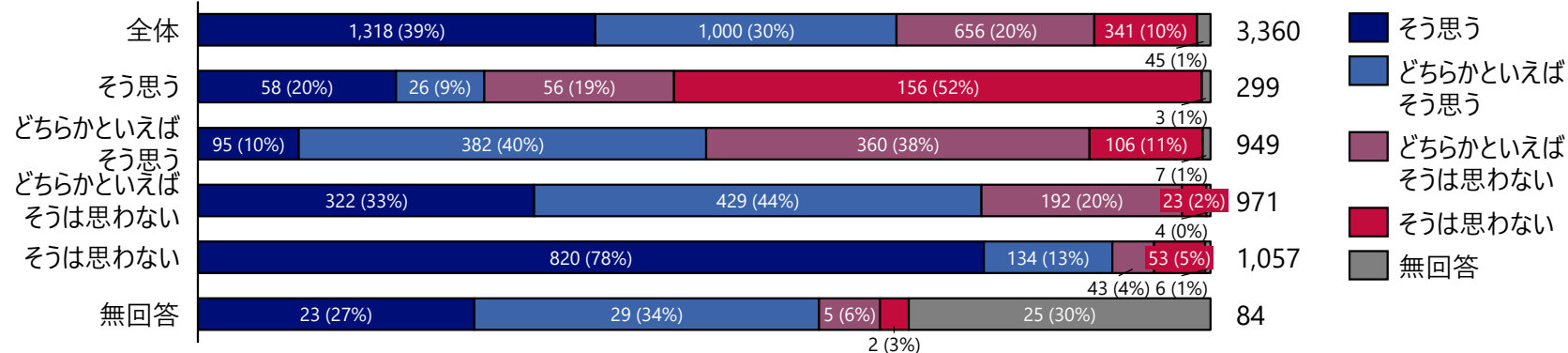
再稼働に対して否定的な人ほど、「東京電力による運転の心配」を回答する傾向にある。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(2)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(2)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(2))

問5-1 (14)
回答

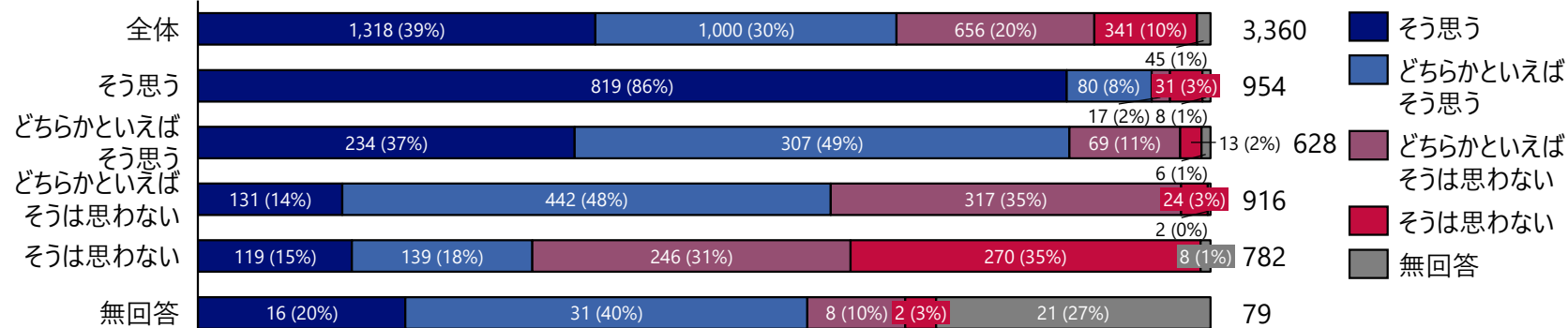
問5-1 (2) 東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ
に対する回答構成



問5-1 (15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(2)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(2))

問5-1 (15)
回答

問5-1 (2) 東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(3)クロス集計

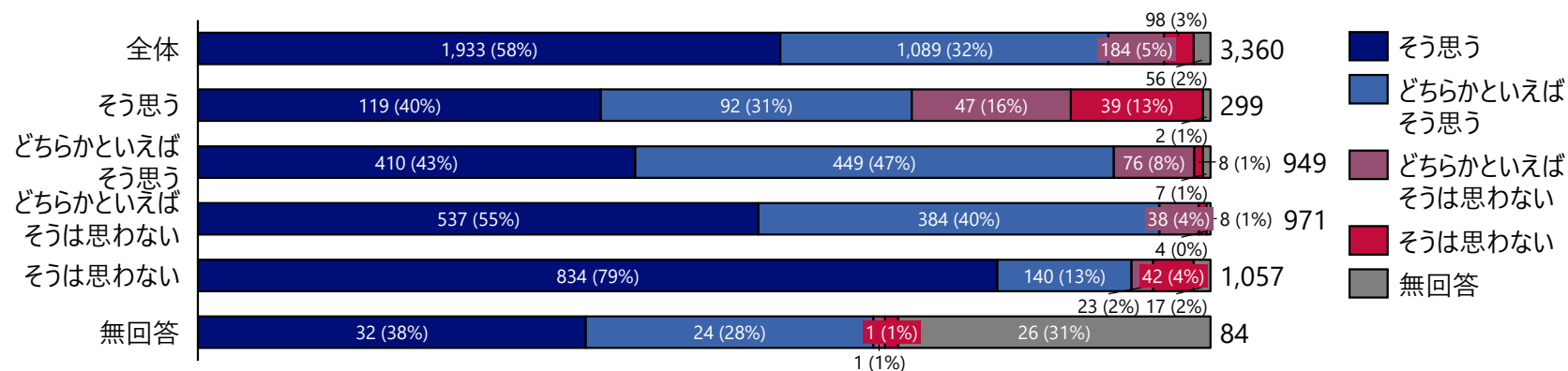
再稼働に対するスタンスのいずれの回答でも、「避難路のさらなる整備が必要」と考える人が7割以上（無回答除き）。再稼働に否定的な人ほど必要性を強く思う傾向にある。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(3)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(3)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(3))

問5-1 (14)
回答

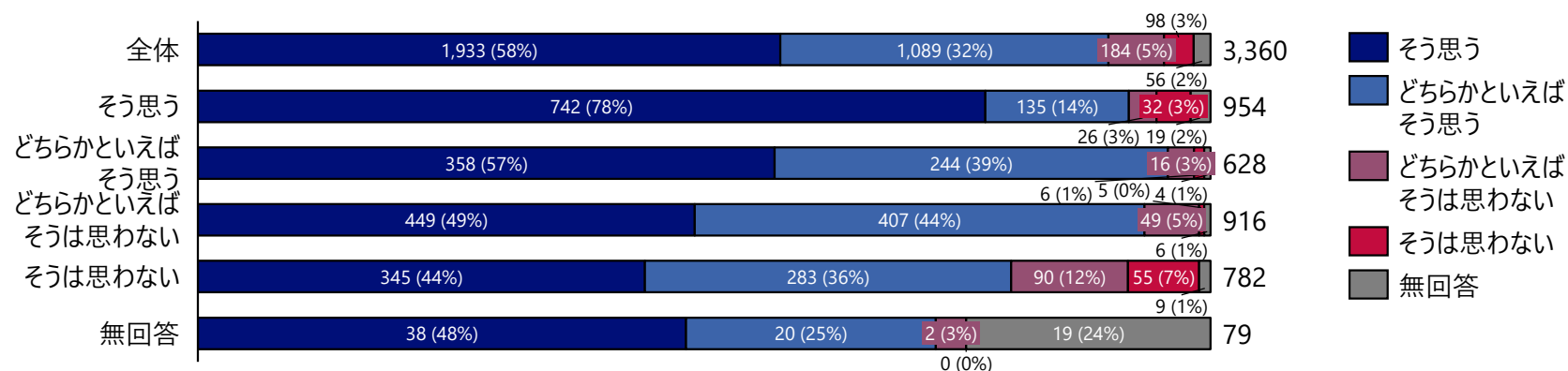
問5-1 (3) 安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ
に対する回答構成



問5-1 (15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(3)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(3))

問5-1 (15)
回答

問5-1 (3) 安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(4)クロス集計

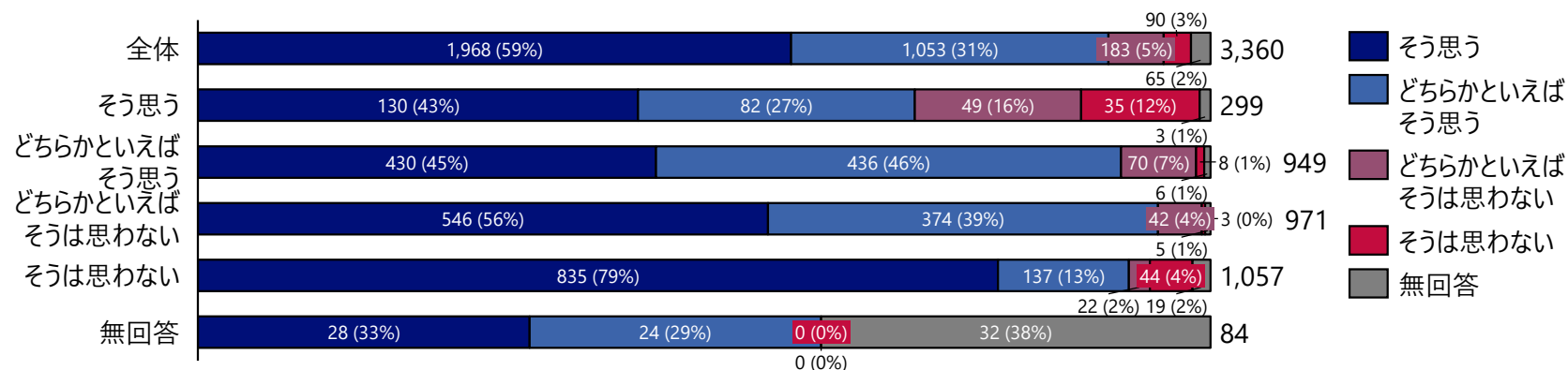
再稼働に対するスタンスのいずれの回答でも、「放射線防護対策の整った施設の更なる整備が必要」と考える人が7割以上（無回答除き）。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(4)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(4)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(4))

問5-1(14)
回答

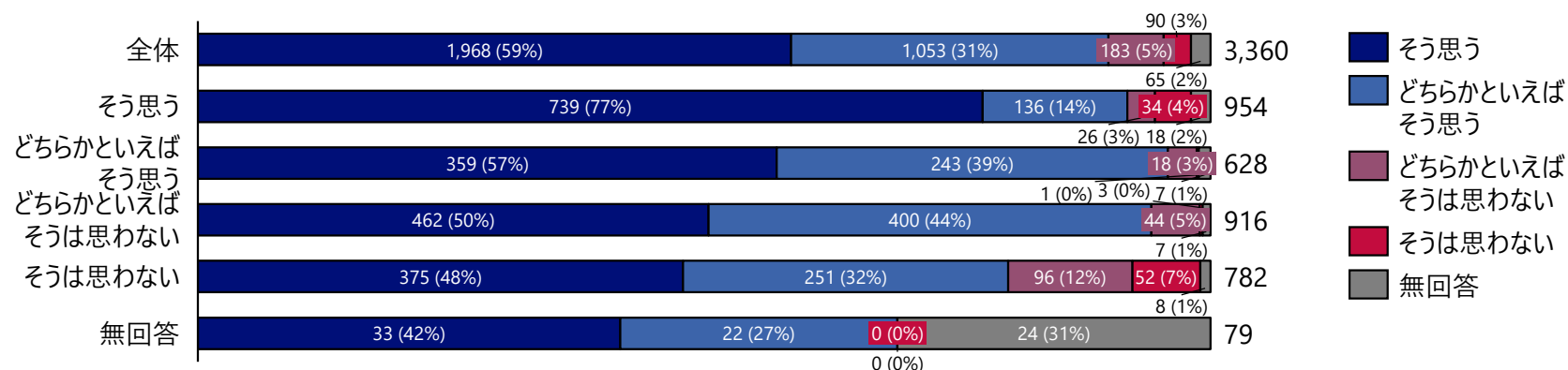
問5-1(4) 安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(4)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(4))

問5-1(15)
回答

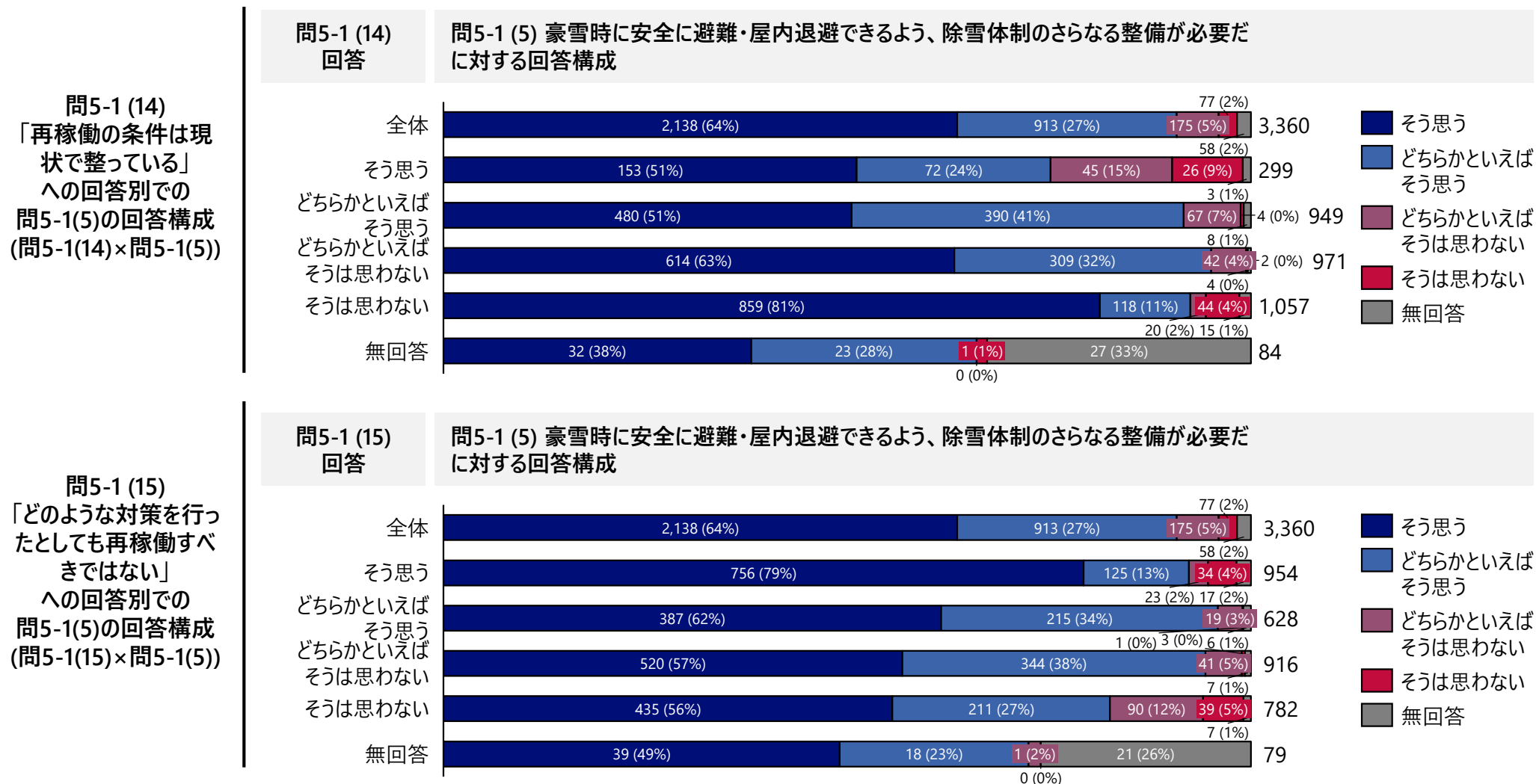
問5-1(4) 安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(5)クロス集計

再稼働に対するスタンスのいずれの回答でも、「除雪体制のさらなる整備が必要」と考える人が7割以上（無回答除き）。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(5)に対する回答傾向の比較)



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(6)クロス集計

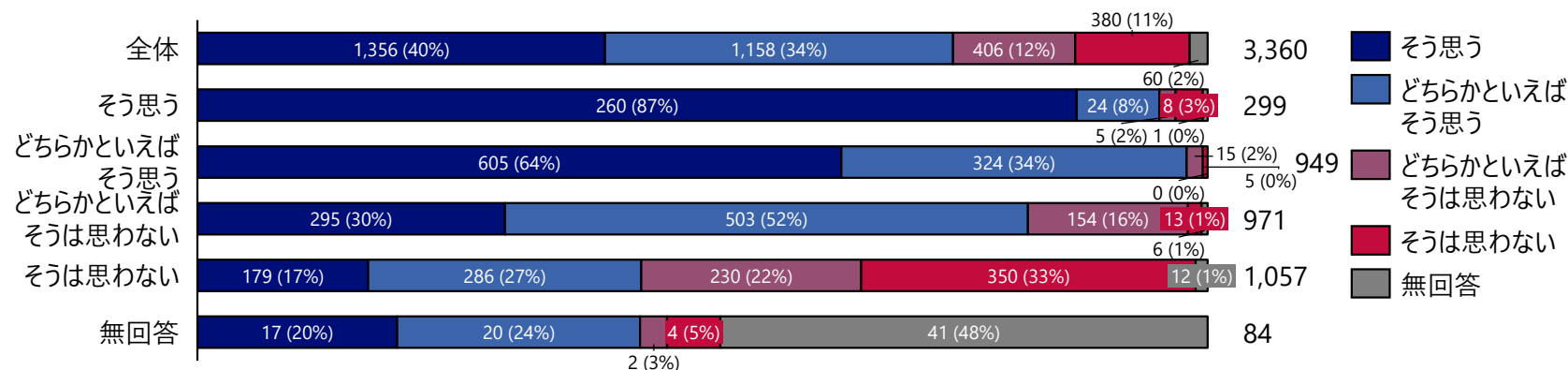
再稼働に肯定的な人のみだけでなく、やや否定的な人についてもそのうち約8割が再稼働により「電力の安定供給につながる」と考える傾向にある。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(6)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(6)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(6))

問5-1(14)
回答

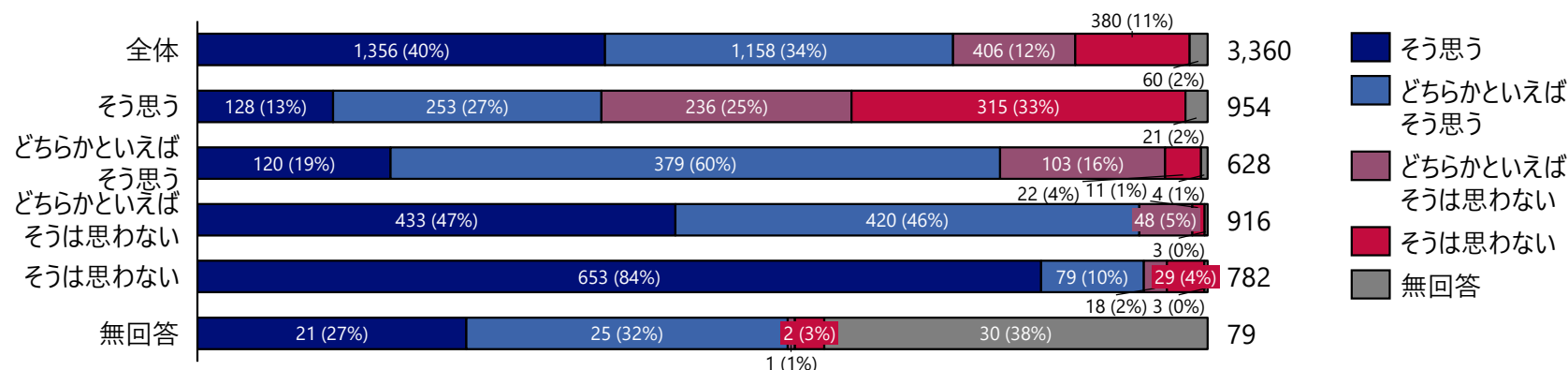
問5-1(6) 電力の安定供給につながる
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(6)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(6))

問5-1(15)
回答

問5-1(6) 電力の安定供給につながる
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(7)クロス集計

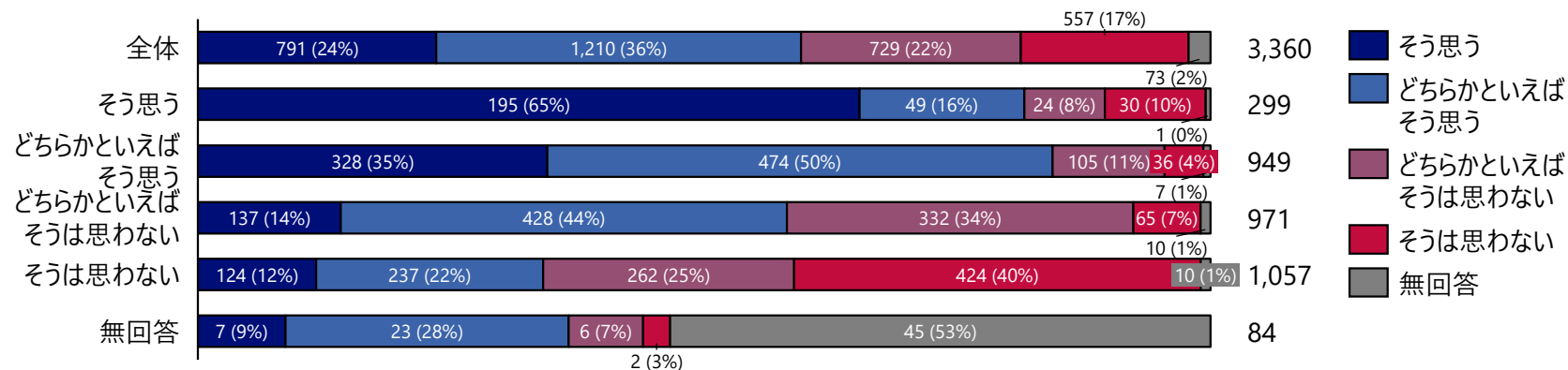
全体のうち6割の人は、再稼働により「地球温暖化対策につながる」と思っているが、再稼働に否定的な人は「地球温暖化対策につながる」と思う割合が3割程度にとどまる。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(7)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(7)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(7))

問5-1(14)
回答

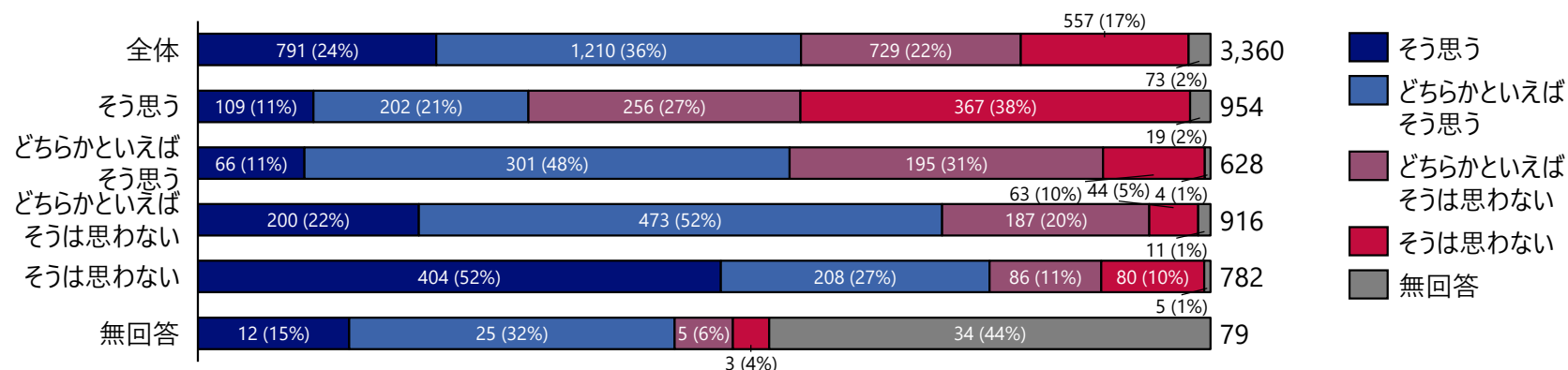
問5-1(7) 地球温暖化対策につながる
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(7)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(7))

問5-1(15)
回答

問5-1(7) 地球温暖化対策につながる
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(8)クロス集計

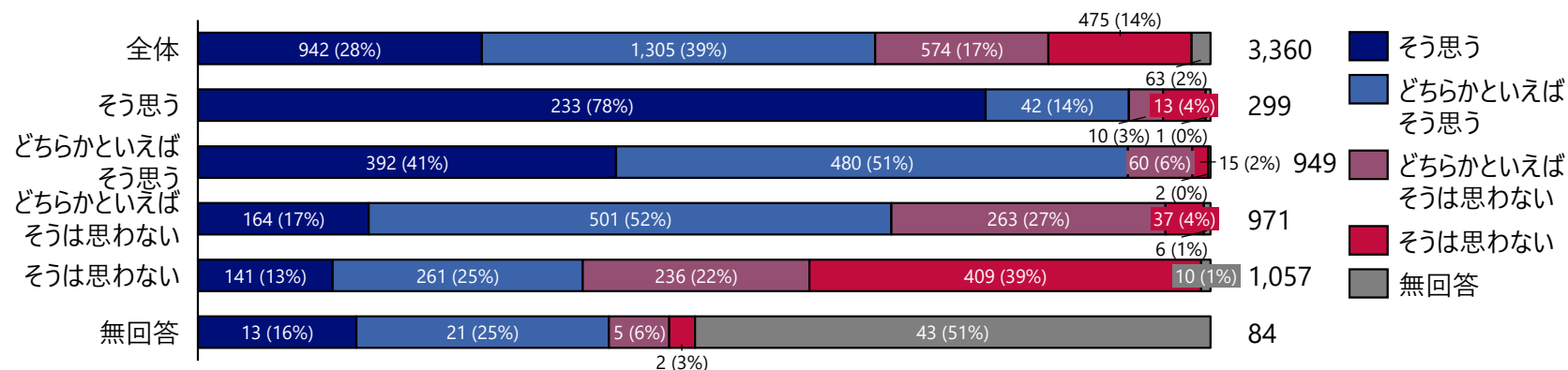
全体のうち7割弱の人は、再稼働により「地域経済や雇用に良い影響がある」と思っているが、再稼働に否定的な人は「地域経済や雇用に良い影響がある」と思う割合は4割弱にとどまる。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(8)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(8)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(8))

問5-1(14)
回答

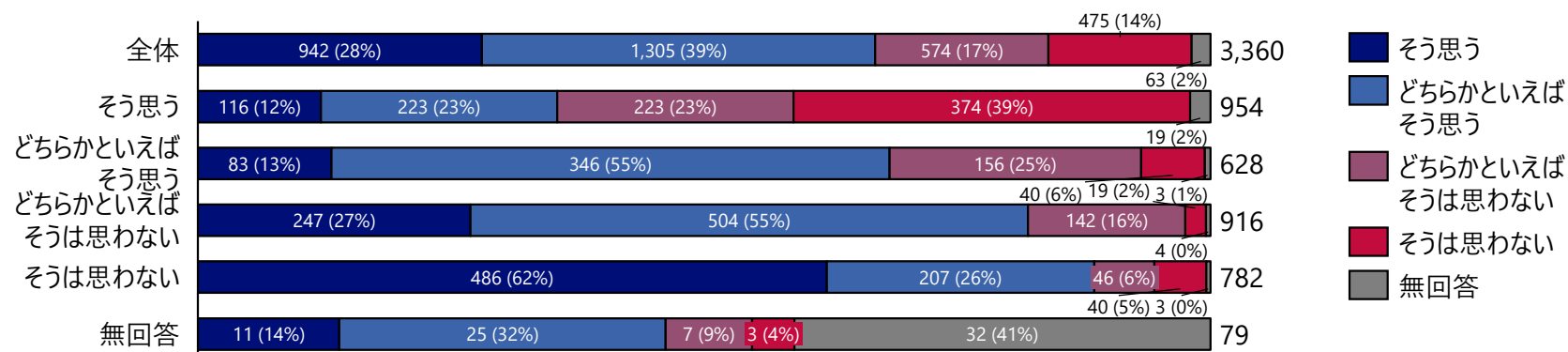
問5-1(8) 地域経済や雇用に良い影響がある
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(8)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(8))

問5-1(15)
回答

問5-1(8) 地域経済や雇用に良い影響がある
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(9)クロス集計

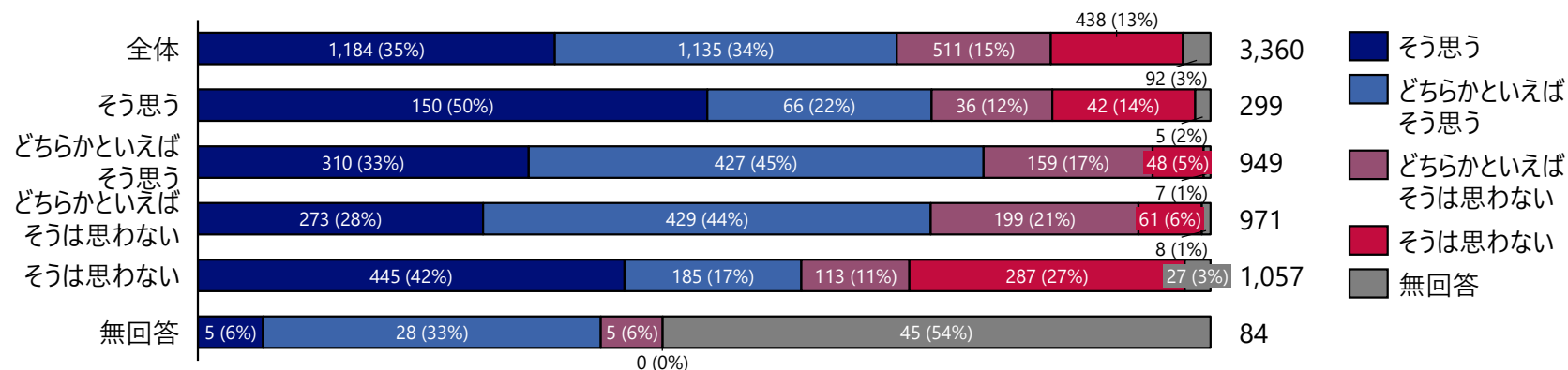
再稼働に対するスタンスのいずれの回答でも、「自分の住む地域にさらなる具体的メリットが必要だ」と思う人は5割を超えている。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(9)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現
状で整っている」
への回答別での
問5-1(9)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(9))

問5-1(14)
回答

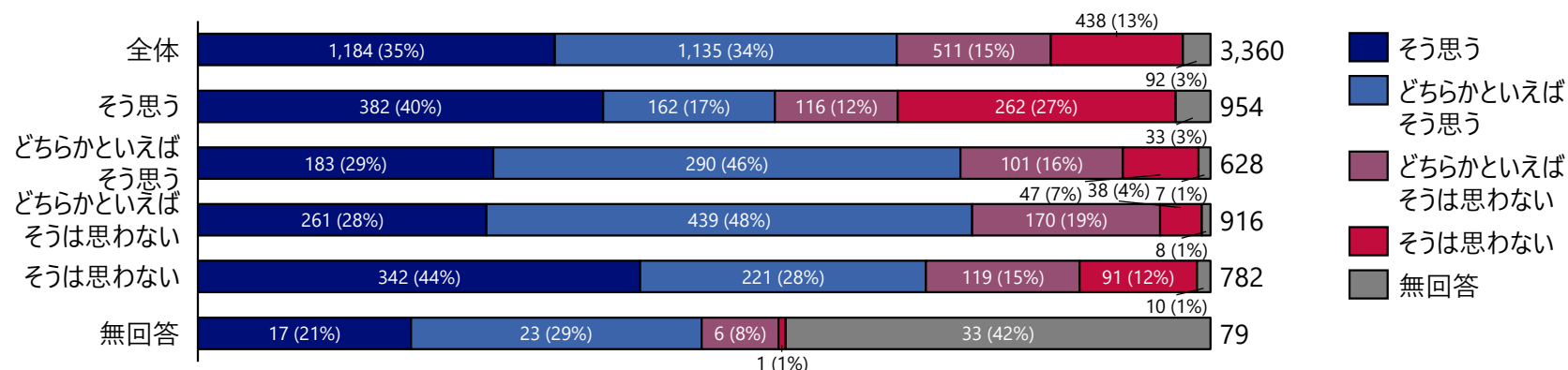
問5-1(9) 自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行っ
たとしても再稼働すべ
きではない」
への回答別での
問5-1(9)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(9))

問5-1(15)
回答

問5-1(9) 自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ
に対する回答構成

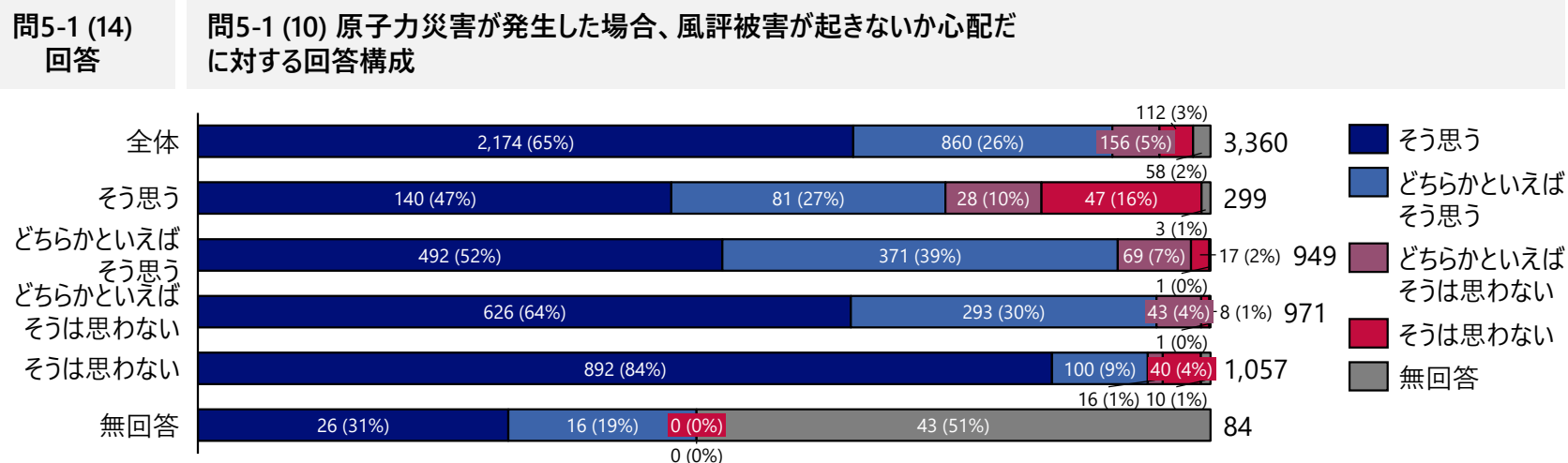


4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(10)クロス集計

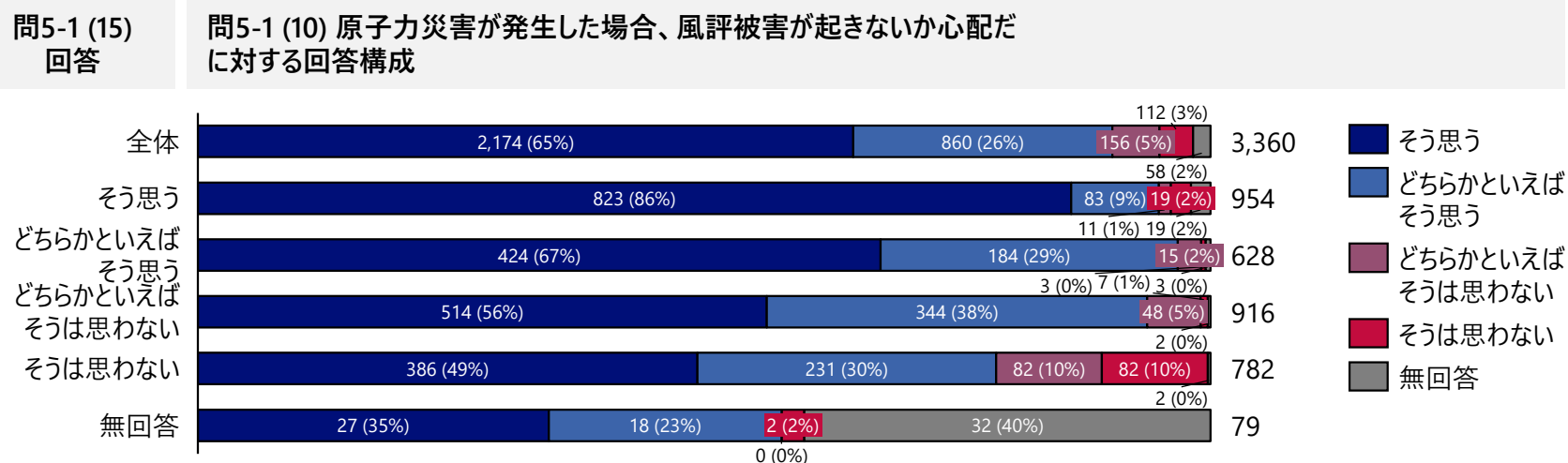
再稼働に対するスタンスのいずれの回答でも、「原子力災害発生時の風評被害が心配」と思う人が多数を占める。再稼働に肯定的な人も7割超は風評被害を心配している。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(10)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現状
で整っている」
への回答別での
問5-1(10)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(10))



問5-1 (15)
「どのような対策を行った
としても再稼働すべきで
はない」
への回答別での
問5-1(10)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(10))



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(11)クロス集計

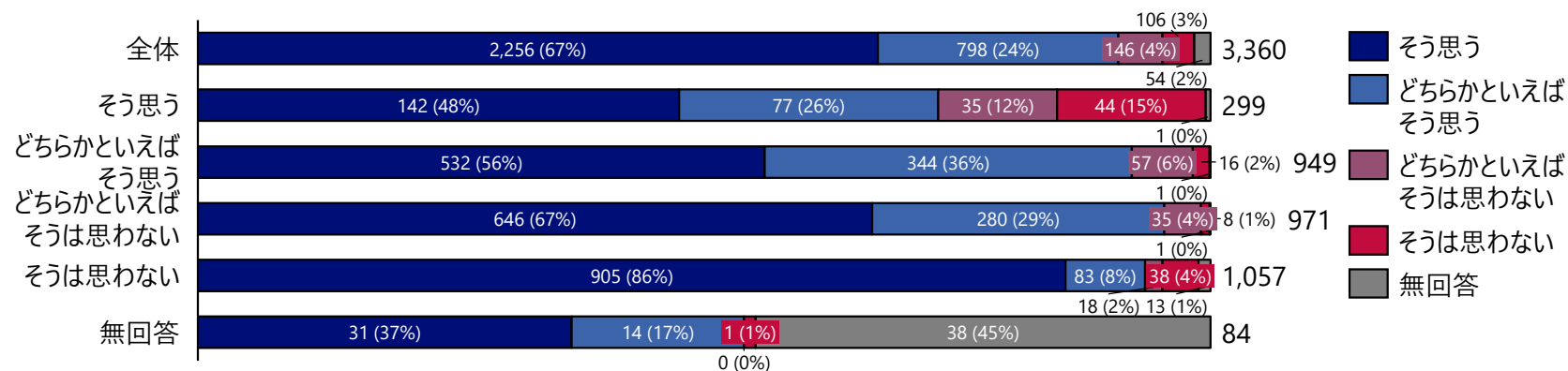
全体の9割超が、「原子力災害発生時に十分な補償を受けられるか心配」と回答している。
再稼働に否定的な人ほどその傾向が強い。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(11)に対する回答傾向の比較)

問5-1(14)
「再稼働の条件は現状で
整っている」
への回答別での
問5-1(11)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(11))

問5-1(14)
回答

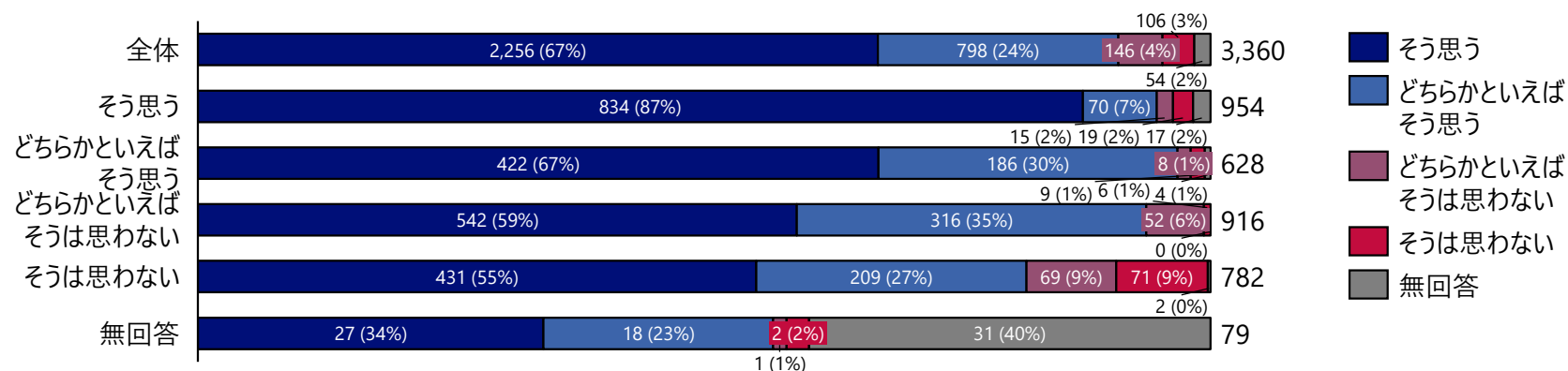
問5-1(11) 原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ
に対する回答構成



問5-1(15)
「どのような対策を行った
としても再稼働すべきでは
ない」
への回答別での
問5-1(11)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(11))

問5-1(15)
回答

問5-1(11) 原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ
に対する回答構成

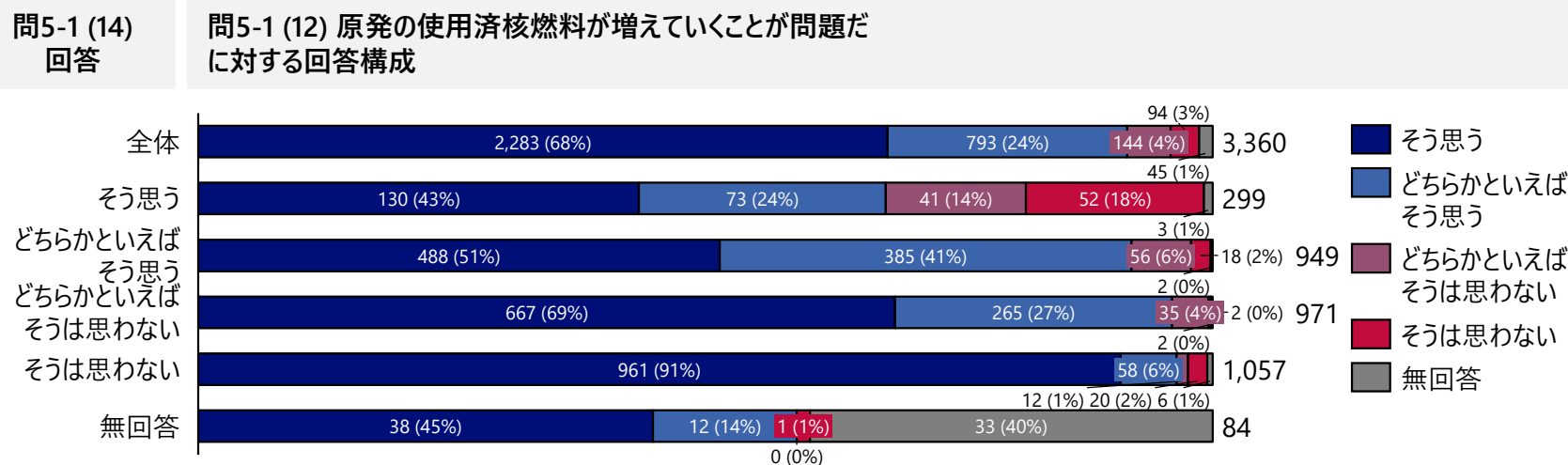


4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(12)クロス集計

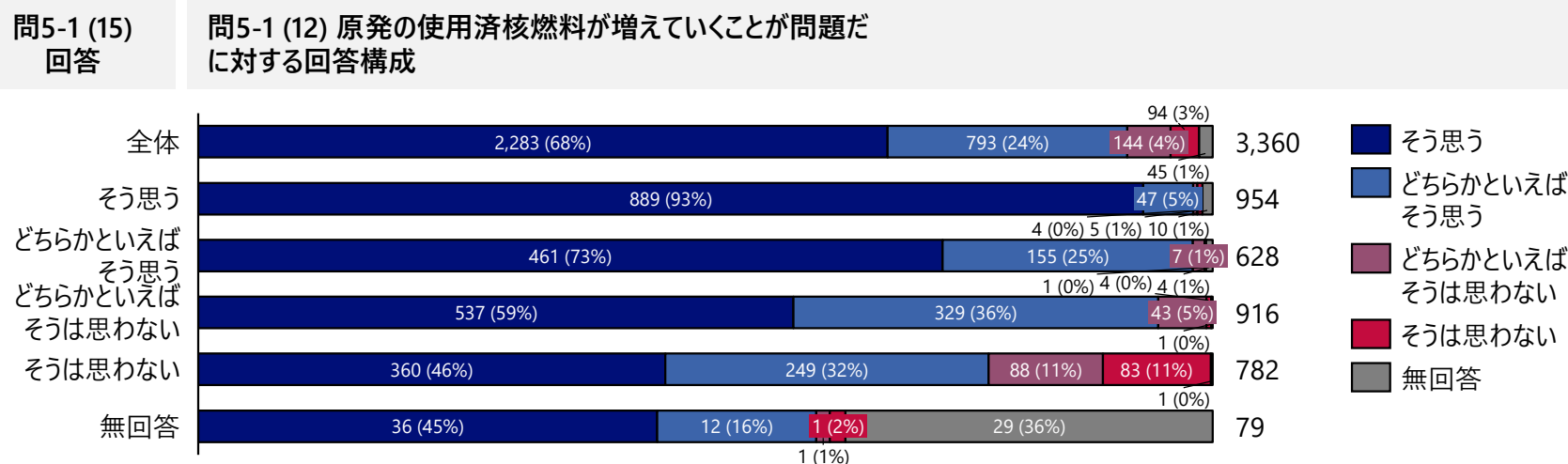
全体の9割超が、「使用済み核燃料が増えていくことが問題」と回答している。
再稼働に否定的な人ほどその傾向が強い。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(12)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現状
で整っている」
への回答別での
問5-1(12)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(12))



問5-1 (15)
「どのような対策を行った
としても再稼働すべきで
はない」
への回答別での
問5-1(12)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(12))



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 問5-1(14),(15)×問5-1(13)クロス集計

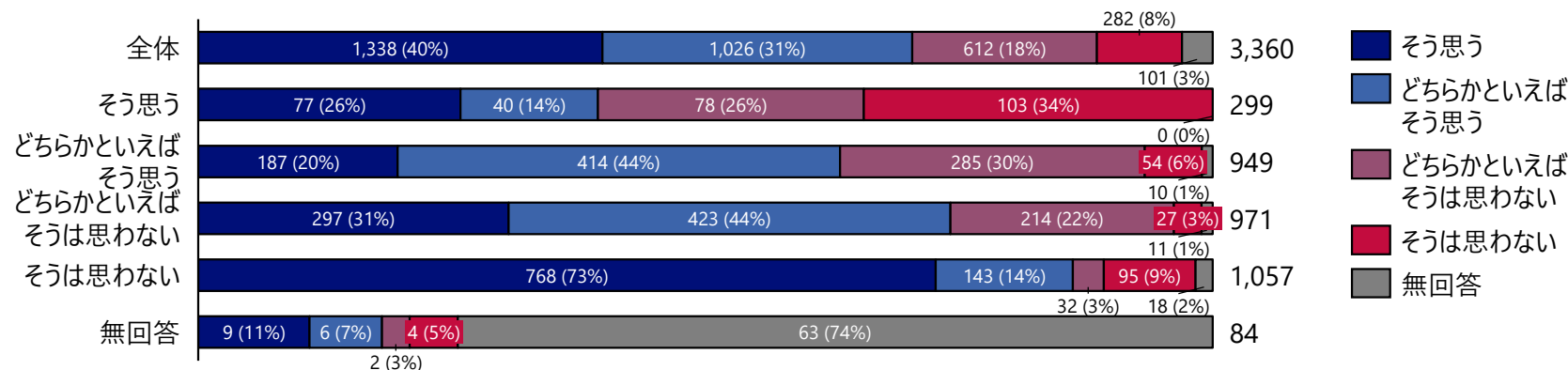
全体の7割超が、「6・7号機以外のいくつかの号機について廃炉を進めていくことが必要」と思っている。再稼働に否定的な人ほどその傾向が強い。

■ 問5-1(14),(15)を軸としたクロス集計を実施。両者で回答傾向はほぼ同じと言える。(以下は問5-1(13)に対する回答傾向の比較)

問5-1 (14)
「再稼働の条件は現状
で整っている」
への回答別での
問5-1(13)の回答構成
(問5-1(14)×問5-1(13))

問5-1 (14)
回答

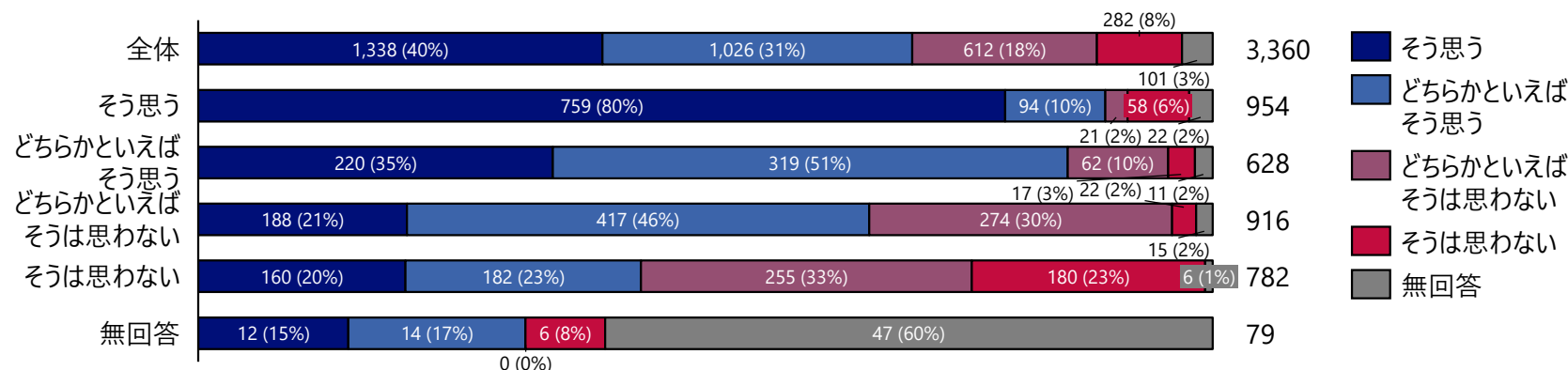
問5-1 (13) 6号機・7号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ
に対する回答構成



問5-1 (15)
「どのような対策を行った
としても再稼働すべきで
はない」
への回答別での
問5-1(13)の回答構成
(問5-1(15)×問5-1(13))

問5-1 (15)
回答

問5-1 (13) 6号機・7号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ
に対する回答構成



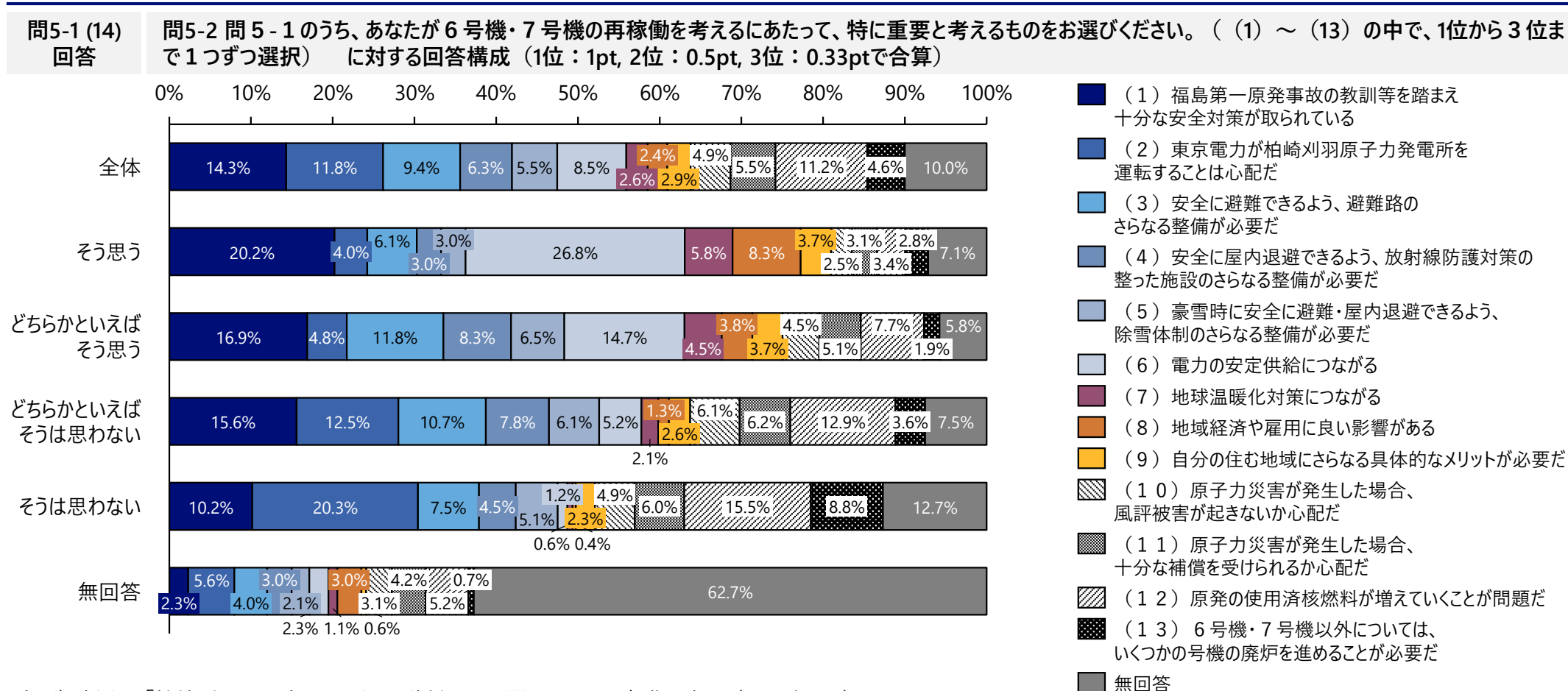
4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

問5-1(14)で「そう思う」と回答した人は「十分な安全対策」「電力安定供給」を、「そうは思わない」と回答した人は「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を、それら以外の回答をした人※は、「十分な安全対策」「避難路のさらなる整備」を重視しているのが目立つ。

※無回答を除く

- 「そう思う」→「どちらかといえばそう思う／そうは思わない」→「そうは思わない」にかけて、「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を重視する割合が増加し、「電力の安定供給」を重視する割合が減少しているのが目立つ。

全県集計データにおける、問5-1(14)の回答別での問5-2の回答構成（第1位～第3位合算）

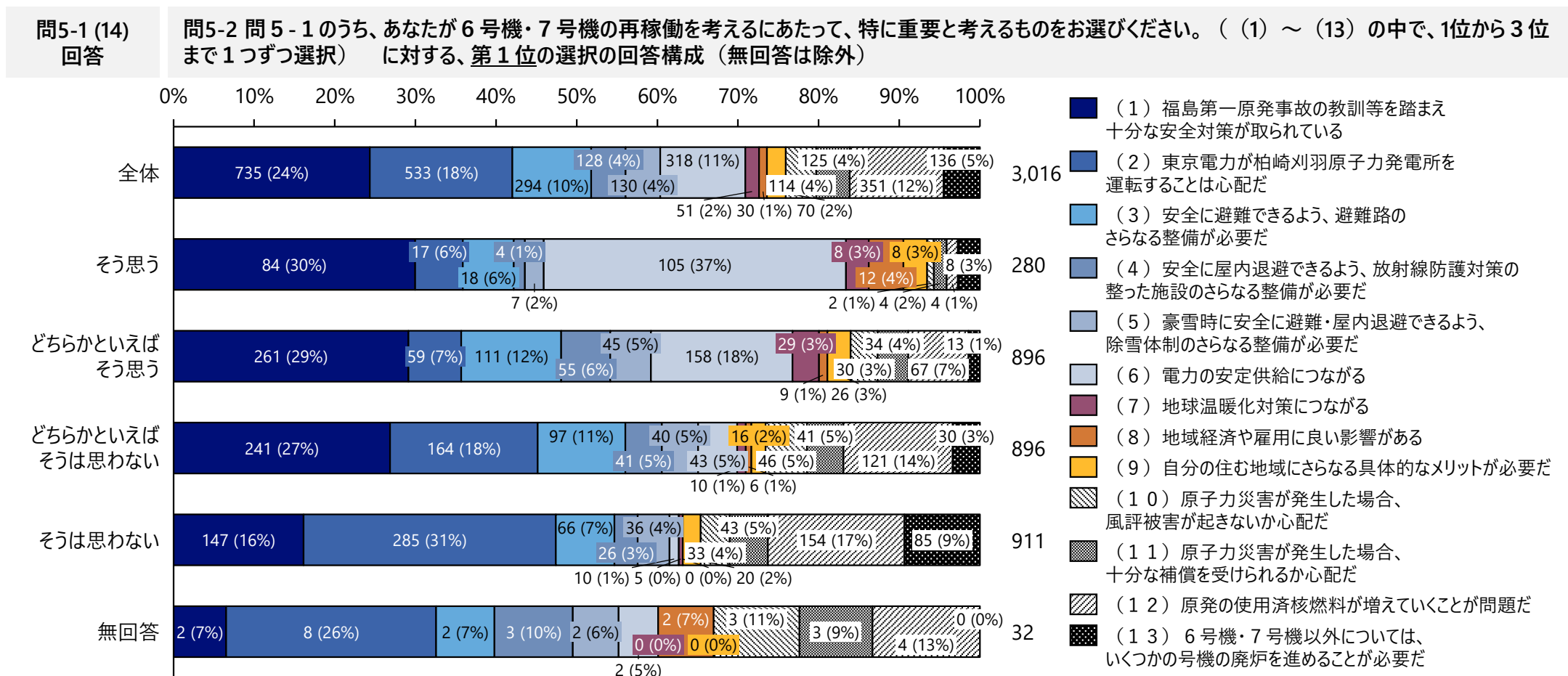


4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

【参考】問5-1(14)の回答別での、問5-2で1番目に重要と考える項目の内訳

- 再稼働に肯定的な人は電力の安定供給、十分な安全対策が取られていることを重視する人が多い
- 再稼働に否定的な人は、安全対策以外だと東京電力による運転の心配、使用済核燃料の問題を重視する人が多い

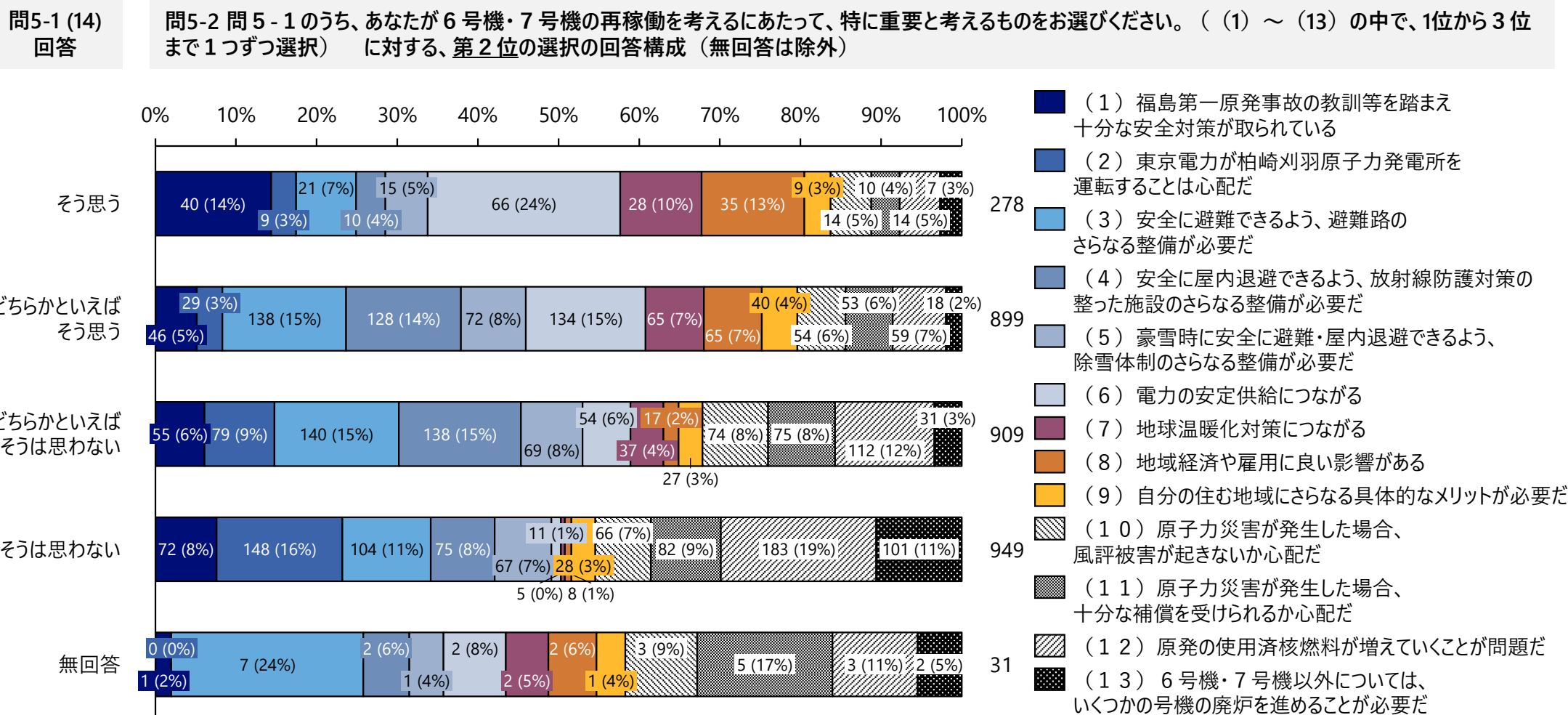
全県集計データにおける、問5-1(14)の回答別での問5-2の第1位の回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

【参考】問5-1(14)の回答別での、問5-2で2番目に重要と考える項目の内訳

全県集計データにおける、問5-1(14)の回答別での問5-2の第2位の回答構成



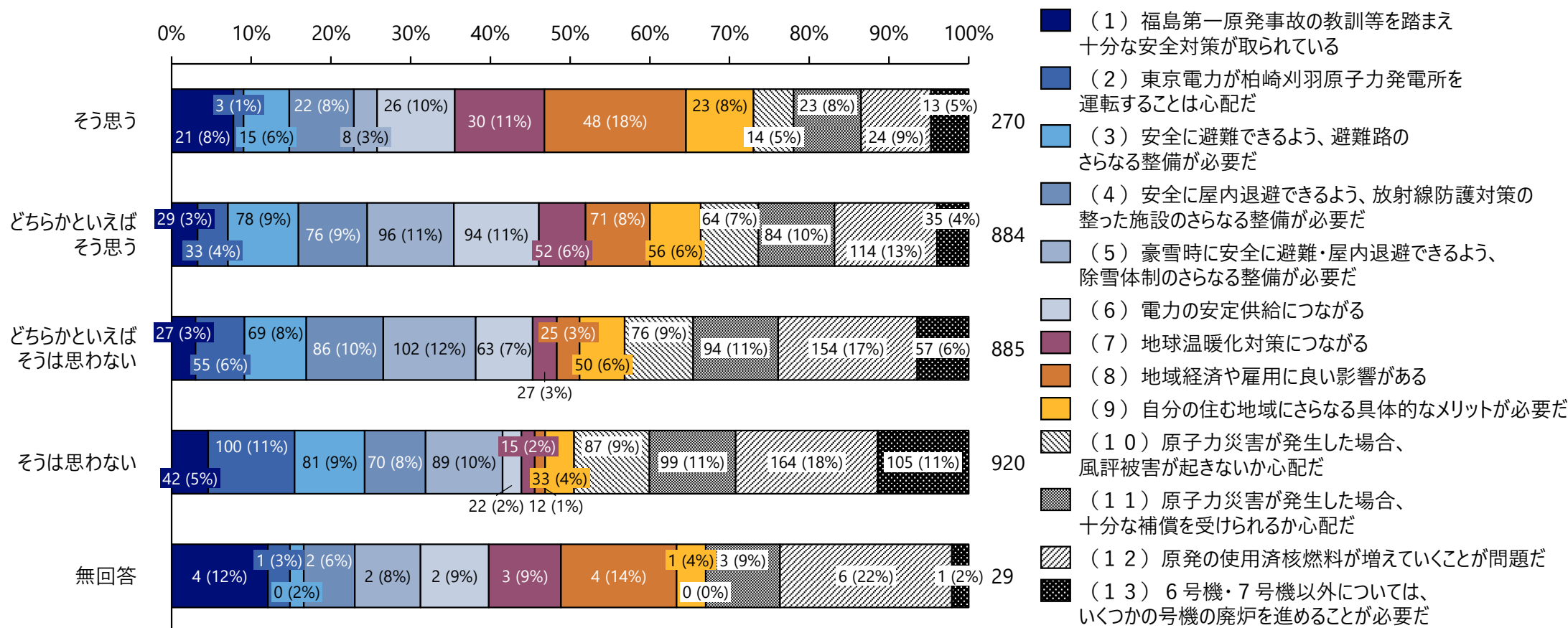
4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

【参考】問5-1(14)の回答別での、問5-2で3番目に重要と考える項目の内訳

全県集計データにおける、問5-1(14)の回答別での問5-2の第3位の回答構成

問5-1 (14)
回答

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。（（1）～（13）の中で、1位から3位まで1つずつ選択） に対する、第3位の選択の回答構成（無回答は除外）



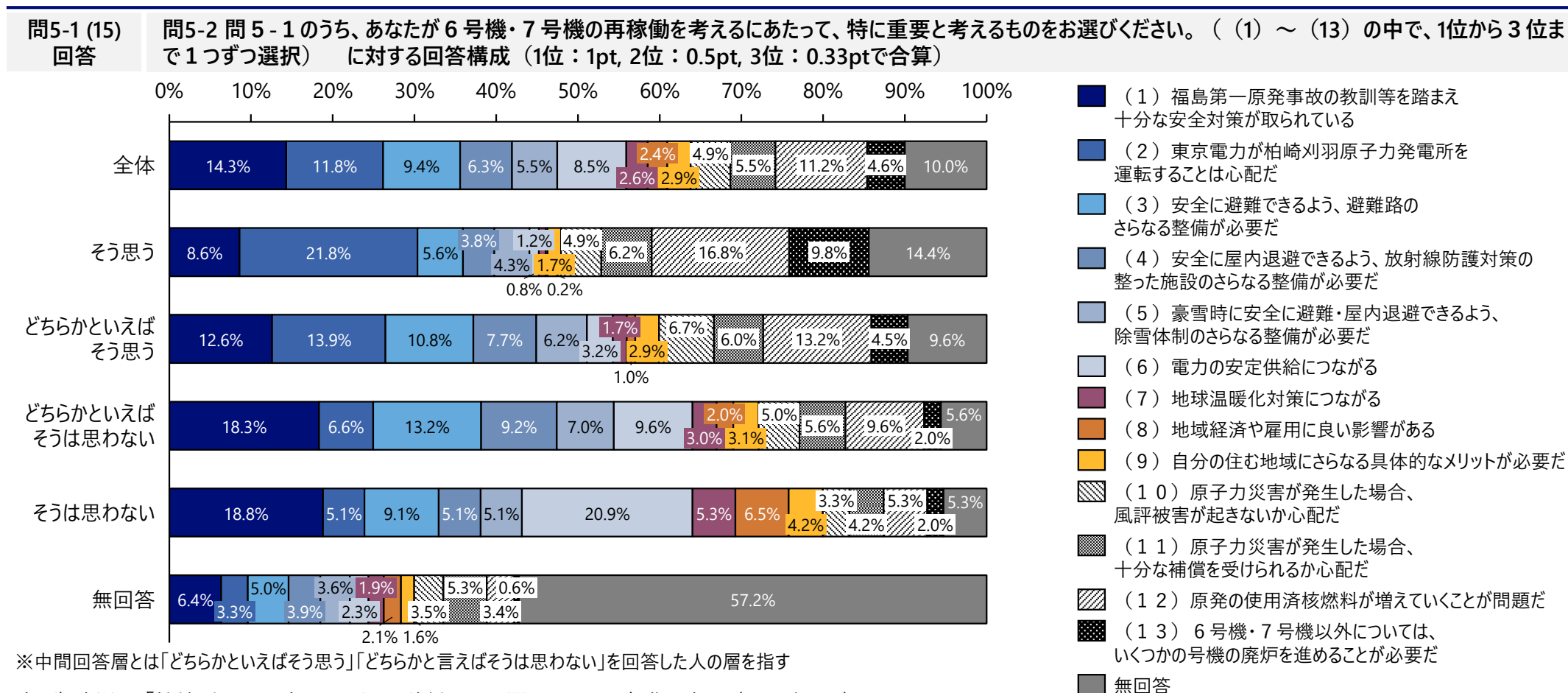
4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

問5-1(15)で「そう思う」と回答した人は「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を、「そうは思わない」と回答した人は「十分な安全対策」「電力安定供給」を、それら以外の回答をした人※は、「十分な安全対策」「避難路のさらなる整備」を重視しているのが目立つ。

※無回答を除く

■「そう思う」→「どちらかといえばそう思う／そうは思わない」→「そうは思わない」にかけて、「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を重視する割合が減少し、「電力の安定供給」を重視する割合が増加しているのが目立つ。

全県集計データにおける、問5-1(15)の回答別での問5-2の回答構成（第1位～第3位合算）



※中間回答層とは「どちらかといえばそう思う」「どちらかと言えばそうは思わない」を回答した人の層を指す

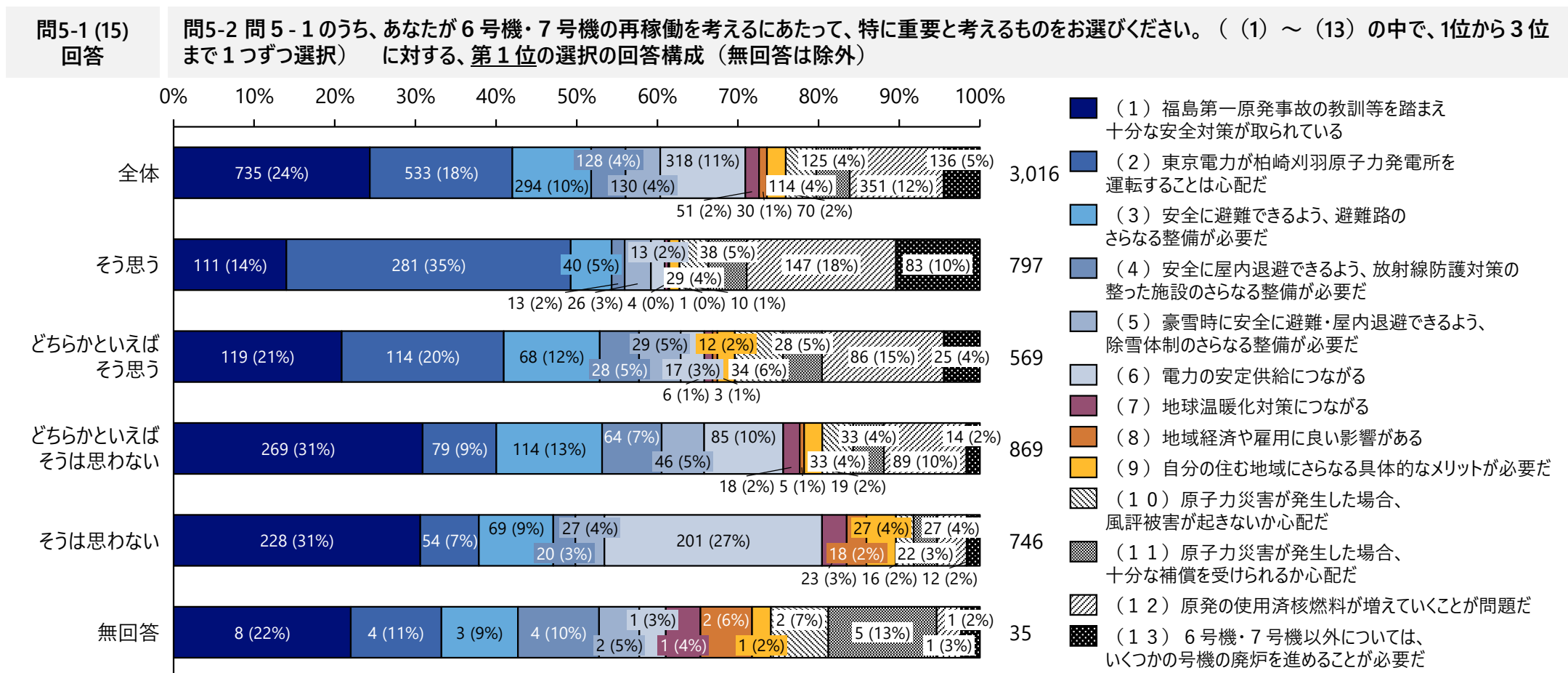
出所）新潟県「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の意識調査」（2025年9月）

4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 再稼働において重要視する項目（問5-2）

【参考】問5-1(14)の回答別での、問5-2で1番目に重要と考える項目の内訳

- 再稼働に肯定的な人は電力の安定供給、十分な安全対策が取られていることを重視する人が多い
- 再稼働に否定的な人は、安全対策以外だと東京電力による運転の心配、使用済核燃料の問題を重視する人が多い

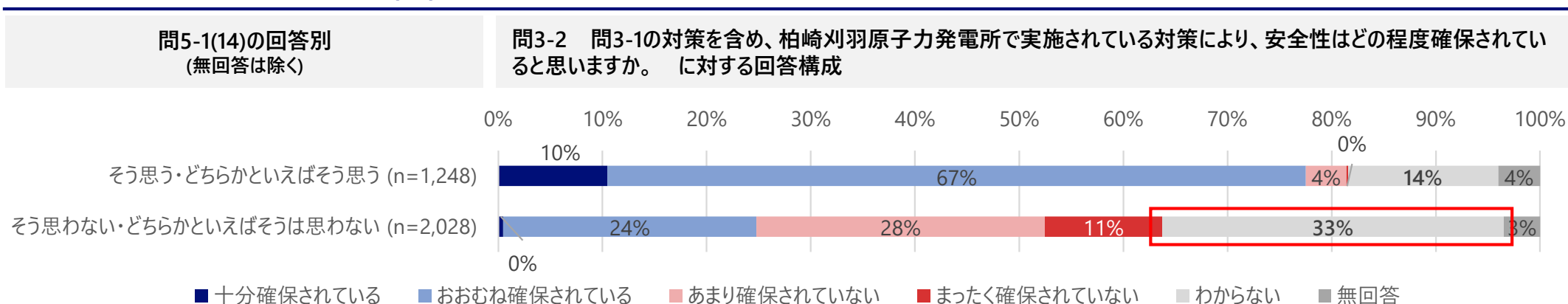
全県集計データにおける、問5-1(15)の回答別での問5-2の第1位の回答構成



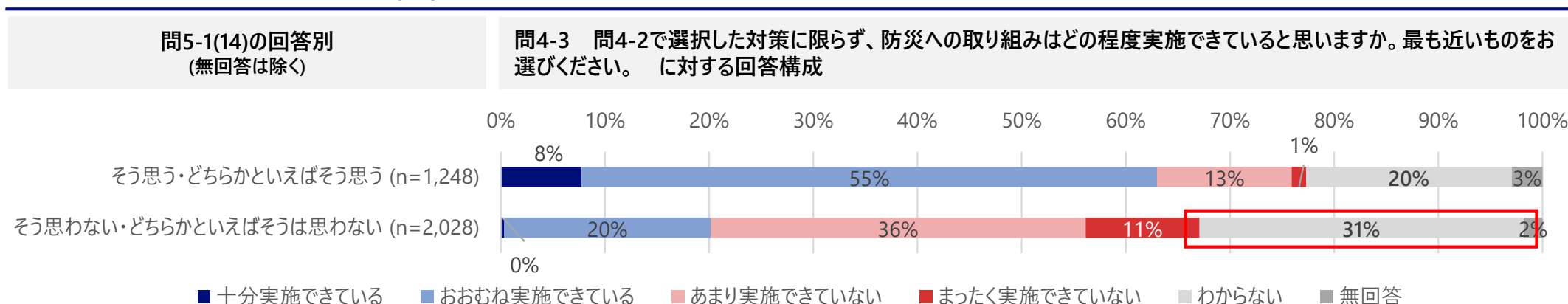
4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 安全対策・防災対策実施状況の捉え方（問3-2,4-3）

問5-1(14)において否定的な回答をした人のうち約3分の1が、安全対策による安全の確保状況、防災対策の実施状況について「わからない」と回答している。

全県集計データにおける、問5-1(14)の回答傾向ごとの問3-2の回答構成



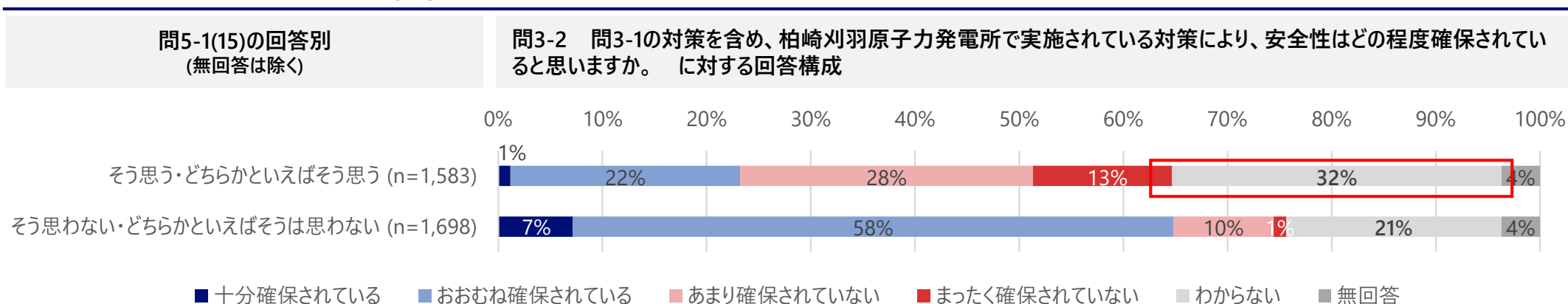
全県集計データにおける、問5-1(14)の回答傾向ごとの問4-3の回答構成



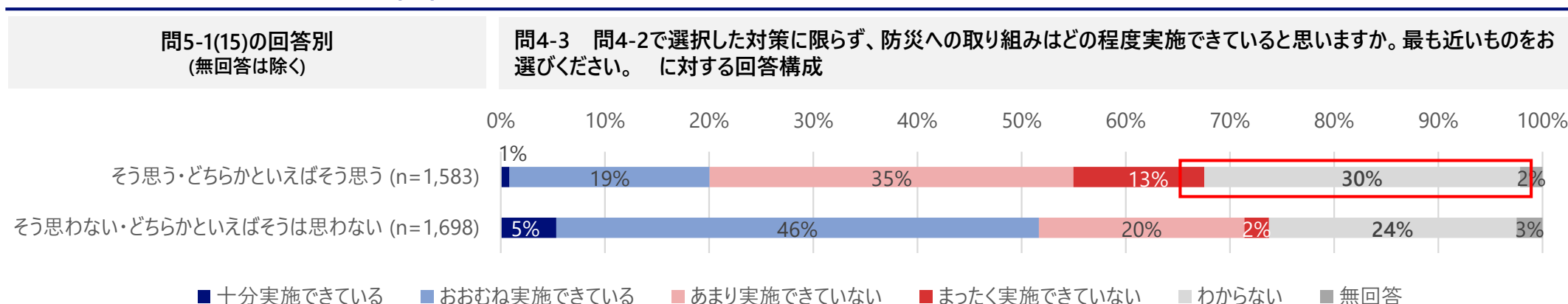
4. 集計結果の詳細分析 | ③再稼働へのスタンスの要因分析 | 安全対策・防災対策実施状況の捉え方（問3-2,4-3）

問5-1(15)において肯定的な回答（再稼働に否定的な回答）をした人のうち約3分の1が、安全対策による安全の確保状況、防災対策の実施状況について「わからない」と回答している。

全県集計データにおける、問5-1(15)の回答傾向ごとの問3-2の回答構成



全県集計データにおける、問5-1(15)の回答傾向ごとの問4-3の回答構成



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

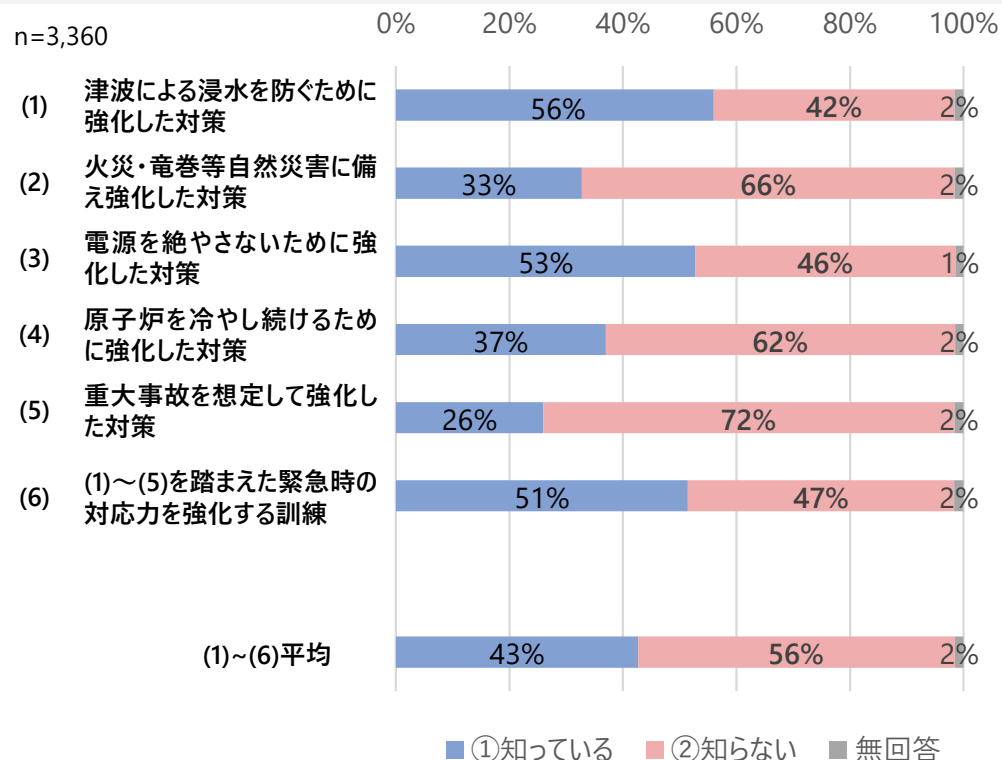
5. 集計・分析結果サマリ

4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1, 問4-2認知度の一覧

柏崎刈羽原子力発電所で実施されている安全対策・防災対策について、平均するとそれぞれ全体の56%／61%は実施していることを知らない。

全県集計データにおける問3-1集計結果

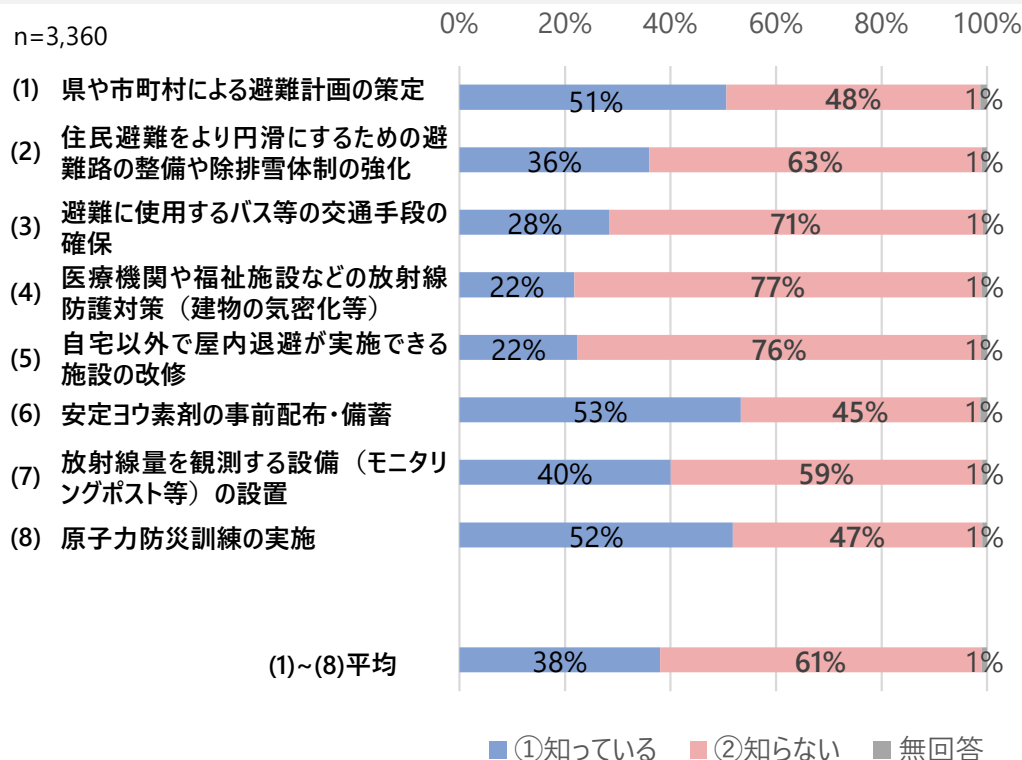
問3-1 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。写真や図で示した対策例を1つでも知っていれば「1」（知っている）、ひとつも知らなければ「2」（知らない）をお選びください。

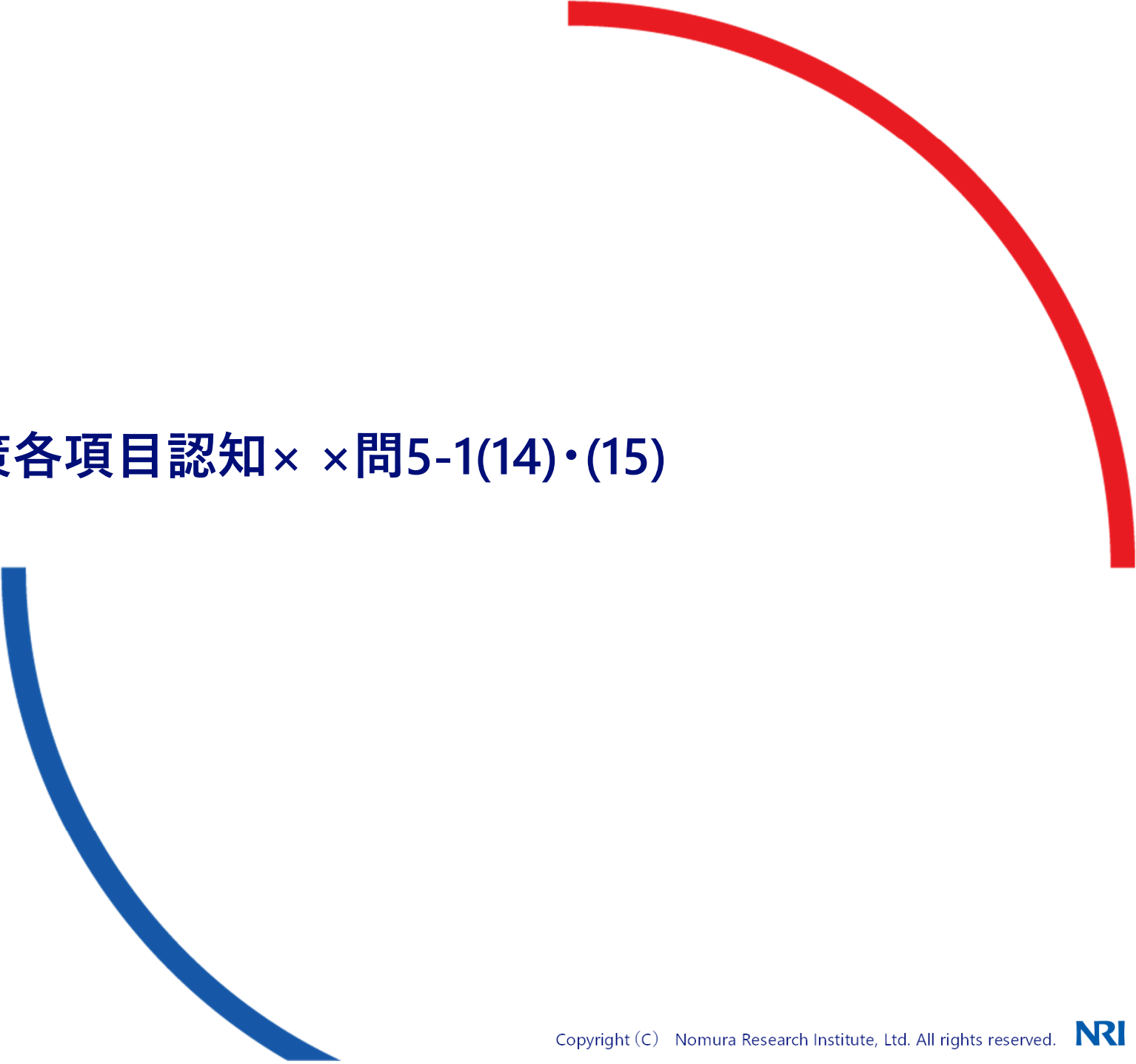


全県集計データにおける問4-2集計結果

柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備え、さまざまな「防災対策」が行われています。

問4-2 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。



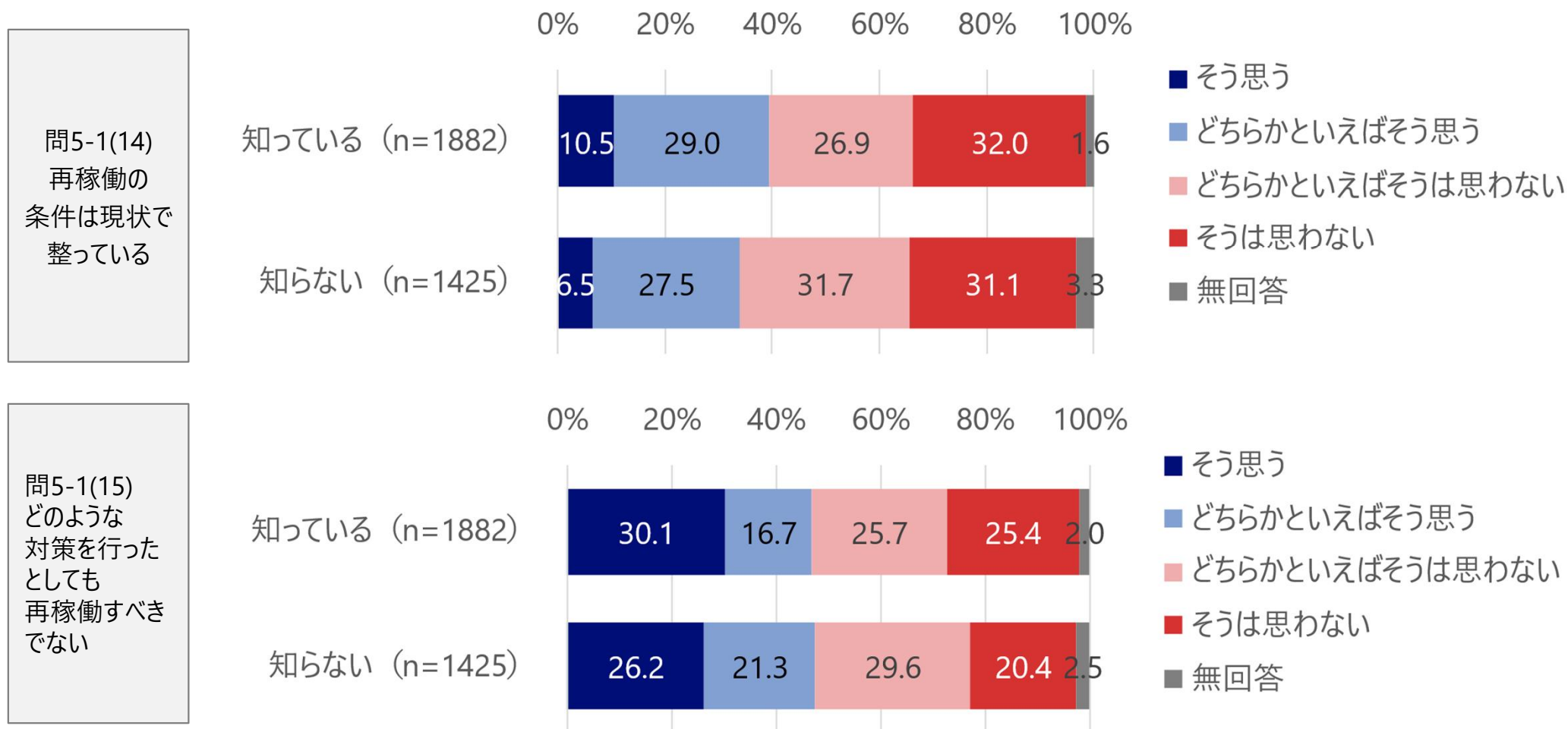


安全対策・防災対策各項目認知× ×問5-1(14)・(15)

4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

津波の浸水対策を認知している人は認知していない人と比較して、(14)では「そう思う/どちらかといえばそう思う」が増え、(15)では「そう思う/そうは思わない」といった強い意見が増えている。

問3-1(1)津波による浸水を防ぐために強化した対策の認知別問5-1(14)(15)の傾向

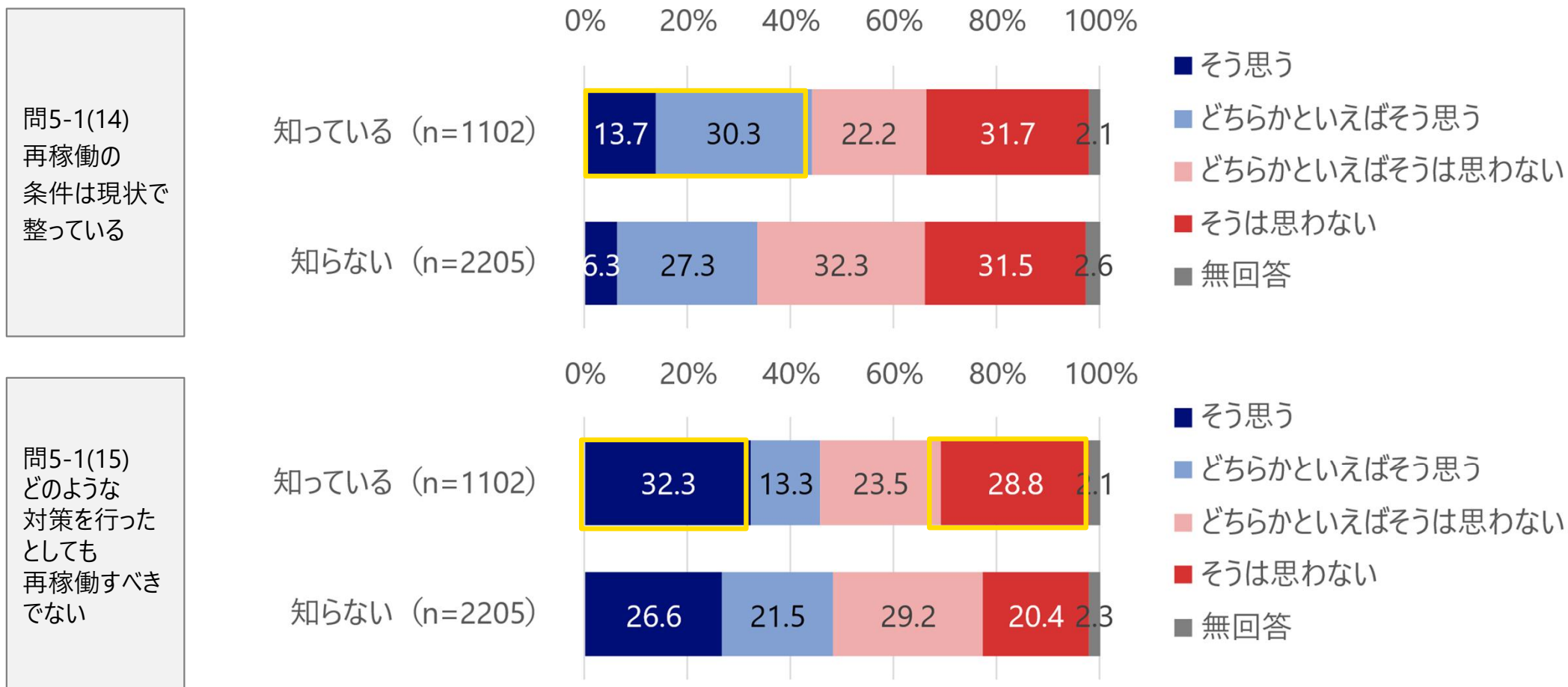


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

自然災害対策を認知している人は認知していない人と比較して、(14)では「そう思う/どちらかといえばそう思う」が増え、(15)では、「そう思う/そうは思わない」といった強い意見が増えている。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

問3-1(2)火災・竜巻等自然災害に備え強化した対策の認知別問5-1(14)(15)の傾向

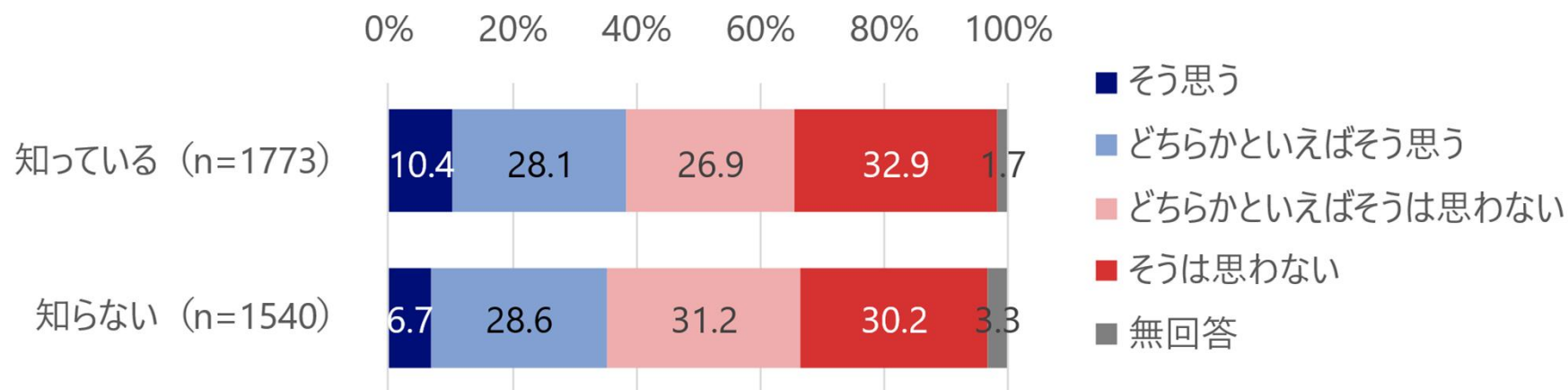


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

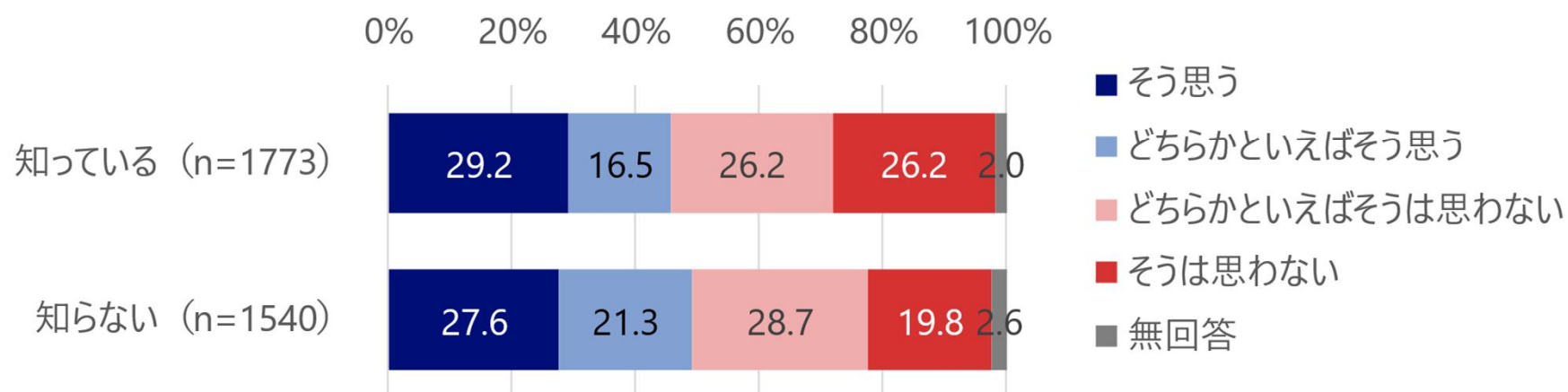
電源対策を認知している人は認知していない人と比較して、(14)では「そう思う/どちらかといえばそう思う」が増え、(15)では、「そう思う/そうは思わない」と強い意見が増えている。

問3-1(3)電源を絶やさないために強化した対策の認知別問5-1(14)(15)の傾向

問5-1(14)
再稼働の
条件は現状で
整っている



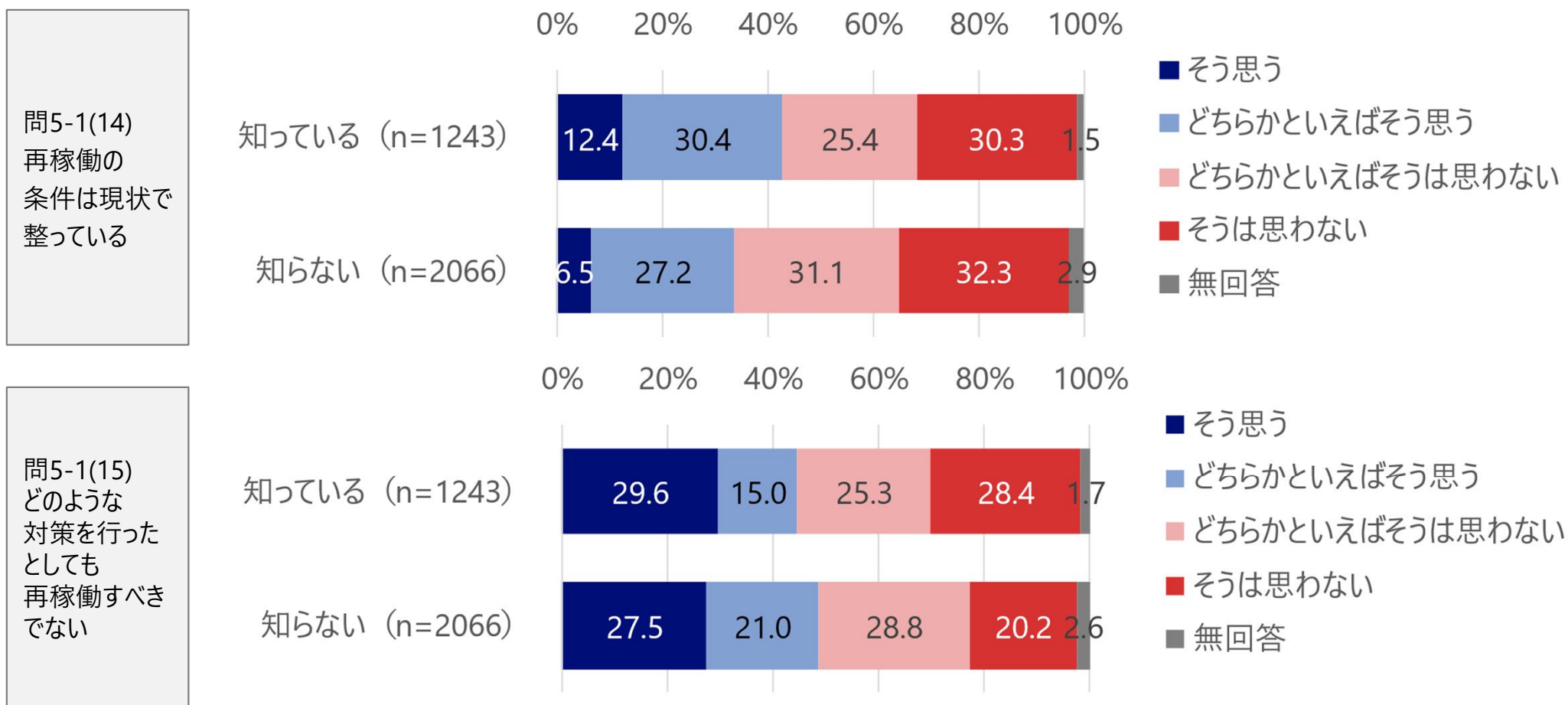
問5-1(15)
どのような
対策を行った
としても
再稼働すべき
でない



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

原子炉冷却対策を認知している人は認知していない人と比較して、(14)の「そうは思わない/どちらかといえばそうは思わない」が減り、「そう思う/どちらかといえばそう思う」が増えている。

問3-1(4)原子炉を冷やし続けるために強化した対策の認知別問5-1(14)(15)の傾向

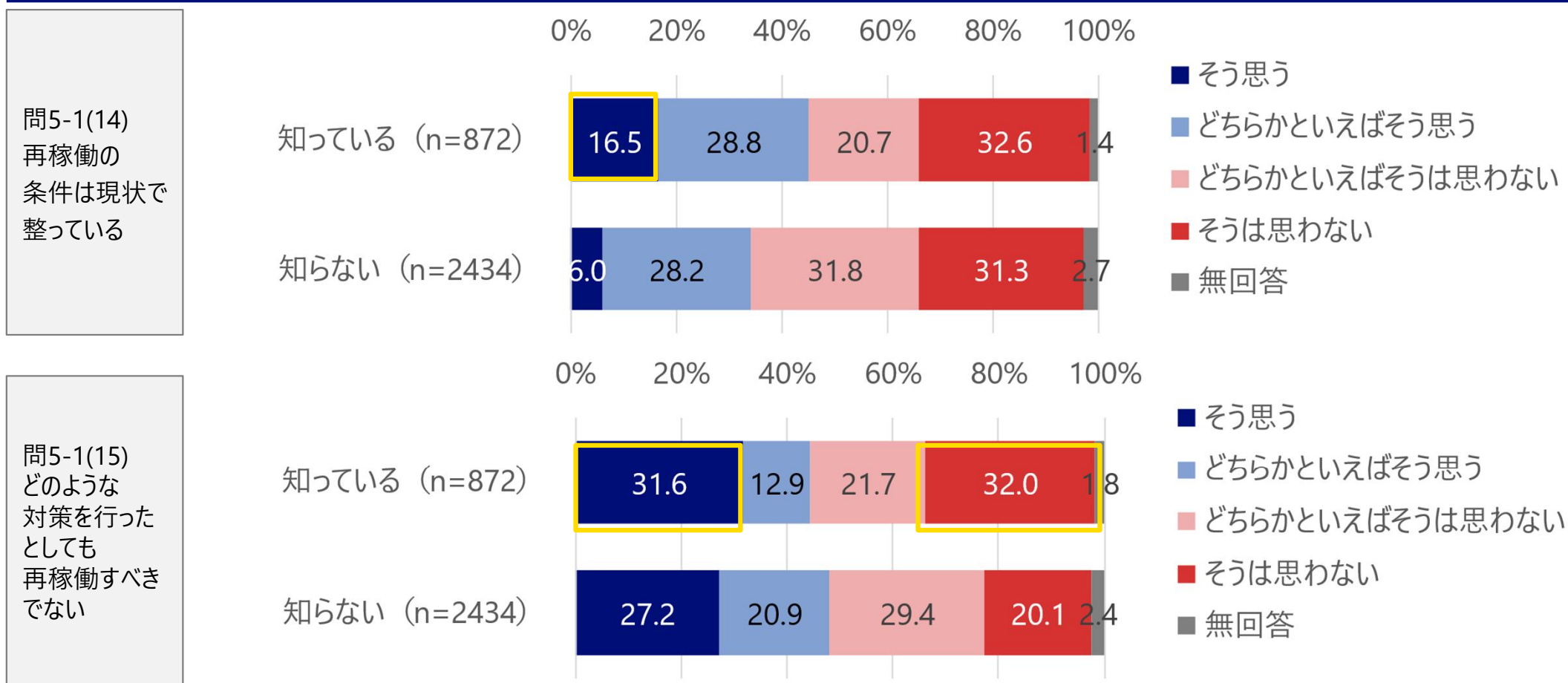


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

シビアアクシデント対策を認知している人は認知していない人と比較して、(14)(15)の「そう思う」と(15)の「そうは思わない」が増えており、他の対策よりもその傾向が顕著である。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

問3-1(5)重大事故を想定して強化した対策の認知別問5-1(14)(15)の傾向

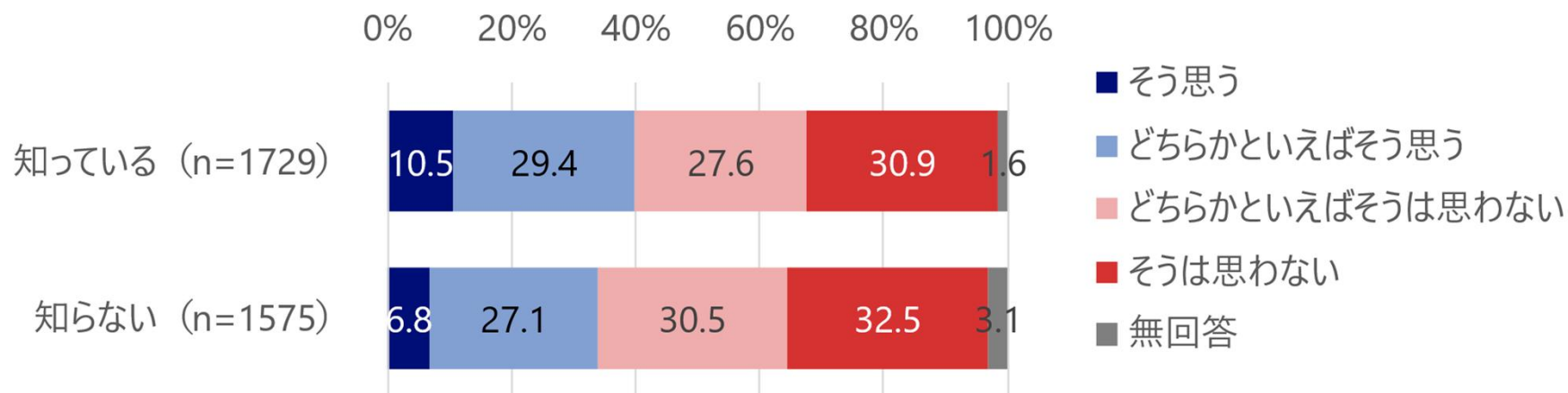


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-1安全対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

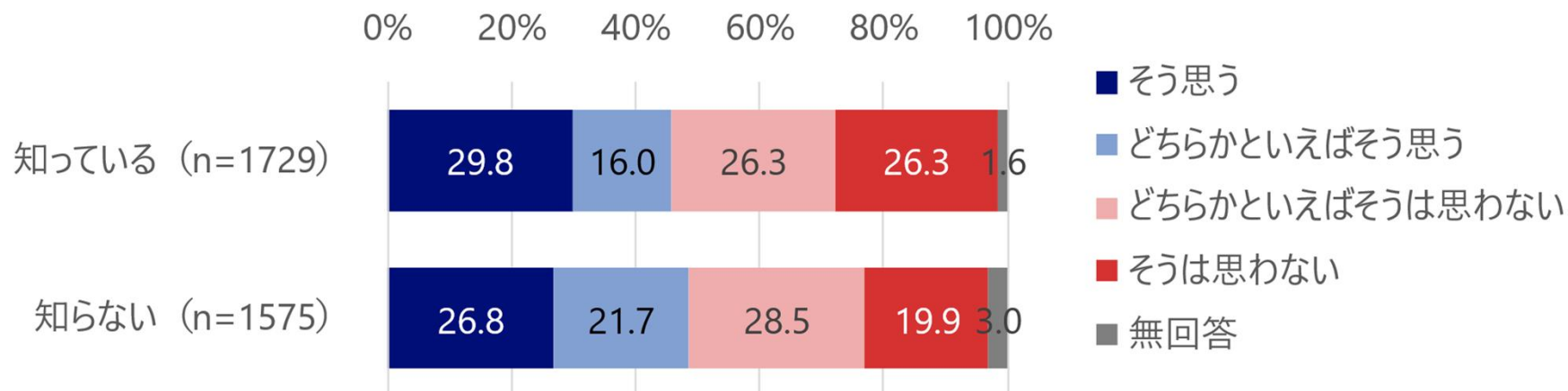
緊急時対応訓練を認知している人は認知していない人と比較して、(14)では「そう思う/どちらかといえばそう思う」といえばそう思う」が増え、(15)では、「そう思う/そうは思わない」といった強い意見が増えている。

問3-1(6) (1) ~ (5) を踏まえた緊急時の対応力を強化する訓練の認知別問5-1(14)(15)の傾向

問5-1(14)
再稼働の
条件は現状で
整っている



問5-1(15)
どのような
対策を行った
としても
再稼働すべき
でない

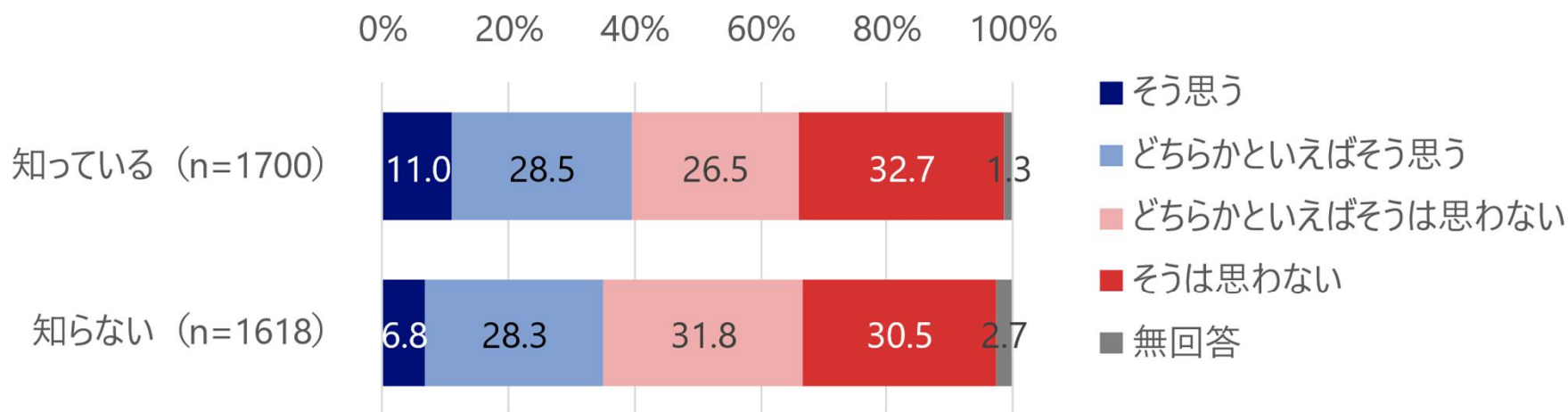


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

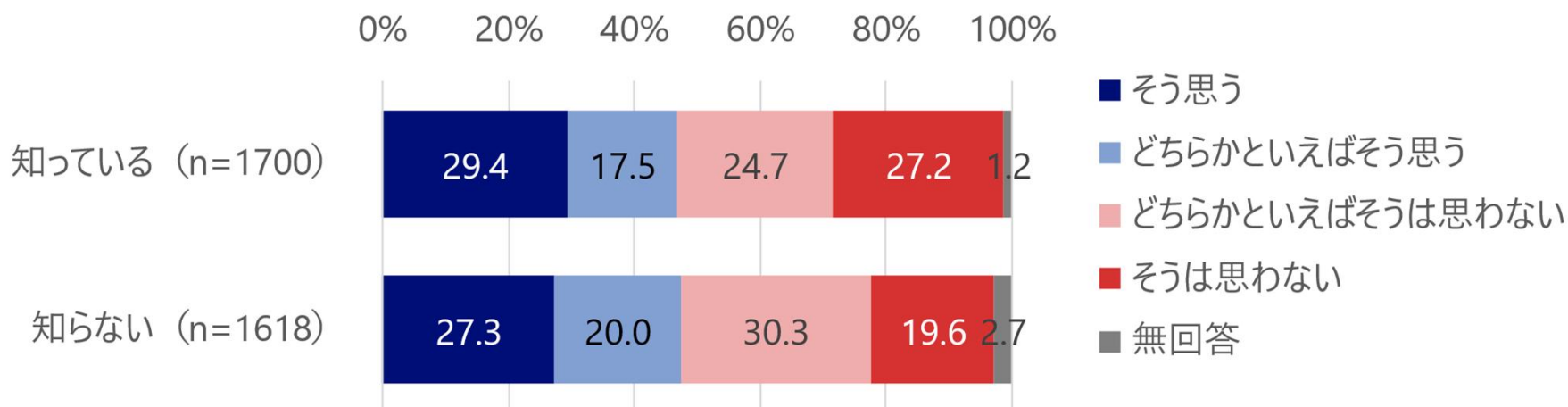
避難計画の策定を認知している人は認知していない人と比較して、(14)では「そう思う」と回答する割合が増え、(15)では「そうは思わない」と回答する割合が増えている。

問4-2(1)県や市町村による避難計画の策定の認知別問5-1(14)(15)の傾向

問5-1(14)
再稼働の
条件は現状で
整っている



問5-1(15)
どのような
対策を行った
としても
再稼働すべき
でない

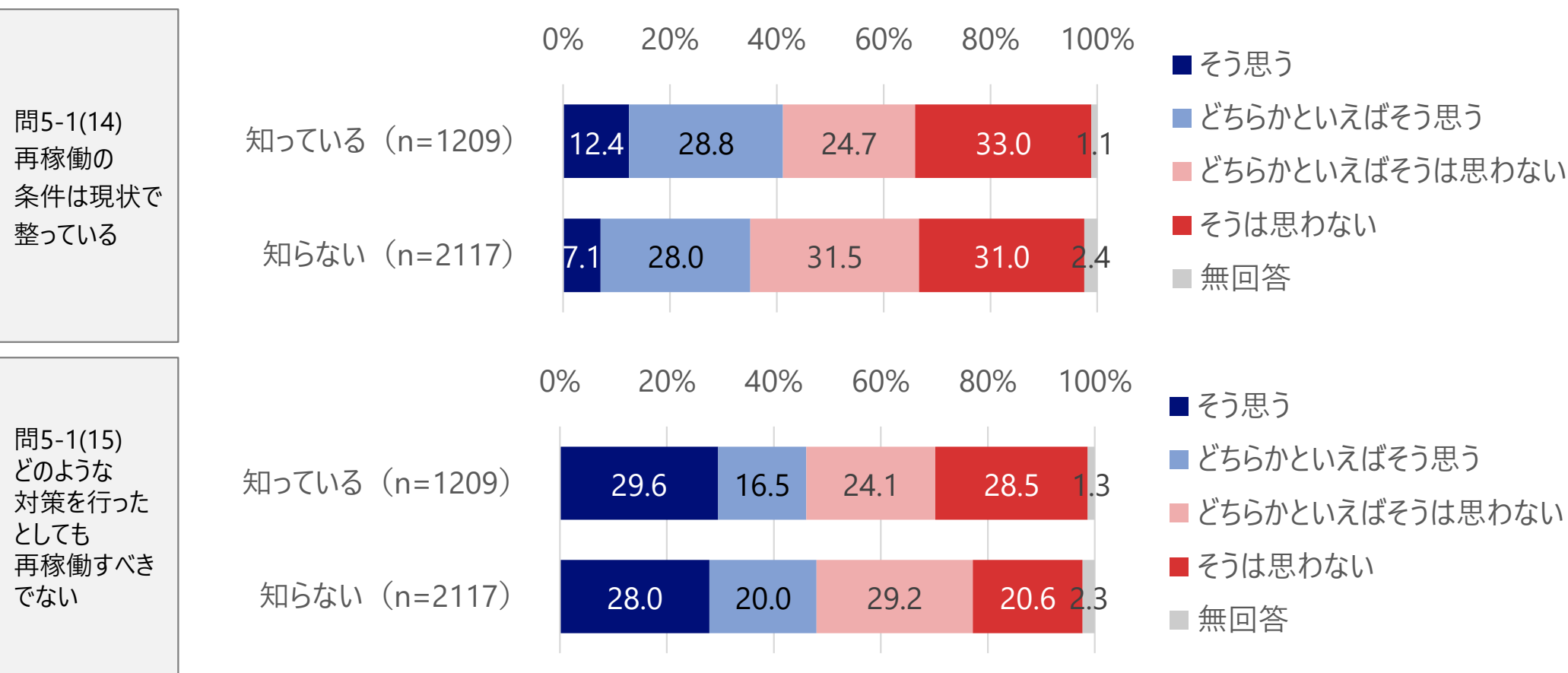


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

避難路の整備や除雪体制の強化を認知している人は認知していない人と比較して、(14)(15)の「そう思う/そうは思わない」といった強い意見が増えている。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

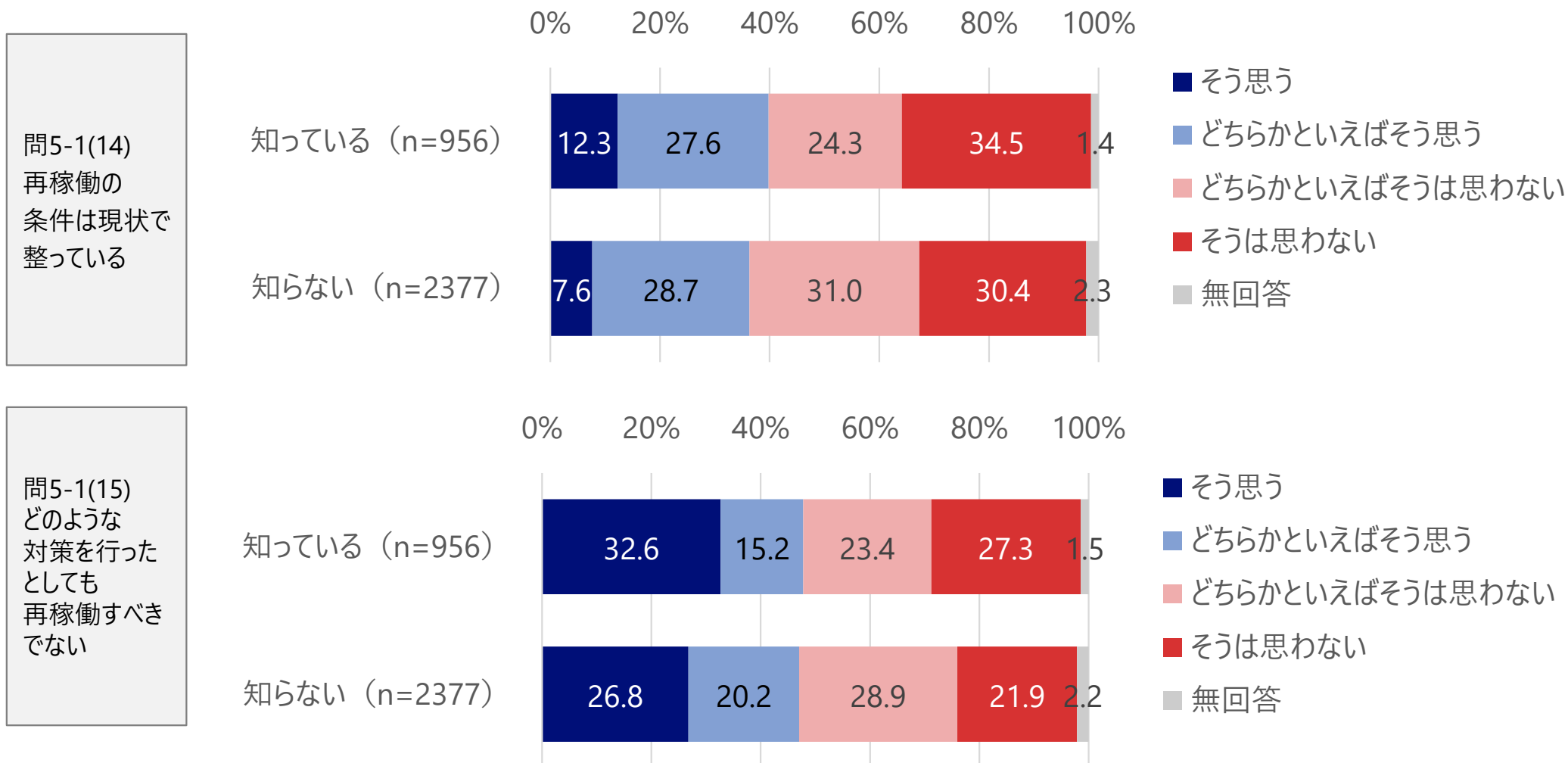
問4-2(2)住民避難をより円滑にするための避難路の整備や除排雪体制の強化の認知別問5-1(14)(15)の傾向



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

交通手段の確保を認知している人は認知していない人と比較して、(14)(15)の「そう思う/そうは思わない」といった強い意見が増えている。

問4-2(3)避難に使用するバス等の交通手段の確保の認知別問5-1(14)(15)の傾向

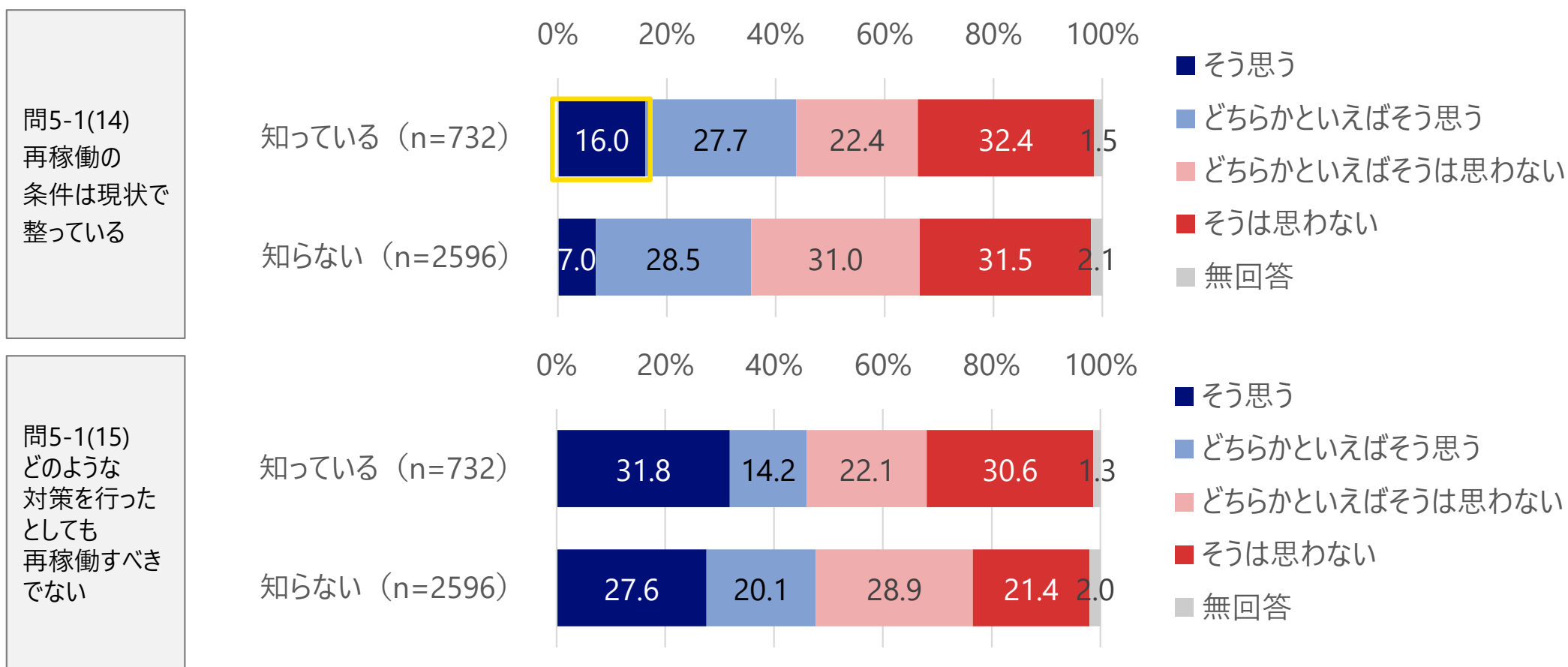


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

放射線防護対策を認知している人は認知していない人と比較して、(15)では「そうは思わない」の回答率が、(14)では「そう思う」の回答率が増えているのが目立つ。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

問4-2(4)医療機関や福祉施設などの放射線防護対策（建物の気密化等）の認知別問5-1(14)(15)の傾向

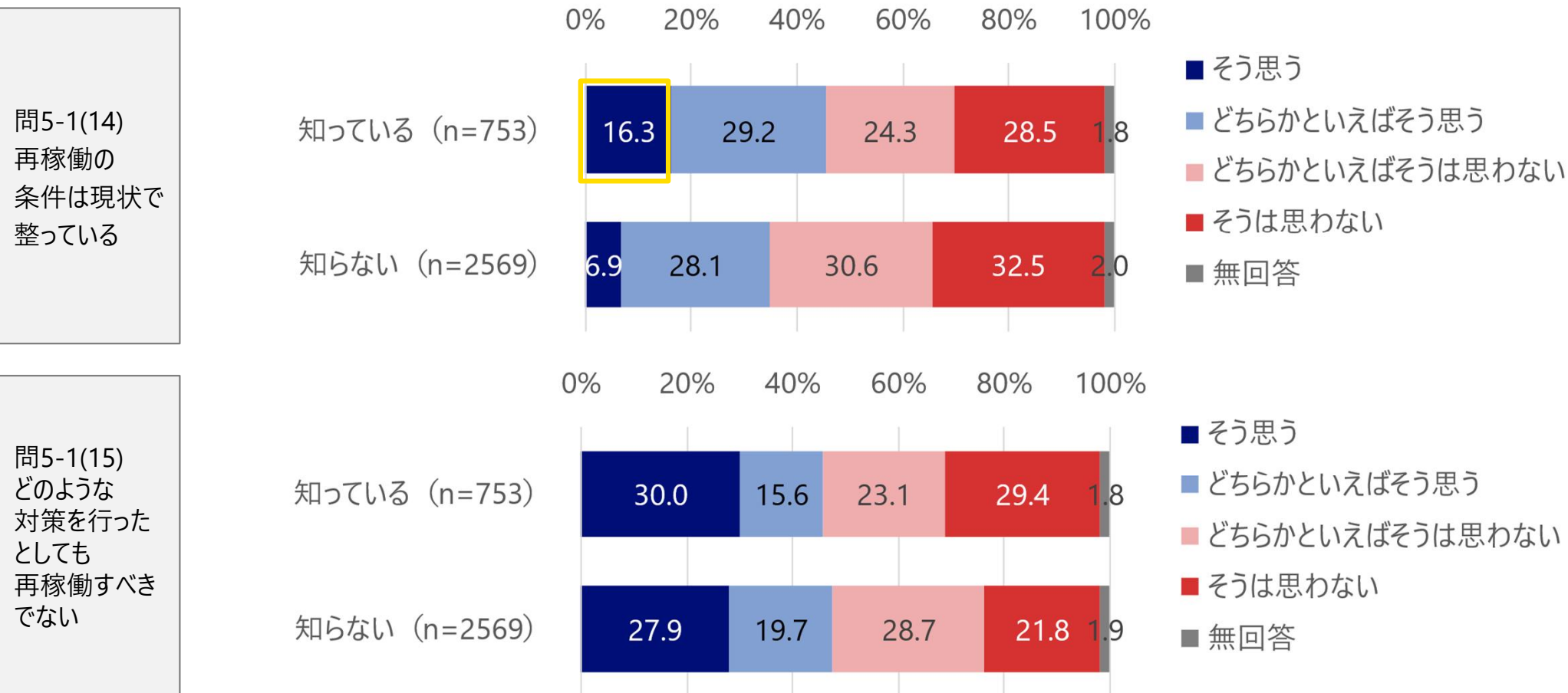


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

施設の改修を認知している人は認知していない人と比較して、(14)の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が増え、(15)では「そう思う」「そうは思わない」といった強い考えが増えている。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

問4-2(5)自宅以外で屋内退避が実施できる施設の改修の認知別問5-1(14)(15)の傾向

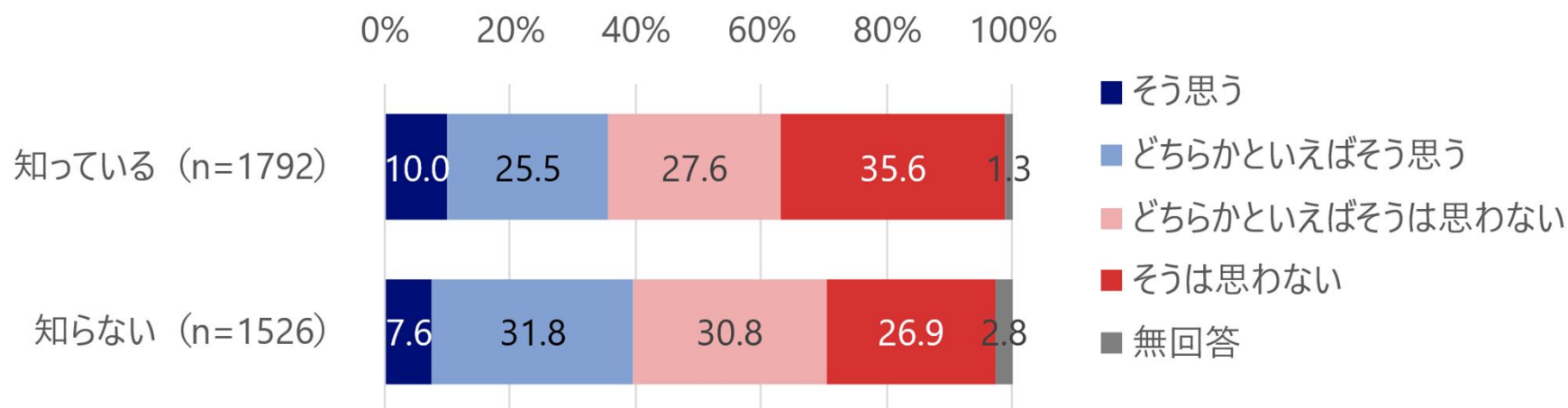


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

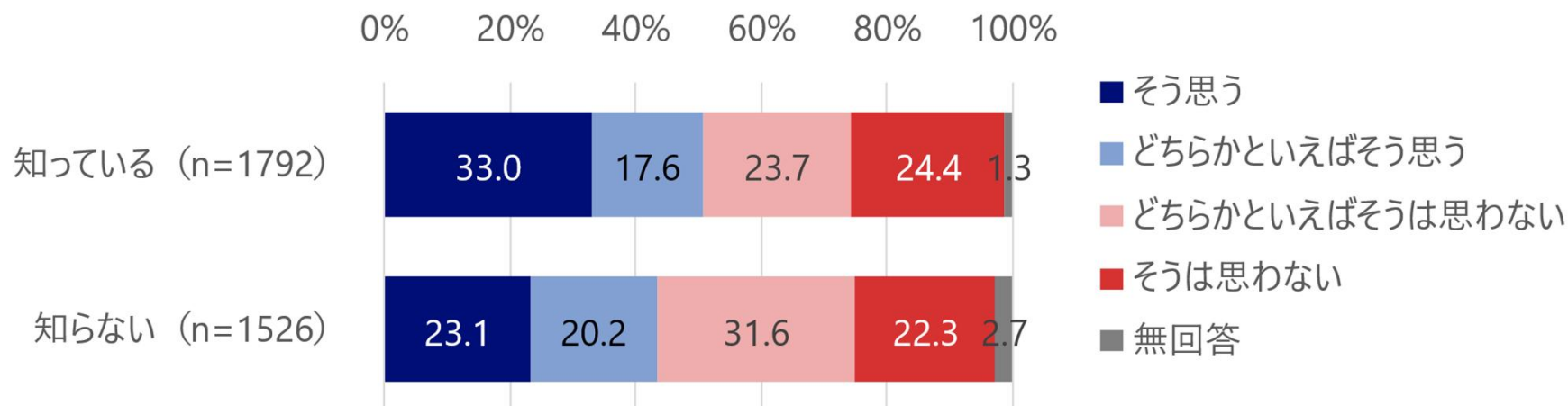
ヨウ素剤事前配布・備蓄を認知している人は認知していない人と比較して、(14)「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」や(15)の「そう思う」の回答が高い。

問4-2(6)安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄の認知別問5-1(14)(15)の傾向

問5-1(14)
再稼働の
条件は現状で
整っている



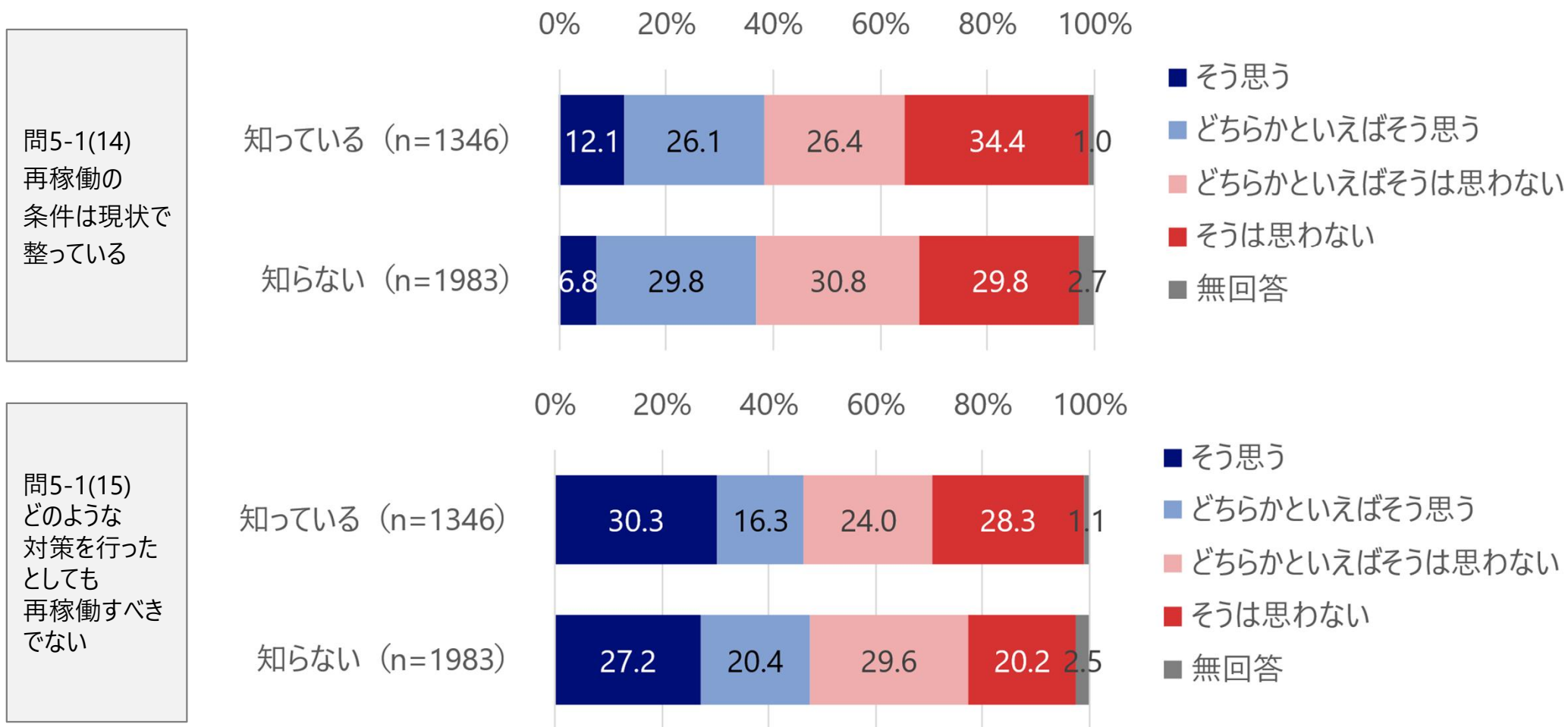
問5-1(15)
どのような
対策を行った
としても
再稼働すべき
でない



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

放射線量観測設備を認知している人は認知していない人と比較して、(14) (15)ともに「そう思う」「そうは思わない」が高い。

問4-2(7)放射線量を観測する設備（モニタリングポスト等）の設置の認知別問5-1(14)(15)の傾向

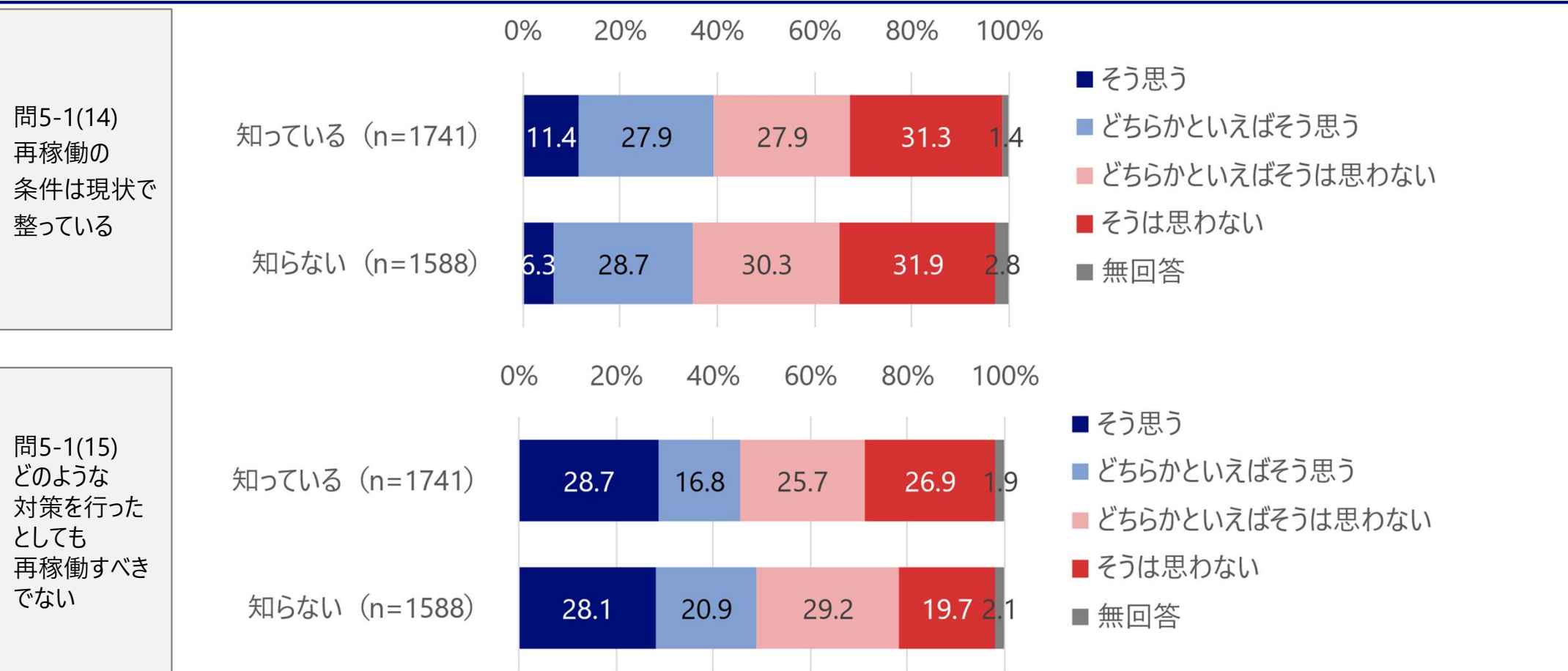


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-2防災対策項目別認知度×問5-1(14)(15)クロス集計

防災訓練を認知している人は認知していない人と比較して、(15)の「そうは思わない」や(14)の「そう思う」が高く、再稼働にやや肯定的である傾向にある。

- 問5-1(15)では「そう思う/そうは思わない」の意見が増えているが、増分としては「そうは思わない」（再稼働に肯定的）の方がやや大きいことが読み取れる。

問4-2(8)原子力防災訓練の実施の認知別問5-1(14)(15)の傾向



認知度グループ分けによる分析

4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析

安全対策・防災対策の認知度に応じた再稼働に対する態度への傾向を把握するため、それぞれへの認知度を区分けし、クロス集計を実施。

- 安全対策の認知を問う設問（問3-1）、防災対策の認知を問う設問（問4-2）それぞれについて、「知っている」と回答した数に応じてサンプルを区分し、クロス集計の軸として利用

安全対策に関する認知度の区分け

	グループ	問3-1における 「知っている」 の回答数	構成比率
認知度 低  認知度 高	グループ1	0個	26.3%
	グループ2	1~2個	25.5%
	グループ3	3~4個	24.0%
	グループ4	5~6個	24.2%

防災対策に関する認知度の区分け

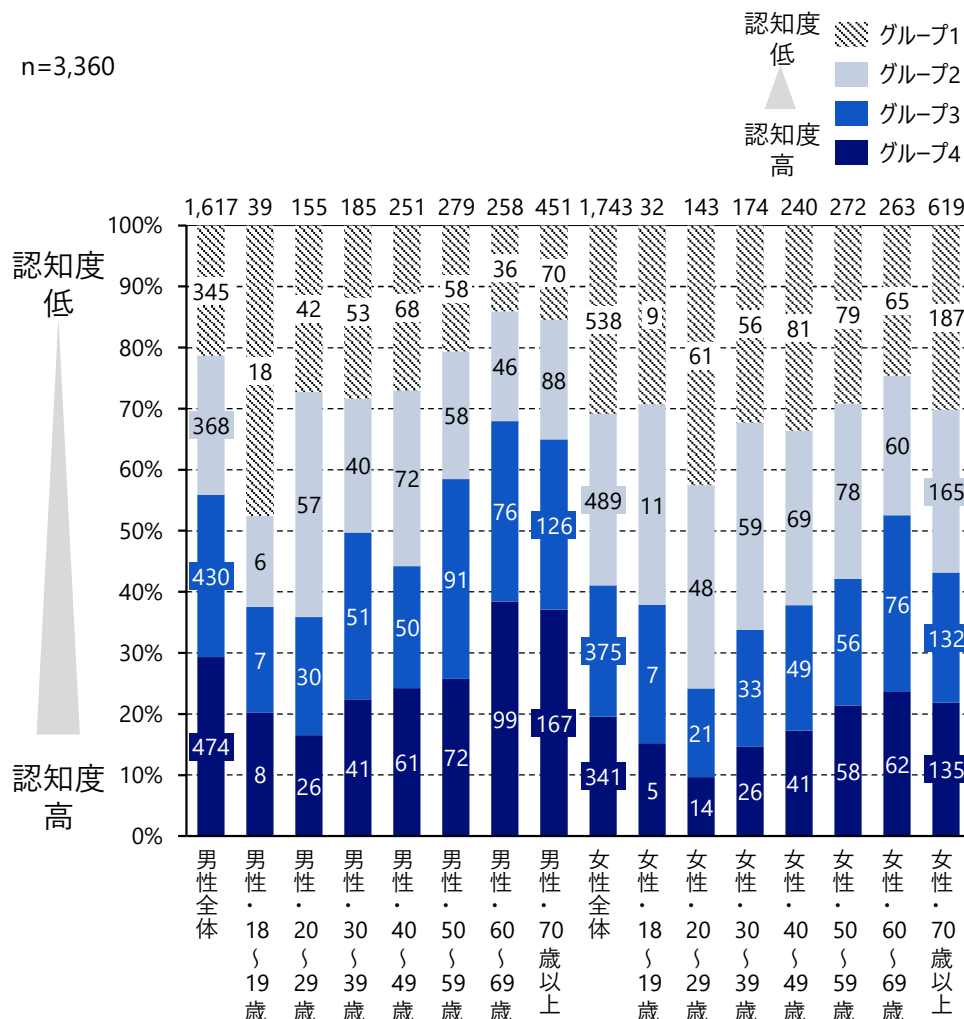
	グループ	問4-2における 「知っている」 の回答数	構成比率
認知度 低  認知度 高	グループ1	0個	23.4%
	グループ2	1~2個	25.2%
	グループ3	3~4個	21.9%
	グループ4	5~8個	29.4%

- ・ 分析目的に照らし、グループごとのサンプル数（WB）構成比率がなるべく均等になるように、「知っている」の回答数に応じて分割している。
- ・ なお回答数については問3-1、4-2における各サンプルでの「知っている」の個数（実数）で判別している。

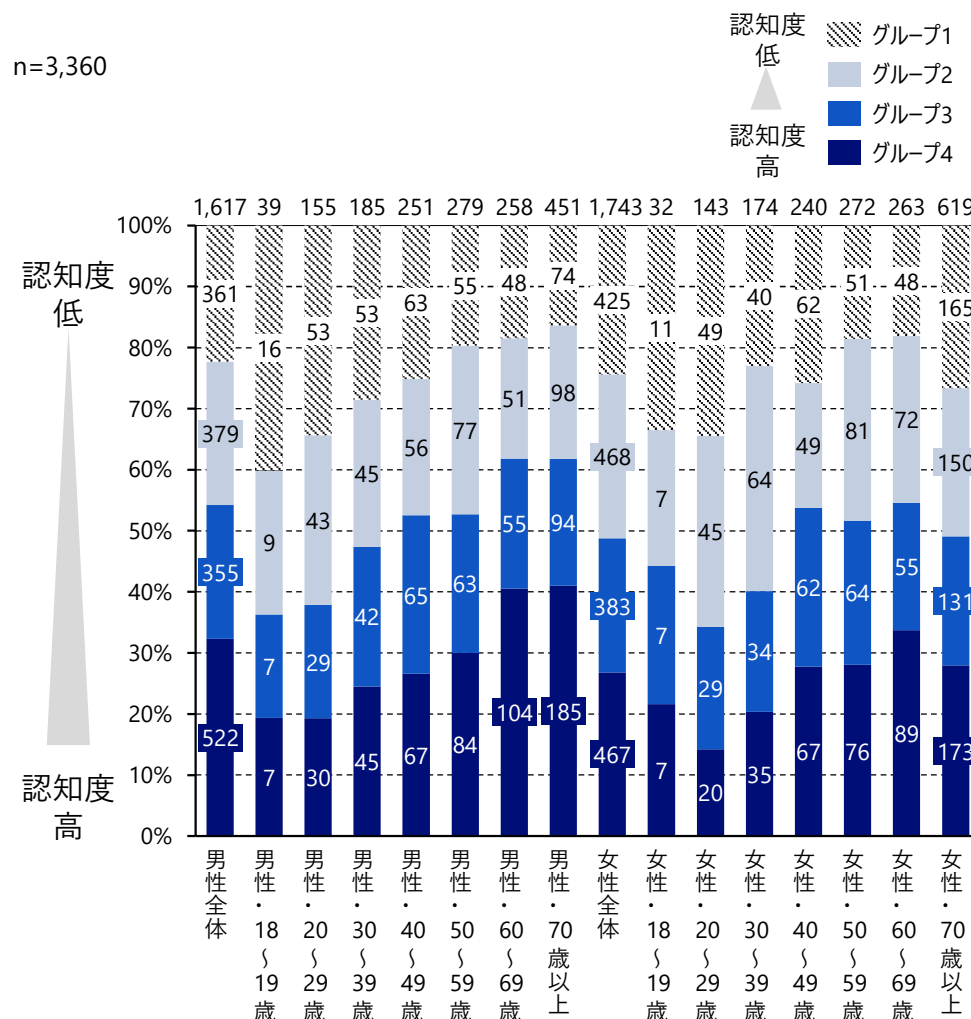
4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 線・年齢別の安全対策・防災対策認知度

安全対策・防災対策ともに、男性の方が認知度が高い。
また男女ともに若年層の方が認知度が低い傾向にある。

性・年齢別の安全対策認知度グループ構成



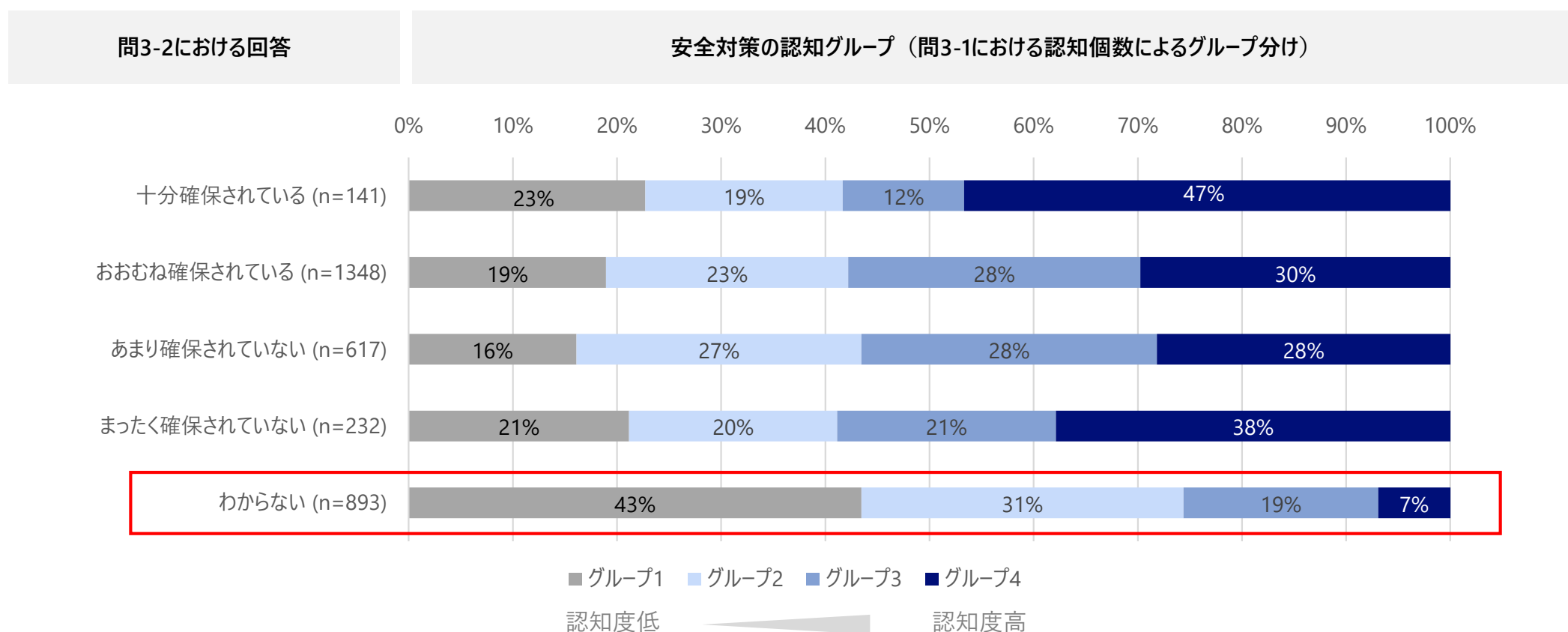
性・年齢別の防災対策認知度グループ構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問3-2の回答ごとの安全対策認知グループ構成

安全対策実施状況について「わからない」と回答する人は、安全対策の認知度が低い割合が多い。

全県集計データにおける、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答ごとでの安全対策認知グループの構成比率



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

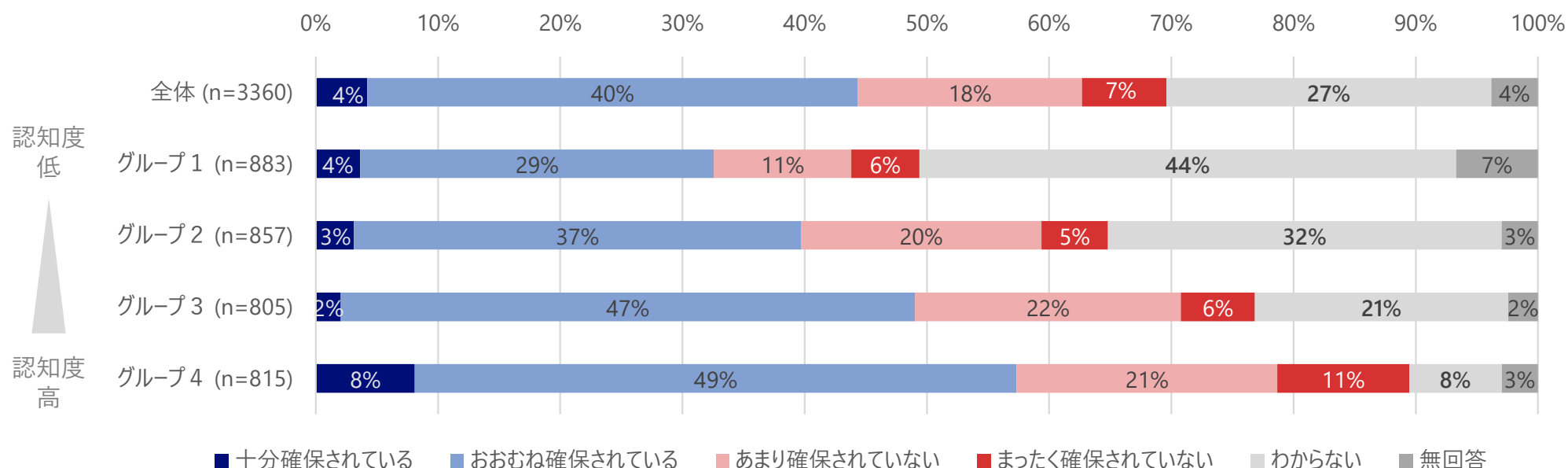
認知度別に見ると、認知度が上がるほど、安全対策実施状況に対して肯定的に捉える回答の割合が高くなる傾向にある。

- 安全対策の認知数が上がるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

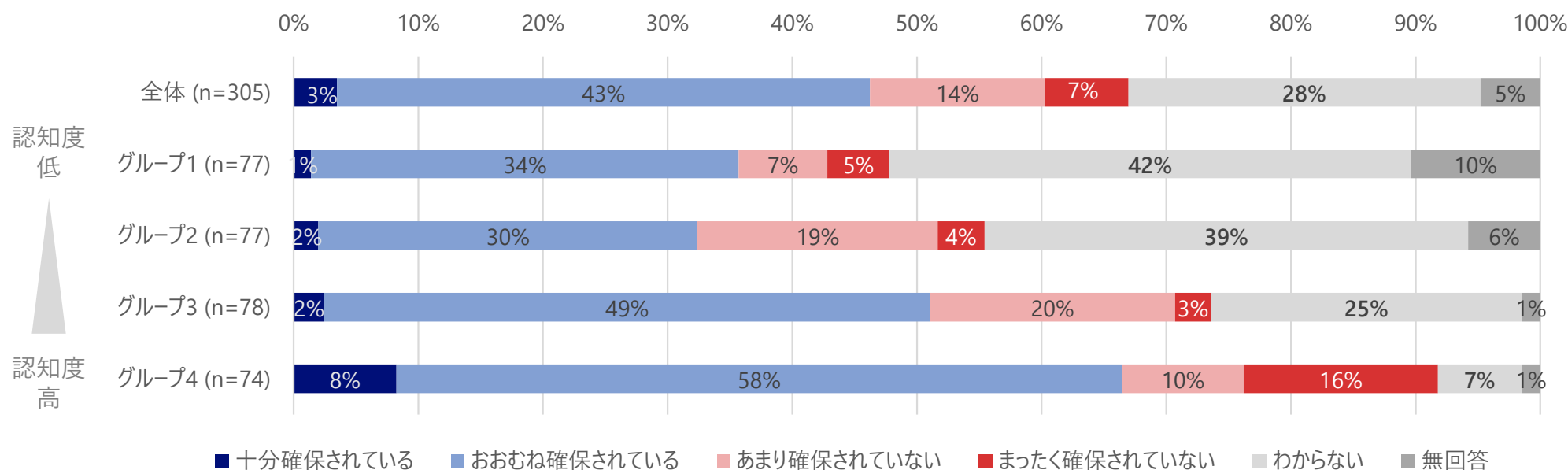
【参考】下越地域における、安全対策認知グループ×安全対策実施状況の捉え方

- 安全対策の認知数が増えるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成（下越地域）

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

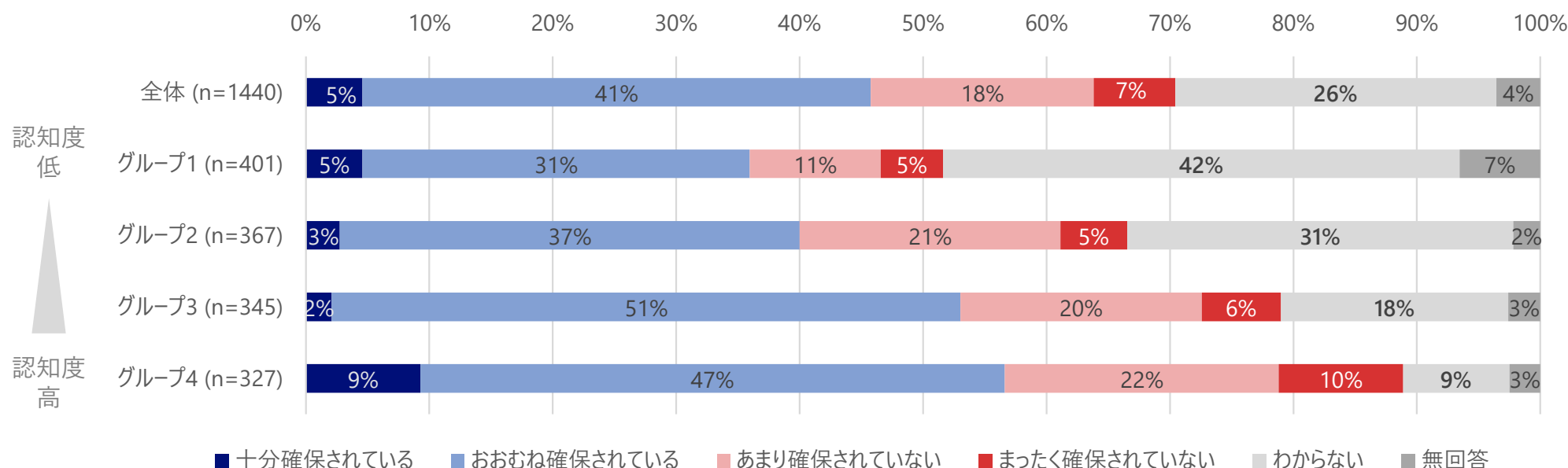
【参考】新潟地域における、安全対策認知グループ×安全対策実施状況の捉え方

- 安全対策の認知数が増えるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成（新潟地域）

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

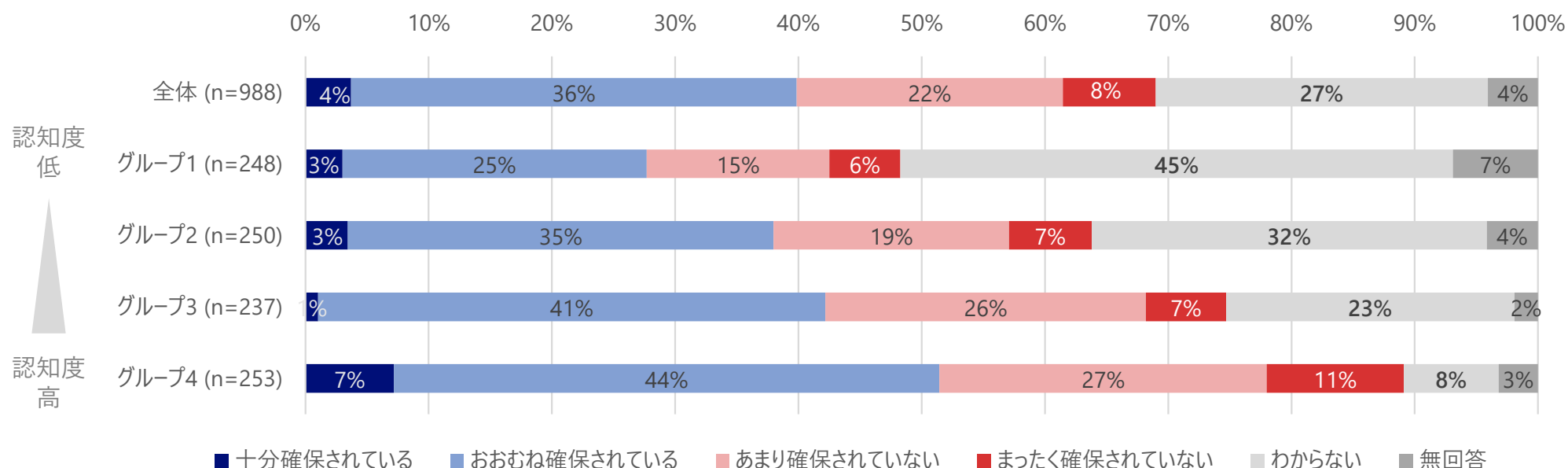
【参考】中越地域における、安全対策認知グループ×安全対策実施状況の捉え方

- 安全対策の認知数が増えるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成（中越地域）

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

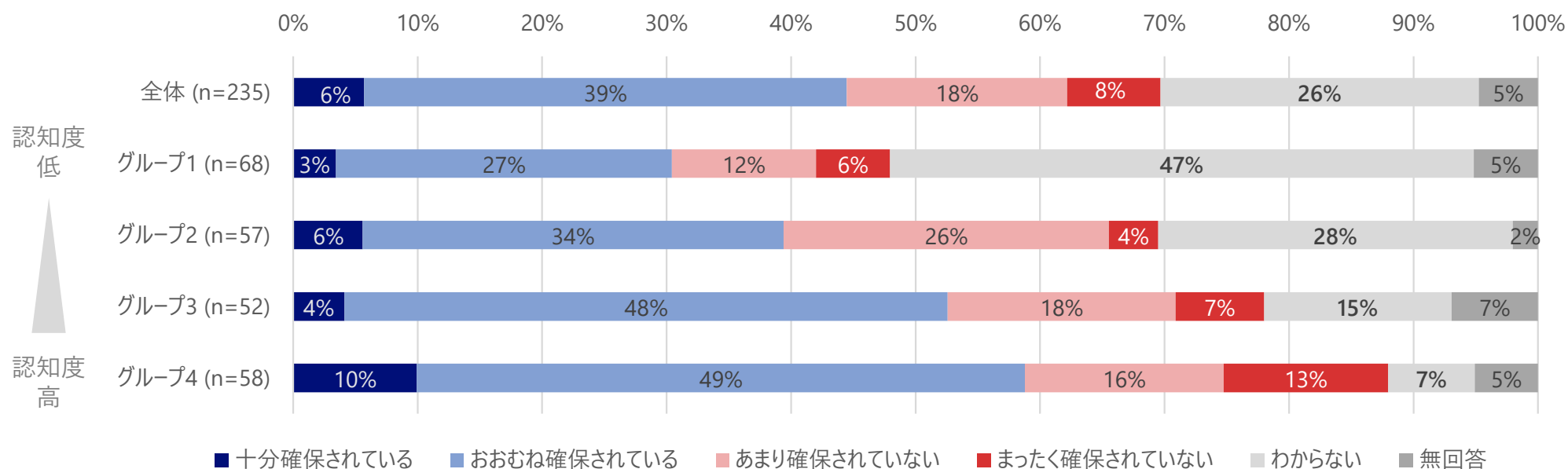
【参考】魚沼地域における、安全対策認知グループ×安全対策実施状況の捉え方

- 安全対策の認知数が増えるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成（魚沼地域）

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×安全対策実施状況の捉え方（問3-2）

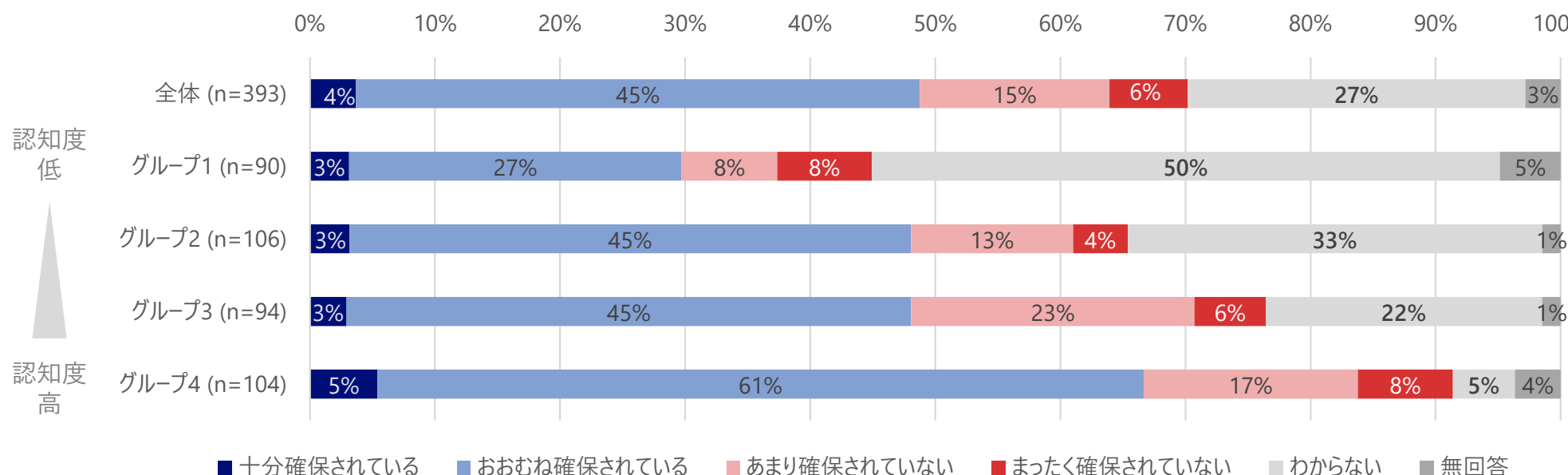
【参考】上越地域における、安全対策認知グループ×安全対策実施状況の捉え方

- 安全対策の認知数が増えるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、安全対策認知度グループごとの、問3-2（安全対策実施状況の捉え方）の回答構成（上越地域）

安全対策の認知グループ
(問3-1の認知数での区分け)

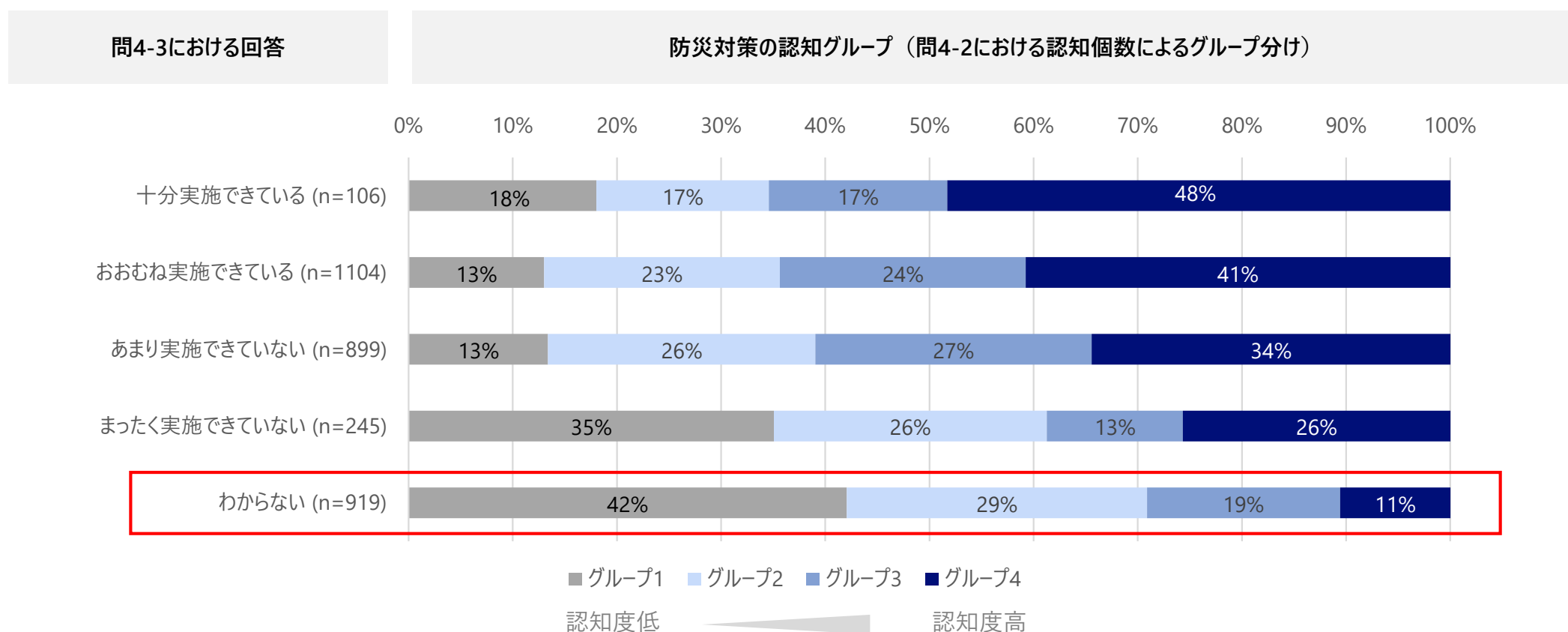
問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 問4-3の回答ごとの防災対策認知グループ構成

防災対策実施状況について「わからない」と回答する人は、防災対策の認知度が低い割合が多い。

全県集計データにおける、問4-3（防災対策実施状況の捉え方）の回答ごとでの防災対策認知グループの構成比率



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 認知グループ×防災対策実施状況の捉え方（問4-3）

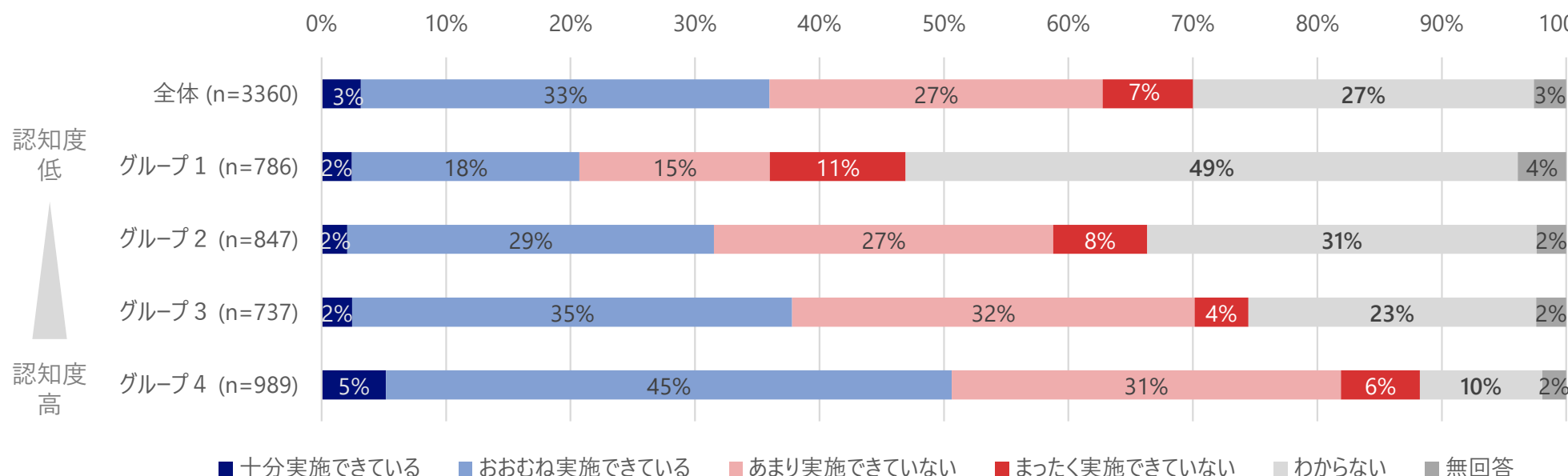
認知度別に見ると、認知度が上がるほど、防災対策実施状況に対して肯定的に捉える回答の割合が高くなる傾向にある。

- 防災対策の認知数が上がるほど、「十分確保されている」「おおむね確保されている」の回答が増え、「わからない」の回答が減る

全県集計データにおける、防災対策認知度グループごとの、問4-3（防災対策実施状況の捉え方）の回答構成

防災対策の認知グループ
(問4-2の認知数での区分け)

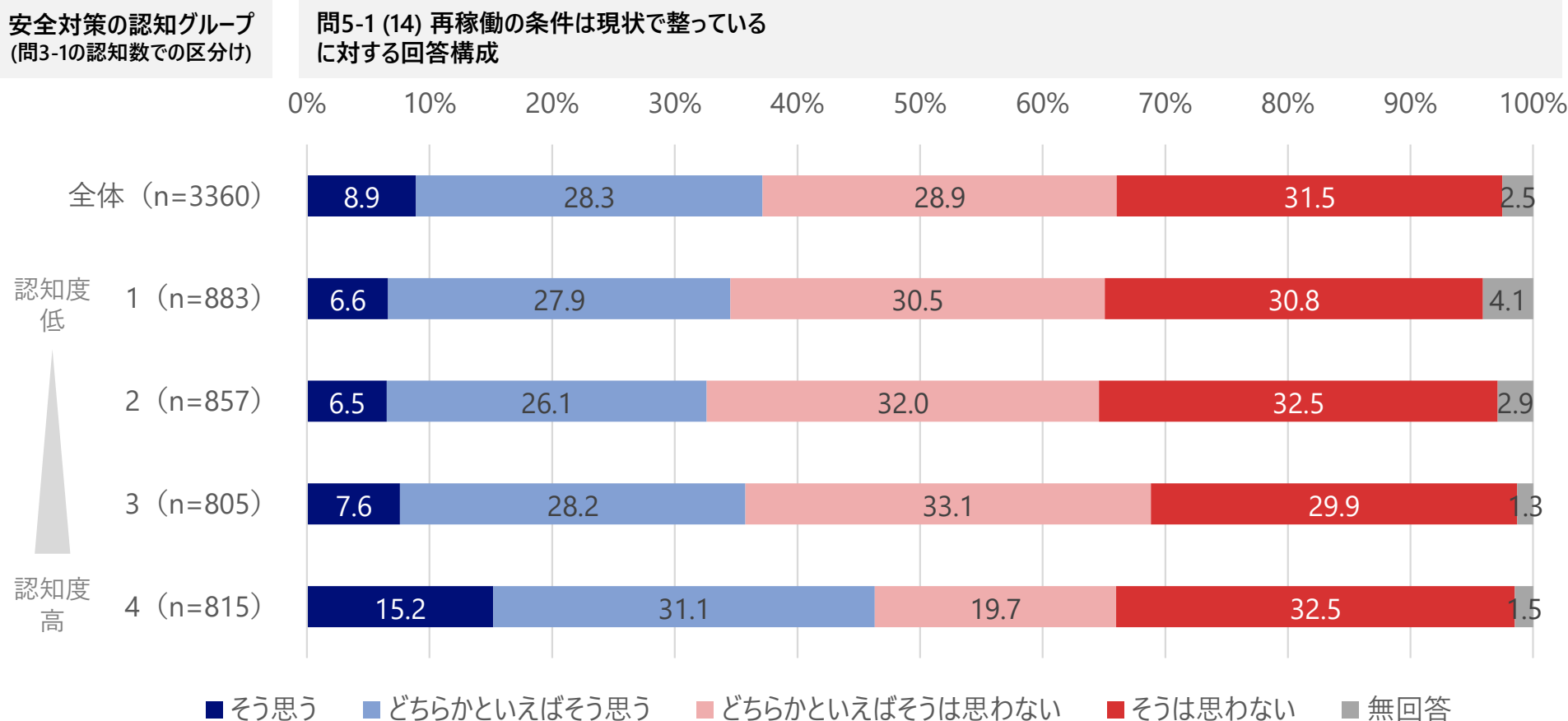
問4-3 問4-2で選択した対策に限らず、防災への取り組みはどの程度実施できていると思いますか。最も近いものをお選びください。
に対する回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 安全対策認知度×問5-1(14)クロス集計

安全対策に関する認知度が高くなればなるほど（知識量が増えるほど）、
「再稼働の条件は現状で整っている」と思う割合が高くなる傾向にある。

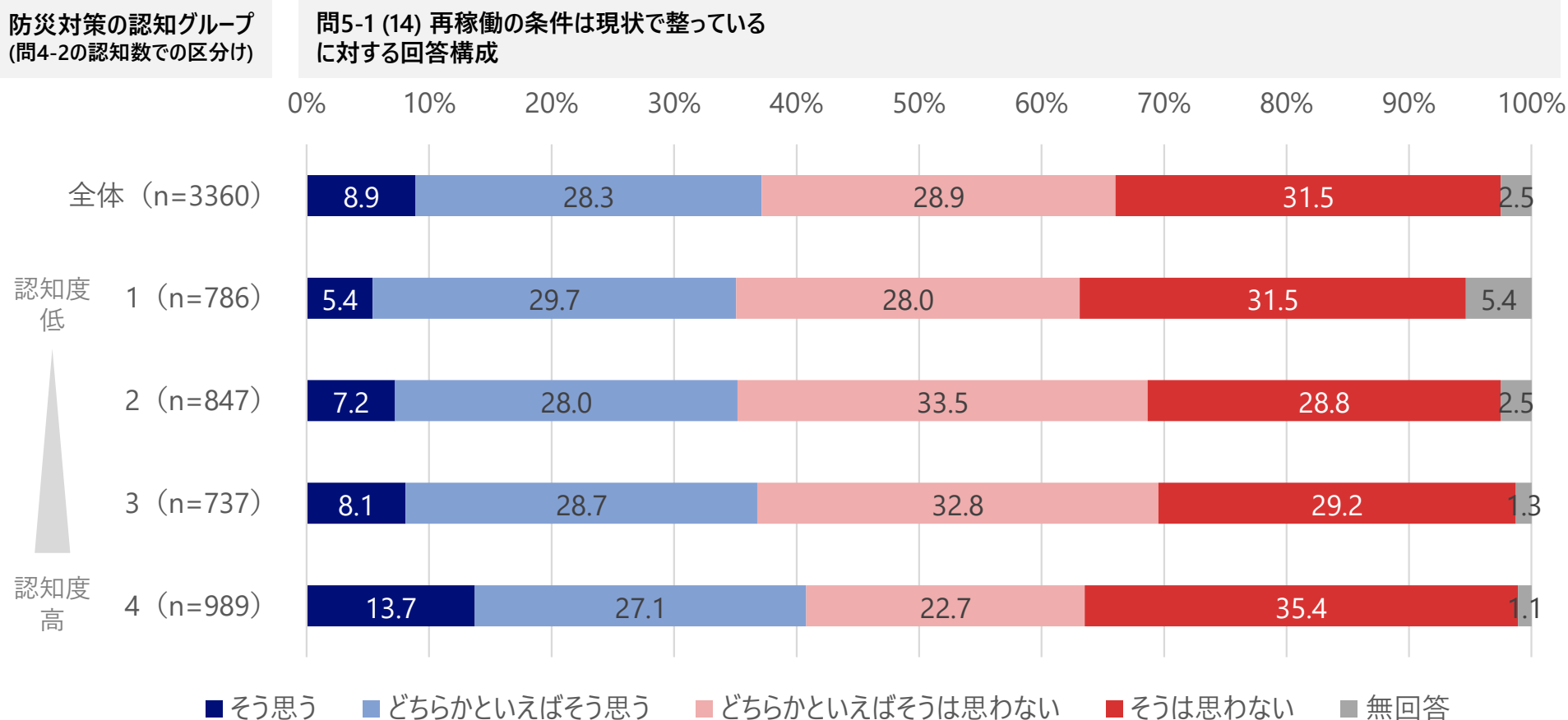
全県集計データにおける、安全対策の認知グループ（問3-1）ごとの問5-1(14)の回答構成



4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 防災対策認知度×問5-1(14)クロス集計

防災対策に関する認知度が高くなればなるほど（知識量が増えるほど）、
「再稼働の条件は現状で整っている」と思う割合が高くなる傾向にある。

全県集計データにおける、防災対策の認知グループ（問4-2）ごとの問5-1(14)の回答構成

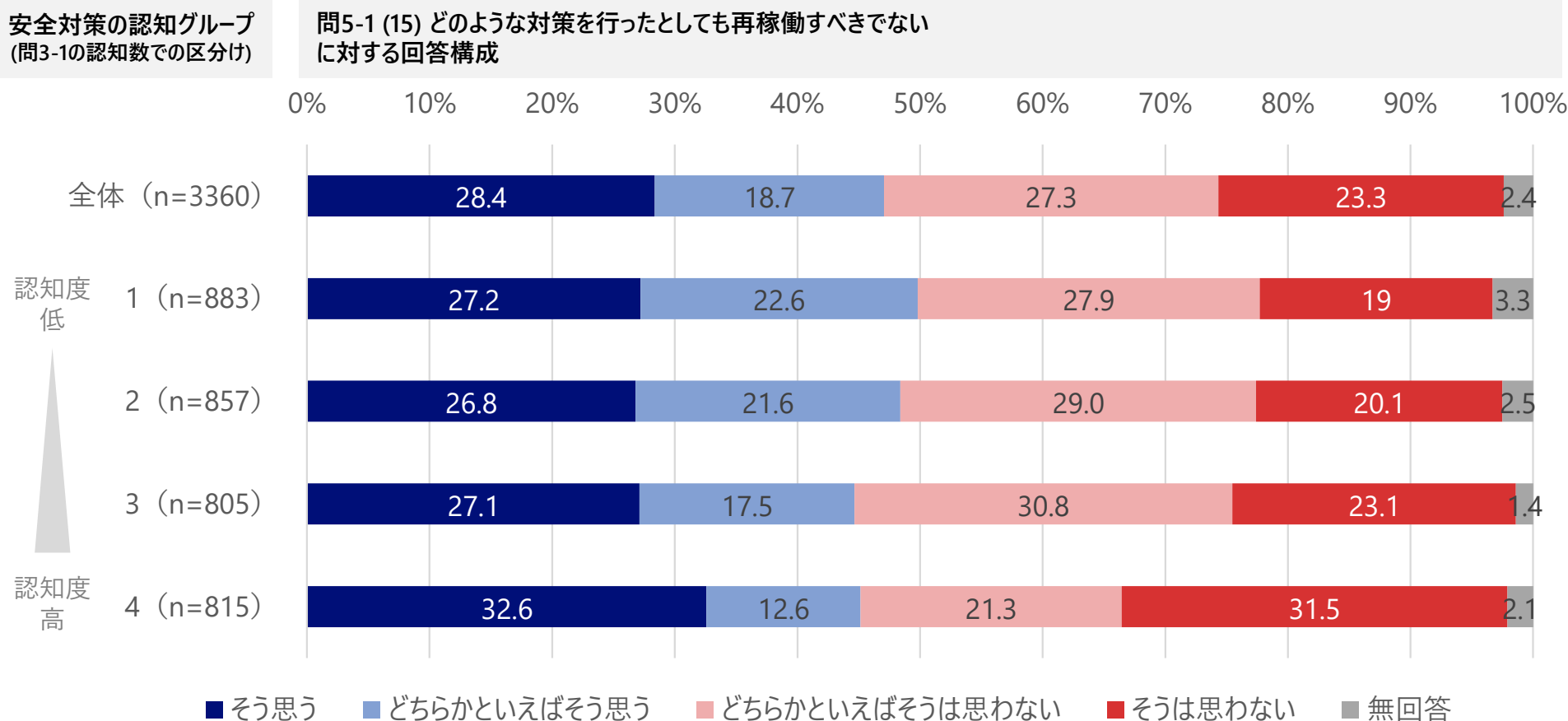


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 安全対策認知度×問5-1(15)クロス集計

問5-1(15)「どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない」に対しては、再稼働に肯定的回答と否定的回答の比率は、安全対策に関する認知度による傾向の差異は見られない。

- 再稼働に肯定的な回答（「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」）と否定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の比率は、認知度が高くなるほどどちらかに偏る、といった傾向は無い。

全県集計データにおける、安全対策の認知グループ（問3-1）ごとの問5-1(15)の回答構成

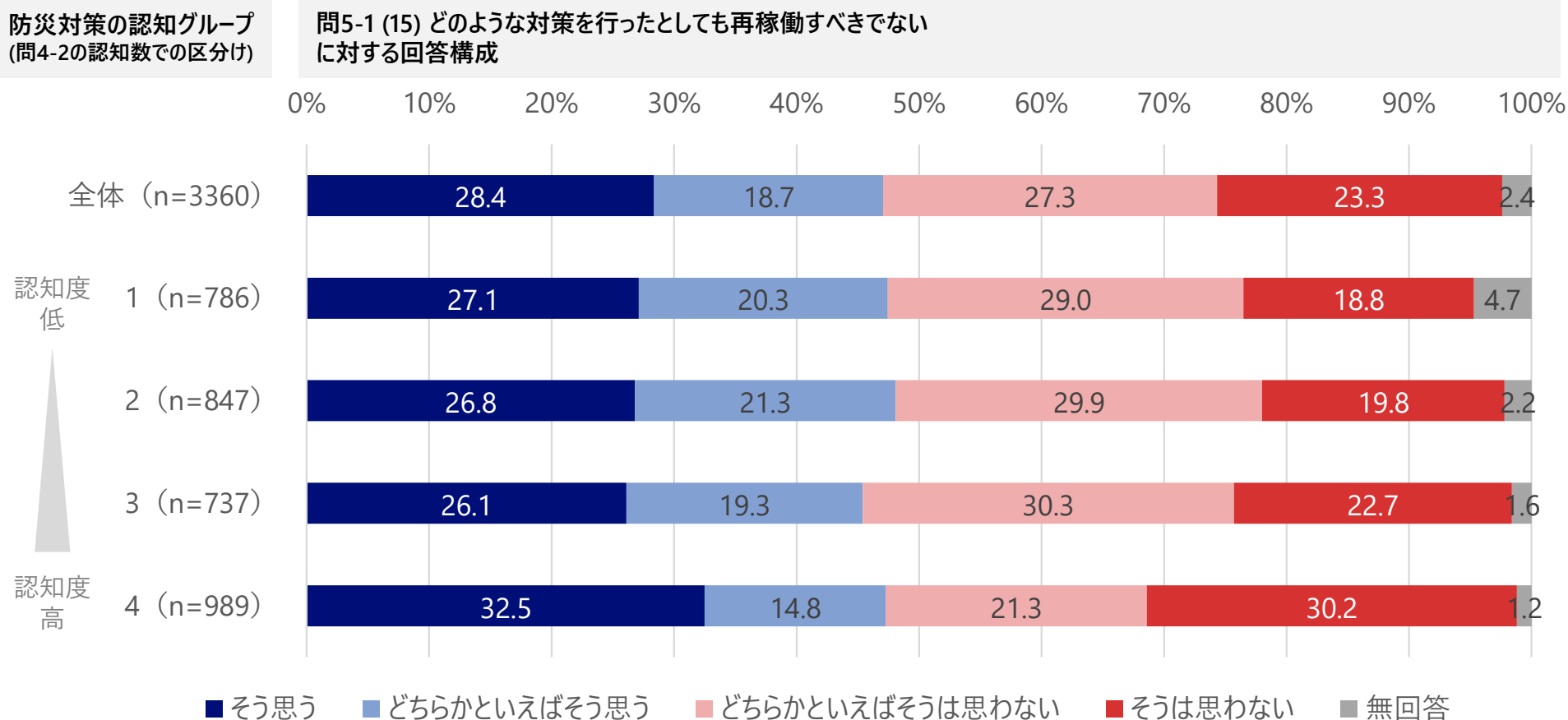


4. 集計結果の詳細分析 | ④認知度に関する分析 | 防災対策認知度×問5-1(15)クロス集計

問5-1(15)「どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない」に対しては、再稼働に肯定的回答と否定的回答の比率は、防災対策に関する認知度による傾向の差異は見られない。

- 再稼働に肯定的な回答（「そうは思わない」「どちらかといえばそうは思わない」）と否定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）の比率は、認知度が高くなるほどどちらかに偏る、といった傾向は無い。

全県集計データにおける、防災対策の認知グループ（問4-2）ごとの問5-1(15)の回答構成



1. 調査の目的

2. 調査設計

3. 単純集計結果

4. 集計結果の詳細分析

①性・年齢別傾向分析

②地域別傾向分析

③再稼働へのスタンスの要因分析

④認知度に関する分析

⑤自由回答の傾向分析

5. 集計・分析結果サマリ

4. 集計結果の詳細分析 | ⑤自由回答の傾向分析 | 問5-3 (1)～(13)以外で重要と考えること

想定外の出来事が起きたときの対応策を示すべき、首都圏への電力供給と地域リスクの不均衡の是正が必要、代替エネルギー等の使用に向けた検討すべき等の意見があがっている。

全県データにおける、回答傾向

(1) ～ (13) 以外の意見詳細

問5-3. 問5-1のうち(1)～(13)以外であなたが重要と考えることがあれば記入してください。

代替エネルギーへの転換要求

地域住民への十分な補償

使用済み核燃料の
取り扱いの明確化

エネルギー
可能

Coefficient:
— 0.2
— 0.3
— 0.4
— 0.5
— 0.6

Frequency:
50
100
150
200

脱原発、
事故が起きないこと

新潟県ではなく東京に
原発をつくるべき

事故発生時の責任の
所在の不明確さ

廃炉をすすめること

複合災害・人災・テロ等、
想定外の出来事への対策

首都圏への電力供給と
地域リスクの不均衡の
是正が必要

複合災害・人災・テロ等、想定外の出来事への対策が必要

- 最悪の状況になった想定での避難計画を作成し、いつでも大災害に備える必要がある (60代男性・新潟市)
- 想定される危険とその対応策を具体的に県民に周知すべき (20代男性・上越市 (UPZ))
- 高齢者避難対策。安全に、速やかに実施できるか (70代以上・田上町)
- 人だけでなく家畜やペットなど動物達も避難できる環境が必要 (40代女性・新発田市)
- ハード面は対策が概ね確保されているが、ソフトが不安です。特に人的教育がどうなっているか (60代男性・新潟市)
- テロ対策有事の際の警備体制を構築すべき (50代男性・新潟市)
- 戦争やテロなどの標的になった場合人災になると思います (50代男性・阿賀野市)

首都圏への電力供給と地域リスクの不均衡の是正が必要

- 都会でも電力は使うのに、負担を背負うのは原発のある海沿いの田舎だけなので不平等 (20代女性・魚沼市)
- 地域住民への電力費負担を軽減すべき (50代男性・新潟市)

代替エネルギーへの転換要求

- 再稼働ありきの考え方ではなく、他の自然エネルギーの対策も真剣に取り組むべきではないか (50代男性・新潟市)

事故発生時の責任の所在の不明確さ

- 何かあった場合、だれが責任を取るのか、再稼働する前に決めたほうがよい (70代女性・柏崎市 (UPZ))
- 災害が起きた場合の責任の所在が明確でないのが一番の問題 (50代男性・新潟市)

有効回答数：933件

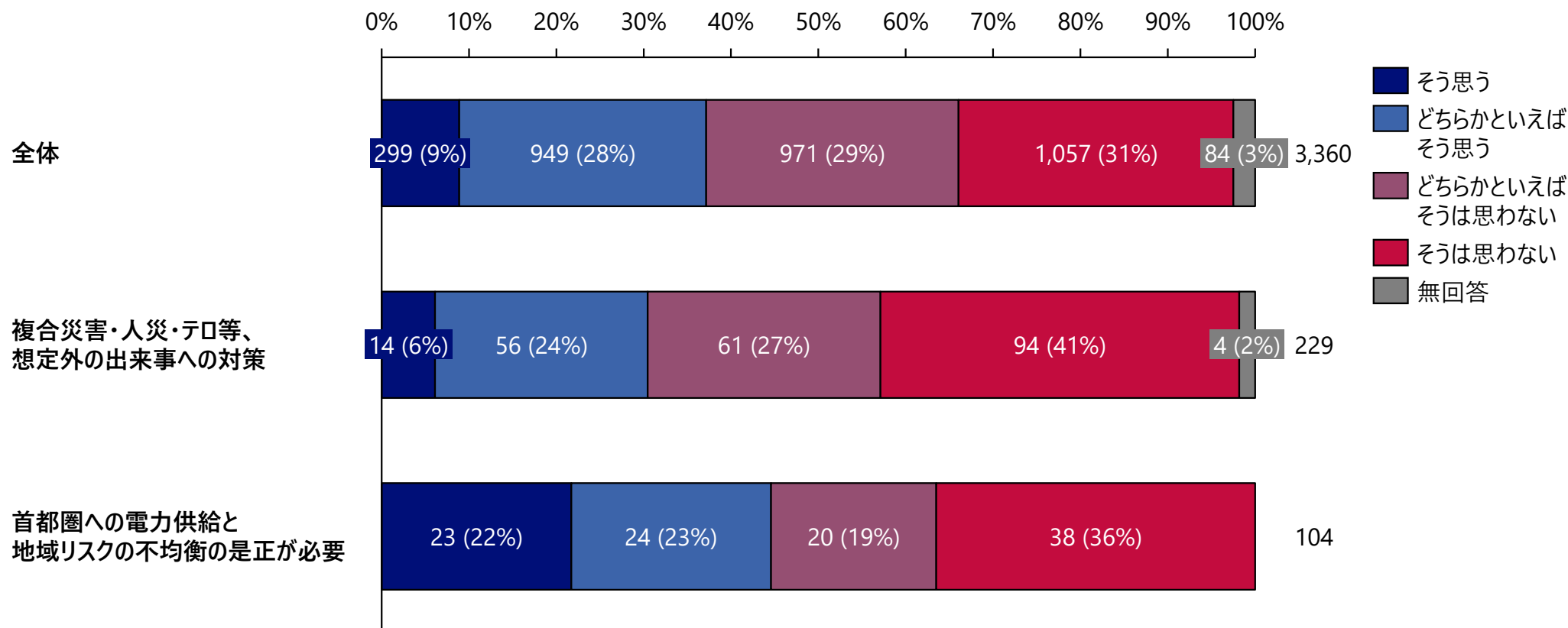
4. 集計結果の詳細分析 | ⑤自由回答の傾向分析 | 問5-3 (1)～(13)以外で重要と考えること

再稼働の条件は現状で整っているかどうかについて、「電力供給の公平性確保」では肯定的な回答が高く、「想定外の出来事への対策」では否定的な回答が高い傾向にある。

柏崎刈羽原発再稼働に関する考え方 | (14) 再稼働の条件は現状で整っている

(%)

問5-1.以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。

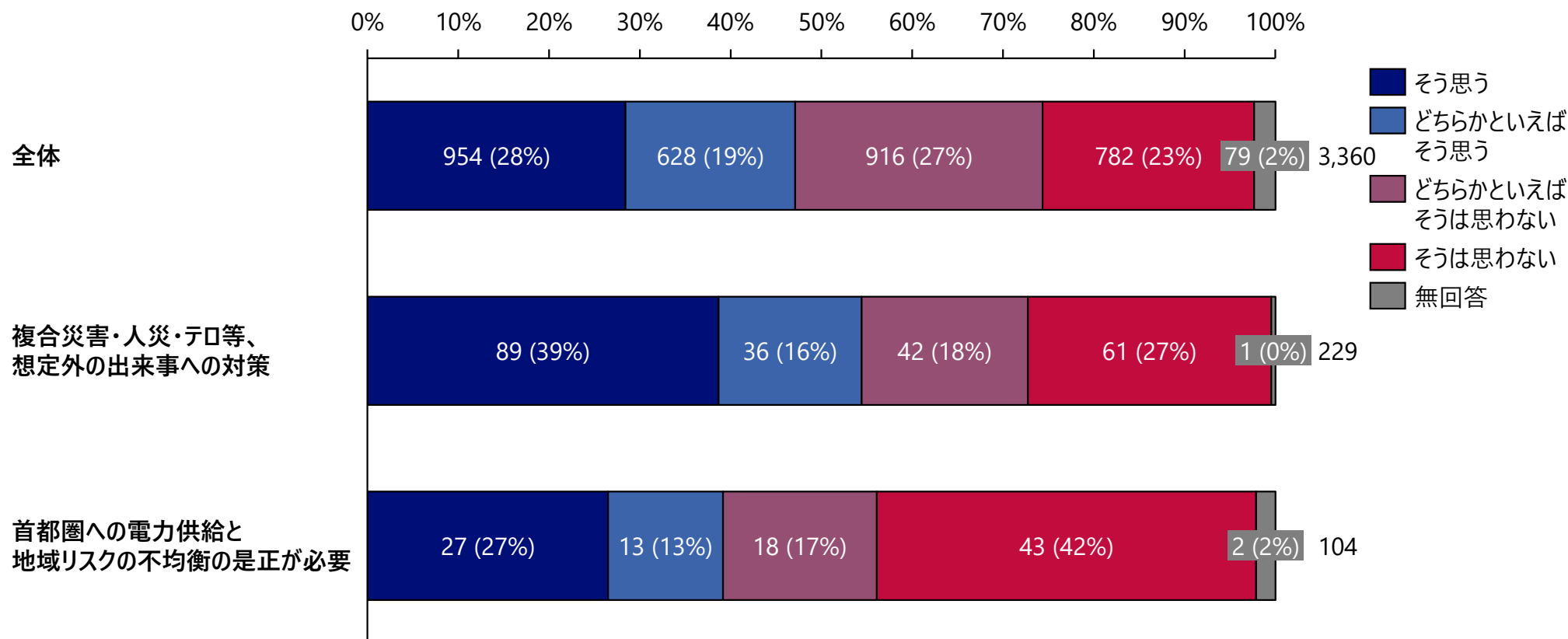


4. 集計結果の詳細分析 | ⑤自由回答の傾向分析 | 問5-3 (1)～(13)以外で重要と考えること

「電力供給の公平性確保」では再稼働に肯定的な回答が高いが、「想定外の出来事への対策」では否定的な回答が高い傾向にある。

柏崎刈羽原発再稼働に関する考え方 | (15) どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない (%)

問5-1.以下には柏崎刈羽原子力発電所 6 号機・7 号機の再稼働に関する考え方を挙げています。以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。



【参考】KH Coderとは

自由回答分析にはKH Coderというフリーソフトを用いている。
KH Coderの概要、および、結果の解釈については以下の通りとなる。

- KH Coderとは、テキスト型（文章型）データを統計的に分析するためのフリーソフトウェア。
- アンケートの自由記述・インタビュー記録・新聞記事など、さまざまな社会調査データを分析するために制作された。「計量テキスト分析」または「テキストマイニング」と呼ばれる方法に対応。

共起ネットワークについて

共起ネットワークとは、語句の頻出度と、共出現度（複数の語句が一緒に出現する度合い）の観点から行うテキストマイニング分析。KH Coderでは右のようなグラフで表現され、グラフの各要素は以下のような意味を持つ：

バブルの大きさ：語句の頻出度。右下「Frequency」に凡例として各バブルサイズの表わす度数が示されている

バブルの色：共出現度の高い語句群は、同じ色で表される。凡例として、右上「Community」に色とグループ番号が示される。なお、色、グループ番号に意味はなく、語句・グループの出現順に依存する。

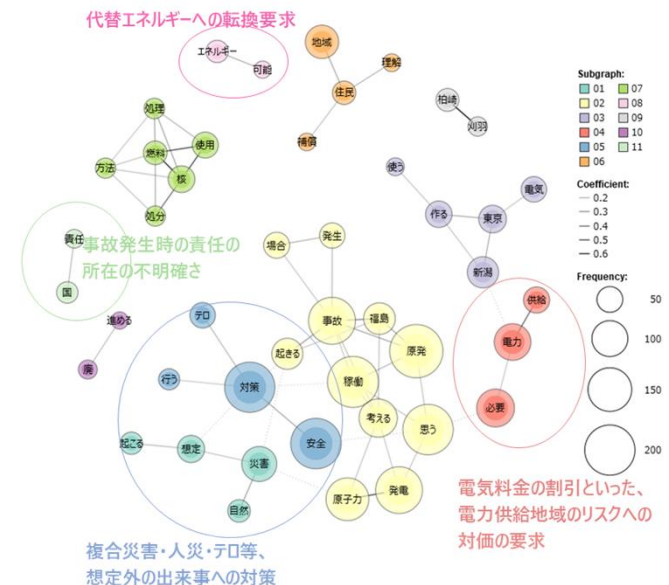
バブルを結ぶ線：実線は語句間に共起性がある場合に引かれる。同一グループに属する語句同士は、実線で結ばれる。また、線の太さが共起性の強さを表し（オプション設定）、右中「Coefficient」に凡例として線の太さが表す係数（Jaccard係数※）の大きさが示される。

※Jaccard係数：2つの単語がどの程度同時に発生しやすいかを表す0～1のスコア。全く同時に発生しないときに0、常に同時に発生するときに1となる。

破線は他のグループに属するが互いに共起性が見られる語句間に引かれる。

共起ネットワーク

（例：（1）～（13）以外であなたが重要と考えることの回答傾向）



1. 調査の目的
2. 調査設計
3. 単純集計結果
4. 集計結果の詳細分析
- 5. 集計・分析結果サマリ**

5. 集計・分析結果サマリ

調査集計・分析結果および示唆

- 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の多様な意見を把握するため、原子力発電所の必要性の認識・再稼働への関心、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策、原子力災害に備えた防災対策の認識、柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方について意識調査を実施した。
- 調査結果の集計・分析から得られる示唆としては、次頁の通り

5. 集計・分析結果サマリ

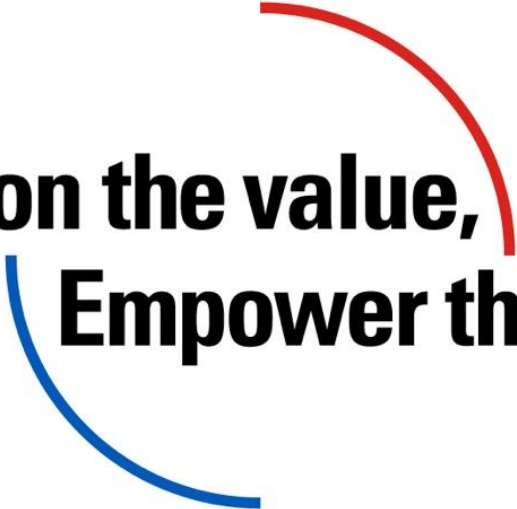
集計・分析結果から得られる示唆

項目	分析から得られる示唆
①性・年齢別 傾向分析	- 問1では、日本における原子力発電所の必要性について、肯定的な回答（「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」）をした人の割合は、男性の方が高く、また若年層の方が高い傾向にある。（☞p.25） - 問2では、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働への関心について、肯定的な回答（「強い関心がある」「関心がある」）をした人の割合は、男性の方が高く、また年齢が高くなるほど高い傾向にある。（☞p.26） - 問3-2および問4-3では、柏崎刈羽原子力発電所の安全対策による安全性の確保状況や原子力災害に備えた防災対策の実施状況について、肯定的な回答（「十分」「おおむね」を含めて「確保できている」、「実施できている」）をした人の割合は、男性の方が高く、また若年層の方が高い傾向にある。（☞p.27, 28） - 問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」について、再稼働に肯定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）をした人の割合は、男性の方が高く、また若年層の方が高い傾向にある。（☞p.29） - 問5-1(15)「どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない」について、再稼働に否定的な回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）をした人の割合は、女性の方が高く、また年齢が高くなるほど高い傾向にある。（☞p.30）
②地域別傾向分析	- 安全対策では全ての地域で「津波による浸水を防ぐため強化した対策」を「知っている」割合が最も高い。防災対策では、下越・新潟・上越地域では「原子力防災訓練の実施」を、中越地域では「安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄」を、魚沼地域では「県や市町村による避難計画策定」を「知っている」割合が最も高い。安全対策・防災対策それぞれについて「知っている」割合を平均すると、上越・中越地域で「知っている」割合が高い傾向にある。（☞p.35, 36） - 全ての地域で、再稼働による影響を心配・問題とする考え方（原子力災害発生時の風評被害や補償、使用済核燃料の問題）に対し「そう思う」と回答する割合が高く、避難等防災対策（除雪体制のさらなる整備）への回答の割合も高い。（☞p.37）

5. 集計・分析結果サマリ

集計・分析結果から得られる示唆

項目	分析から得られる示唆
③再稼働へのスタンスの要因分析 ④認知度に関する分析	- 問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」の回答に対し、問5-2「再稼働を考えるにあたって重要と考えるもの」の回答の傾向を調べると、以下の点が示唆された。(p.54) - 問5-1(14)で「そう思う」と回答した人は「十分な安全対策」「電力安定供給」を重視している。 「そうは思わない」と回答した人は「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を重視している。 「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそうは思わない」と回答した人は、「十分な安全対策」「避難路のさらなる整備」を重視している。 「そう思う」→「どちらかといえばそう思う／そうは思わない」→「そうは思わない」にかけて、「東京電力による運転の心配」「使用済核燃料の問題」を重視する割合が増加し、「電力の安定供給」を重視する割合が減少しているのが目立つ。 - 問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」の回答と、安全対策・防災対策の認知度や、対策の実施状況の認識との関係を調べると、以下の点が示唆された。 - 問5-1(14)で否定的な回答をした人のうち約3分の1が、安全対策による安全の確保状況、防災対策の実施状況について「わからない」と回答している。(p.60) - 安全対策・防災対策実施状況について「わからない」と回答する人は、安全対策・防災対策の認知度が低い割合が多く、認知度が高いほど、対策の実施状況を肯定的に捉える傾向にある。(p.82, 83, 89, 90) - 安全対策・防災対策に関する認知度が高くなるほど（知識量が増えるほど）、問5-1(14)「再稼働の条件は現状で整っている」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」という意見が多くなる傾向にある。(p. 91, 92) - なお、問3-1柏崎刈羽原子力発電所で実施されている安全対策・問4-2原子力災害に備えた防災対策の各項目を「知っている」かどうかについては、平均すると安全対策では全体の56%、防災対策では全体の61%は実施されていることを「知らない」と回答している。安全対策では自然災害や重大事故に対する対策の認知度が低く、また防災対策では建物・施設の放射線防護対策、避難のための交通手段の確保に関する認知度が低い特徴がある。(p.63, 65-78) - 問5-1(12)「使用済核燃料が増えていくことが問題」のように、国全体で取り組むべきことについても関心が高い傾向にある。(p.54)
⑤自由回答の傾向分析	問5-1(1)~(13)以外で重視する項目としては、テロ等、想定外の出来事が起きたときの対応策を示すべき、首都圏への電力供給と地域リスクの不均衡の是正が必要、代替エネルギー等の使用に向けた検討すべき等の意見があがっている。なお、問5-1(1)「福島第一原発事故の教訓を踏まえた十分な安全対策」に関する意見も多い。(p.96)



**Envision the value,
Empower the change**